

第5編 資 料

1. 土木学会名誉会員推挙者一覧（昭和50年度～59年度）

●昭和50年度

伊藤 剛 上山 鐵之助 大野 臺助 近藤 勇 酒井 忠明 立花 次郎
西村 敏男 本間 仁 渡辺 寛治

●昭和51年度

Ray K. Linsley 上戸 斌司 上野 省二 末松 栄 田中 寛二 籠山 養
藤村 久四郎 前田 一三

●昭和52年度

稲垣 茂樹 岩本 常次 江口 馨 岡本 舜三 高野 務 堀越 一三
山本 三郎

●昭和53年度

江藤 智 熊川 信之 黒田 静夫 高津 俊久 中谷 茂一 星 治雄
松井 達夫 松見 三郎 水野 高明 村上 正 最上 武雄

●昭和54年度

石田 聖 板倉 忠三 河村 重俊 鈴木 清一 平井 敦 水越 達雄

●昭和55年度

井上 幸太郎 太田尾 廣治 佐藤 寛政 山崎 博 横道 英雄 米元 卓介

●昭和56年度

猪瀬 寧雄 北村 市太郎 高坂 紫朗 國分 正胤 佐藤 豪 庄司 光
鈴木 信孝 友永 和夫 仁杉 巖 野瀬 正儀 星 埜 和

●昭和57年度

小西 一郎 小林 嘉道 米谷 栄二 坂本 貞雄 城塚 孝雄 扇田 彦一
田代 信雄 田中 五郎 比田 正 三浦 文次郎

●昭和58年度

安藤 道夫 荒木 謙一 今岡 鶴吉 尾之内 由紀夫 奥田 教朝 小林 二郎
篠原 謹爾 好井 宏海 吉田 登 渡部 時也

●昭和59年度

石上 立夫 小野 竹之助 加賀美 一二三 片平 信貴 河上 房義 小池 啓
後藤 正司 佐藤 肇 中村 稔 福山 眞三郎 藤田 博愛 横田 周平
渡辺 新三

2. 土木学会役員一覧（昭和50年度～59年度）

2.1 本部役員

●昭和50年度

会 長 尾之内 由紀夫
副 会 長 高橋 国一郎 比田 正 丸安 隆和 水越 達雄 渡辺 新三

専務理事	川越達雄	井島武士	江沢中安	島村埜山	淳助肇雄	大鈴南山	浜紀部門	文喜繁明	彦久春雄	北田丹吉	郷口羽村	繁栄次恒	小松原昭	豊宏典
理事	安藤野谷	井佐友三	武正賢三	島村埜山	武信	大鈴南山	文喜繁明	彦久春雄	北田丹吉	郷口羽村	繁栄次恒	小松原昭	豊宏典	
監評議員	戸前小北	林名辺	信昇弘	菅原照雄	春都源義	(城栗)	塚林孝雄	二義	角田和夫	山田照一				
	北海道地区	渡金持	三敦周	(土小佐山伊大田竹前山内中横多吉杉北南伊関森田用佐々木戸瀬)	肥林藤家藤池中間田崎田村山田田山村藤谷下辺害澄之直樹充	夫)夫蔵雄典也仁弘進宣吉平章夫弥雄也次雄晃也亮助樹充	(佐島)	武道三美修郁正慶良善	梅菊田深松青黒丹	原池沢本坂羽	達義嘉正正俊	朗昭実朗司幸則彦	遠吉田藤水井財堀	正秀邦正広良信
	東北地区	佐安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐
	関東地区	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐
	中部地区	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐
	関西地区	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐
	中国四国地区	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐
	西部地区	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐	安小野解建藤百石寺宮片山口林石田原塩村千嶋豊市佐

●昭和51年度

会長	最上武雄	菊池三男	高橋浩二	比田正	松尾新一郎									
副会長	石川越達	安藤文弘	井佐々木	島村埜山	武才信	大佐藤山	浜藤原岡	文敦	彦久武勲	片山三吉	山口木村	英五郎	吉栄恒	清武宮崎
専務理事	赤古谷村小北東	井賀本上野	安藤文弘	井佐々木	島村埜山	武才信	大佐藤山	浜藤原岡	文敦	彦久武勲	片山三吉	山口木村	英五郎	吉栄恒
監評議員	北海道地区	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩
	関東地区	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩
	中部地区	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩
	関西地区	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩
	中国四国地区	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩
	西部地区	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩	角田藤武山坂羽上橋川萩

中部地区	藤山加多山	野西藤田崎	慎政尚外司男	吾男晃夫	松若笠中	下木原村	照三繁良	夫雄次	御渡川柳	巫刃本場	清三眺重	泰雄万正	宮杉(平河)	川山野本	剛孝和壯	造雄男二	宮井村	下田上	和義郁	夫敬雄	
関西地区	天片谷岡柳	野山口村田	光直敬宏保	三梢一郎男	石小藤北	原塩田	安健一実	雄三郎	伊関森近	藤富卓和	富晃也夫	雄晃也夫	梅武稲信	宮田沢	康昭利	彦彦裕世	枝多上久	村田林田	俊政達安	郎文郎夫	
中国四国地区	小吉梅原	田本野原	英一彰之夫	倫誠夫	豊嶋幸次男	嶋辺政駿迪	小野寺崎	川崎迪	用害澄之助	佐藤能章聡	藤内豊聡	能章聡	飯塚敏夫	瀬戸充	塚敏夫	敏夫	熊崎	崎	博	博	
西部地区																					

●昭和52年度

会長	水越達雄																				
副会長	井上孝雄	後藤幸正																			
専務理事	川越達雄																				
理事	相原信夫	赤井浩一	天野光三	粟津清蔵	石上立夫	植下協															
	小田英久夫	大菅原武長	村田郁夫	高橋浩二	松尾新一郎	八十島義之助															
	久田安和男	藤森嘉夫	小林家輝	栗津清蔵	岩佐義朗	植下協															
監事	細田和男	藤森嘉夫	村田郁夫	高橋浩二	山田照一	渡辺昇															
評議員	北海道地区	藤森嘉夫	小林家輝	高橋浩二	山田照一	渡辺昇															
	東北地区	金島信章	井上洋一	萩原敏吾	石北寺萩寺	原田政隆															
	関東地区	井岩武野樋宮安富堀	川恵之助三朗造雄一郎	萩原敏吾	石北寺萩寺	原田政隆															
		井岩武野樋宮安富堀	川恵之助三朗造雄一郎	萩原敏吾	石北寺萩寺	原田政隆															
	中部地区	井河松浦	本浦宏一男	多村大石田	中山純三郎	近藤和俊															
		井河松浦	本浦宏一男	多村大石田	中山純三郎	近藤和俊															
	関西地区	岡柳勝日	田保悦善夫	北足笹三熊多川山	田立山笠崎	藤原島利本															
		岡柳勝日	田保悦善夫	北足笹三熊多川山	田立山笠崎	藤原島利本															
	中国四国地区	飯塚捨三郎	尾誠夫	多川山	田立山笠崎	藤原島利本															
		飯塚捨三郎	尾誠夫	多川山	田立山笠崎	藤原島利本															
	西部地区	市原	原欽五	川山	田立山笠崎	藤原島利本															
		市原	原欽五	川山	田立山笠崎	藤原島利本															

●昭和53年度

会長	仁杉巖																				
副会長	井上孝雄	後藤幸正																			
専務理事	川越達雄																				
理事	相原信夫	天野光三																			

夫 佑	茂 谷	藤 針ヶ	近 針ヶ	弘 雄孟	文 純	野 町根	河 能山	續 雄男	俊 九寿男	藤 智岡	後 那安	敏 久郎	正 二	内 尾田	喜 寺村	平 操一	孝 寿	本 原尾瀬	岡 菅松村	明 司夫男	大 泰安和	野 用田	大 佐久細		
雄弘彦	孝 恒	田 原部	村 (金建)	充 夫	芳 夫	田 坂	黒 尾	昇 雄	義 次郎	辺 家	渡 山	一 義春)郎	照 信繁寿六	田 本部上	山 島(南森井)	蔵 夫)定雄	源 郁智	橋 藤林堂部	佐 小藤安	地 区	地 区	地 区	地 区	地 区	
一 郎玄也	駿 徹	寺 木原川子	小 並宮市金桑	一 晃匡次夫	隆 輝徹毅一	田 山輪手藤部	飯 鍋三井加隈坂武野湯松野	人 郎義橋荏郎裕昭幸雄理	文 勇義将祐三 紀正繁	藤 村内馬本木橋沢田原石	伊 中堀門江桐齊高西安笠大	清 秀得恭信良道昭浩	清 一)輔三知之実雄夫邇裕平事二佑光身郎夫	張 籠江村田木田	富 花森浦北合鈴並宮岡市吉家鮫毛川山多	楠 博郎滋良彰二義雄建弥一力俊人三千世郎裕郎甫	智 二	置 岸田間北野野尾野笹田企野立山笠野尾本田藤	玉 根村岩川河杉永日青吉比企野足笹三河島杉高内佐	地 区	地 区	地 区	地 区	地 区	地 区
一 力高照昭	信 正信	田 永田	柴 富原	助 三雄聖司	之 助三雄聖司	川 沢山浦口	武 野湯松野	裕 昭幸雄理	三 裕昭幸雄理	高 西安笠大	江 村田木田	北 合鈴並宮岡市吉家鮫毛川山多	合 鈴並宮岡市吉家鮫毛川山多	道 昭浩	浦 北合鈴並宮岡市吉家鮫毛川山多	彰 二義雄建弥一力俊人三千世郎裕郎甫	二	田 間北野野尾野笹田企野立山笠野尾本田藤	地 区	地 区	地 区	地 区	地 区		
一 力高照昭	信 正信	田 永田	柴 富原	助 三雄聖司	之 助三雄聖司	川 沢山浦口	武 野湯松野	裕 昭幸雄理	三 裕昭幸雄理	高 西安笠大	江 村田木田	北 合鈴並宮岡市吉家鮫毛川山多	合 鈴並宮岡市吉家鮫毛川山多	道 昭浩	浦 北合鈴並宮岡市吉家鮫毛川山多	彰 二義雄建弥一力俊人三千世郎裕郎甫	二	田 間北野野尾野笹田企野立山笠野尾本田藤	地 区	地 区	地 区	地 区	地 区		

●昭和 54 年度

会 長	國 分 正 胤	岡 部 保 能 町 純 雄	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎
副 会 長	浅 井 新 一 郎	岡 部 保 能 町 純 雄	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎
専 務 理 事	川 越 達 夫	岡 部 保 能 町 純 雄	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎
理 事	網 干 寿 夫	岡 部 保 能 町 純 雄	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎
監 事	小 西 郁 夫	岡 部 保 能 町 純 雄	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎
評 議 員	磯 崎 正 晴	岡 部 保 能 町 純 雄	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎	敏 三郎

中部地区	森市吉西	本原村	貞松真俊	明平事之	山北大北	山口石井	良石良	雄理吉一	山野近杉	田口藤山	恒好孝	一司)茂雄	山能成	村勢岡	和甲子郎	也子郎夫	和比企西	田野田	祐昭義	之一親
関西地区	影戸小野	沢谷寺	清松駿	光司一	山仲河島	野敷田	三昭忠	千世郎儀	川山川前	本本畑田	正敏博幸	身郎信雄	小芦金毛	寺田馬利	和昭治	稔男郎	小岡工山	籾藤田	泰祐文	明清哲一
中国四国地区	高浅定	藤野井	富美喜	雄明古	戸大村	田藤	順泰幸	一裕三	高木	高本	一	久	竹中弘	中浩一郎	起	松原弘	田文	明	和	
西部地区	原	欽	五		佐	藤	幸	甫	濡	木	久	竹	中	弘	起	松	原	弘	和	

●昭和55年度

会长	高橋国一郎	岡部保	保	界	毅	能	町純雄	八木鉄男												
副会长	網干寿夫	尾坂芳夫	坂捨三郎	大鈴樋山	和忠芳利	角多秀吉	田政隆俊	勝高福吉	悦秀島武	之信夫一	金子堀	晃二男昇								
専務理事	川越達雄	尾杉野柳	久間啓	日夫雄	茂定	佐藤大	源寿昭勝	蔵郎)彦弘	加塚宮山	藤正晴章	北野昭夫	栗原幸一	夫明学							
理事	芦田和美	野柳久間	日夫雄	茂定	佐藤大	源寿昭勝	蔵郎)彦弘	加塚宮山	藤正晴章	北野昭夫	栗原幸一	夫明学								
監事	磯崎正晴	佐久間啓	日夫雄	茂定	佐藤大	源寿昭勝	蔵郎)彦弘	加塚宮山	藤正晴章	北野昭夫	栗原幸一	夫明学								
評議員	北海道地区	五十嵐村	倉藤天	前山口	岩村	奥河内	高田浦	三北山	比企野	芦金毛	久保田	松本	中国四国地区	冲萩竹	工					
	東北地区	倉藤天	前山口	岩村	奥河内	高田浦	三北山	比企野	芦金毛	久保田	松本	中国四国地区	冲萩竹	工						
	関東地区	前山口	岩村	奥河内	高田浦	三北山	比企野	芦金毛	久保田	松本	中国四国地区	冲萩竹	工							
	中部地区	比企野	芦金毛	久保田	松本	中国四国地区	冲萩竹	工												
	関西地区	芦金毛	久保田	松本	中国四国地区	冲萩竹	工													
	中国四国地区	冲萩竹	工																	
	西部地区	工																		

●昭和56年度

会长	八十島義之助	稻田裕	佐々木正久	半谷哲夫	八木鉄男															
副会长	網干寿夫	稻田裕	佐々木正久	半谷哲夫	八木鉄男															
専務理事	川越達雄	芦田和男	井手輝次	磯久礼志	大山和雄	加賀美一二三														
理事	安芸恒夫	芦田和男	井手輝次	磯久礼志	大山和雄	加賀美一二三														

監 評	事 員	角田和夫	金高子	晃裕	川本	眺博	万次	岸長	力不	窪津	義弘	倉西	茂功
		鈴木永善	高橋島	裕史	中川	川博	昇昇	長松	沢本	二男	沼田	実利	野口
		日佐久間	秀島	治之	堀井				輝輝	三輪	英毅	田嘉	夫夫
		北海道	谷本	和男	森田				孝雄	高橋	毅毅	藤地	宏宏
		東北	向川	昭彦	武田	昭彦	(藤)	堂幸	定夫	伊東	富郎	菊地	朗市
		関東	須伊	一行	市岩	憲敏	芳芳	賀幸	基一郎	小笹	太郎	大枝	市市
			奥河	雄敏	岩山	治文		田勝	俊公	北高	徹郎	桐山	市市
			黒河	昭雄	奥山	文博		上上	湯公	並湯	益勝	高瀬	市市
			高田	也一	佐々	博博		嶋湯	斐斐	加白	勤勤	高部	市市
			三浦	隆夫	土屋	郁雄		大湯	正藤	福渡	一久	和田	市市
			赤木	夫夫	市川	豪豪		河原	常裕	能池	作郎	林正	市市
			小中	夫夫	佐野	貞一		西森	登三	順勢	甲子	井中	市市
			井上	夫夫	山上	信邦		河青	克貴	保本	順忠	林加	市市
			比企	一雄	加村	修治		宮片	瀨中	松工	恒治	山田	市市
			島野	二吉	宮大	間保		大川	弘義	久松	安合	山田	市市
			大内	輔生	久大	原原		丹安	九繁	落吉	田木	山田	市市
			桜大	一行	西萩	森佐		安見	秀尚	吉濡		山田	市市
			大多	一薰	萩森	佐原		工原	喜喜			山田	市市
			粟谷		原原	藤原						山田	市市
			岡岡		原原	藤原						山田	市市

●昭和57年度

会 長	野瀬正儀	稲田裕	久保慶三郎	佐々木正久	半谷哲夫
副 會 長	伊藤富雄	田田裕	久保慶三郎	佐々木正久	半谷哲夫
專 務 理 事	川越恒夫	井手山	井上章平	加賀美一二三	金子西内
理 事	安岸高橋	清寺日	勝雄治	窪津川輪	金倉野山
	藤田圭茂	永正	善治	三輪利英	子西内
	瀬良茂	田沢	毅治	井軍治	豊功聡
監 評	北海道	高村	藤孝	向井	岡本
	東北	伊藤	富男	須田	玉川
	関東	赤木	允一	小佐	大河
		小田	浩一	野山	西森
		藤芥	明外	村上	本内
		大佐	清博	金子	川田
		高宮	尹登	酒土	鈴新
		青	登建	宮池	大島
	中部				

西 地 区	関	西	地	区	宮	原	克	典	川	上	浩	高	橋	英	夫	高	橋	裕	深	谷	一
中国四国地区					内	田	孝	吉	大	保	夫	川	嶋	弘	治	工	藤	男	近	堂	賢
西 部 地 区					桜	井	春	輔	久	原	巧	丹	羽	義	次	久	安	雄	横	山	和
					今	井	宏	典	西	飼	夫	大	家	康	照	小	恒	保	柴	田	一
					西	村	照	三	鷓	宮	明	松	山	宏	巖	片	忠	清	吉	川	和
					落	合	治	美	二	田	明	多	田	茂	行	森	旦	次	見	沢	繁
					吉	田	文	巖	大	字	一	杉	原	幸	清	町	欽	昌	原	嶋	尚
					中	道	清	基	諸	岡	薰	富	樫		巳	原		五		嶋	喜
					小	坪		真	喜	田	健	佐	藤		甫						

●昭和58年度

会 長	高 橋 浩 二	岡 本 孝 平	久 保 慶 三 郎	小 坂 忠	八 田 晃 夫	夫 一 眞 夫 司	明 弘 勝 吉 彦 太 二 哉 義 生 晴 信 忠
副 会 長	伊 藤 越 達 雄	井 上 龍 介	伊 集 院 敏 悟 郎 雄 夫 彌 俊	梅 宮 康 彦 小 野 寺 駿 一 眞 夫 司	野 田 尻 川 堀 久 保 宏	工 藤 智 明	
専 務 理 事	阿 金 榎 寺 森 瀬	山 田 澤 内 森 岡 本 田 掛 哲 成 誠 昌 聡 義 佳 隆 上 笹 本 井 村 内 字 本 坪 榎	加 来 照 俊	村 田 孝 雄	久 保 宏	大 橋 勝 弘	
監 事	北 海 道 地 区	東 北 地 区	関 東 地 区	中 部 地 区	関 西 地 区	中国四国地区	西 部 地 区
評 議 員							

●昭和59年度

会 長	岡 部 保 清	岡 本 孝 平	高 橋 裕	高 秀 秀 信	松 本 順 一 郎	加 藤 幸 厚
副 会 長	岡 田 越 達 雄	伊 藤 學 八 享 夫	伊 集 院 津 田 敏 弘 照 麟	小 野 寺 駿 一 眞 雄 次	岡 田 藤 木 辺	
専 務 理 事	井 川 定 西	伊 岸 榎 八	伊 集 院 須 森	小 菅 原 森	岡 近 鈴 渡	
理 事	川 嶋 井 澤	藤 田 木 田 晃	伊 集 院 須 森	小 菅 原 森	岡 近 鈴 渡	

監事	片山英吉	森壽郎	久保宏	安田稔	佐伯浩	齊藤省吾	藤省吾	齊藤省吾	齊藤省吾
評議員	北海道地区	小森島廣	博紀富	大橋勝弘	加賀美彰	首藤伸夫	高橋準一	高橋準一	高橋準一
	東北地区	伊東橋由己	池田地本	茨佐沼森小	木藤田平	龍浩昌一郎	小川武義	岡田中伸	朋生晴昭
	関東地区	猪瀨内佳夫	田功茂	佐沼森小	原本道	倫忠幸典	川越高志	田堀荒金	木子林一
		戸本井清郎	茂原井木	桐定仲村	西田藤田	成茂清	小田布山	田美米	藤澤高木
		峯口彰博	上北笹高	良本橋本	後藤島	二佩裕	中目下	田敏	高橋
	中部地区	石川桜田廣	青吉今	今佐三	後藤森塩 </td <td>松長</td> <td>中井高</td> <td>村三</td> <td>山本</td>	松長	中井高	村三	山本
		菅田高	瀬田吉	野田悦	中山	西	原	昭	雄
	関西地区	今中坂野	中野文悦	中山	西	原	昭	雄	雄
		小牧勝畑	中山	西	原	昭	雄	雄	雄
	中国四国地区	瀬中	西	原	昭	雄	雄	雄	雄
	西部地区	中東	橋	原	昭	雄	雄	雄	雄

2.2 支部役員

1) 北海道支部役員

●昭和50年度

支部長	城塚孝雄	阿部洋七	大谷哲	長谷川	石倉建治	森田恵	田本康夫	惠夫
商議	小野照中	森渡小倉	山角町	岡中菅	川北奥	野弘	田勝遠	之悦武
	栗田武和	渡小倉柳	藤嘉	菅原照	川名	弘治信	大沢	昇
監幹	水沢隆	柳川哲夫	藤嘉	菅原照	川名	弘治信	大沢	昇
幹事	栗林正	宇戸光賢	花田真吉	佐藤一	渡部義信	遠藤英世	藤下恒	徹夫
	中川勝	松高梨	高松茂	早	大友	松	宮	恒
	佐伯	加	照	早	大友	松	宮	恒

●昭和51年度

支部長	岡田光夫	山岡勲	谷弘衛	小野修	菅原登	黒田充	田弘道	谷哲隆
商議	近藤成	山岡勲	谷弘衛	小野修	菅原登	黒田充	田弘道	谷哲隆
	西藤	山岡勲	谷弘衛	小野修	菅原登	黒田充	田弘道	谷哲隆
	長谷川	石倉	森	小野	菅原	黒田	田弘道	谷哲隆

監 幹 幹	森 竹 岡 須 中 宇 戸 松	弘 三 之 厚 真 賢 一	河 水 林 渡 花	野 沢 茂 栄 真	文 和 一 一 吉	弘 久 一 一 吉	国 山 松 佐	本 崎 橋 藤	康 政 隆 浩	夫 俊 雄 一	山 大 今 渡	田 友 部	照 一 勲 士 信	渡 松 高 遠	辺 宮 谷 藤	昇 恒 俊 英	角 山 中 浅	田 形 川 沼	和 耕 正 勝	夫 一 臣 利
-------------	--------------------------------------	---------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------	-----------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

●昭和52年度

支 部 長 議 員	尾 猪 水 山 小 福 古 明 地 渡 佐 早 山 高	崎 又 沢 田 野 田 武 宏 二 道 昇 一 志 俊 一	晃 稔 久 一 修 二 道 昇 一 志 俊 一	青 町 渡 菅 長 今	木 野 辺 原 繩 野	弘 明 昇 登 雄 忠	荒 山 高 黒 種	川 家 橋 田 弘	利 輝 博 毅 充 道	輝 博 毅 充 道	小 持 岡 近 村	林 永 本 藤 井	強 龍 一 郎 之 郎 一	吉 河 山 杉 藤	野 野 岡 山 田	龍 文 秀 嘉	男 弘 勲 夫 夫	花 国 洪 松 村	見 本 谷 田 田	浩 康 弘 良 郁	二 夫 衛 昌 夫
監 幹 幹	佐 早 山 高	藤 川 崎 橋 喜	鍵 市 沢 館 橋	信 憲 隆	雄 吉 真 雄	青 三 今	木 浦 今	正 登 千 代 士	夫 登 千 代 士	藤 奥 高	林 村 谷	義 俊	弘 勇 臣	村 林 大	上 友	達 茂	也 一 勲	齊 松 山	藤 宮 形	和 恒 耕	夫 夫 一

●昭和53年度

支 部 長 議 員	石 岡 真 加 小 持 土 黒 宮 武 小 三	崎 本 田 来 林 永 井 田 崎 智 谷 浦	嘉 成 照 龍 一 郎 敞 充 悍 明 雄 登	明 之 真 俊 強 龍 一 郎 敞 充 悍 明 雄 登	能 能 黒 吉 河 古 明 地	町 勢 田 野 野 地 宏	純 之 龍 文 宏	雄 次 充 男 弘 道	川 廣 村 花 国	嶋 田 見 本	雅 輔 雄 二 夫	村 佐 猪 水 山	田 藤 又 沢 田	忠 幸 和 照	菅 土 青 町 渡	原 肥 木 野 辺	登 稔 弘 明 昇	尾 山 荒 山 高	崎 司 川 家 橋	八 利 輝 博 毅	明 志 夫
監 幹 幹	武 小 三	智 谷 浦	弘 和	山 天 菲 奥	崎 谷 沢 村	政 直 憲	俊 純 吉 勇	小 山 原 沼 秀	博 正 弥	三 西 藤	浦 条 林	清 肇 義	一 昌 広	中 鍵 村	村 市 上	俊 信 達	行 雄 也	田 早 齊	口 川 藤	哲 寬 和	明 志 夫

●昭和54年度

支 部 長 議 員	小 坂 村 佐 村 佐 野 村 鍵 村 三 西 条	野 上 田 々 木 田 藤 島 田 市 上 浦 条	中 幸 夫 樹 忠 男 紀 雄 也 一 昌	津 小 五 菅 土 土	田 山 嵐 原 肥 井	義 日 夫 登 稔 敞	和 之 夫 登 稔 敞	岩 畑 高 尾 山	本 橋 崎 司	省 晴 八	吾 人 毅 認 郎	大 持 岡 真 加	沢 永 本 田 来	昇 龍 一 郎 之 真 俊	市 小 能 能 黒	瀬 西 町 勢 田	勲 夫 雄 次 充	夙 国 川 廣 村	持 本 嶋 田 田	鉄 康 良 孝	雄 夫 雅 輔 雄
監 幹 幹	野 村 鍵 村 三 西 条	藤 島 田 市 上 浦 条	幸 成 喜	笠 藤 松	原 間 下	篤 聰 次	小 山 内 田	谷 下 島 口	和 敏 邦 哲	雄 男 秀 明	高 伊 武	田 藤 智	宣 義 弘	之 隆 明	野 石 山 天	坂 原 崎 谷	隆 政 直	一 齊 俊 純	松 小 山 原	久 山 原	房 博 正

●昭和55年度

支 部 長 議 員	佐 岡 江 利 芳	藤 本 川 村	幸 成 喜	能 能 森	町 勢 田	純 之	雄 次 恵	長 廣 村	縄 田 村	高 良 孝	雄 輔 雄	山 角 坂	野 田 上	耕 和 孝	二 夫 幸	森 小 津	林 田	治 義	弘 郎 和	河 山 岩	野 司 本	文 八 省	弘 郎 吾
-----------------------	-----------------------	------------------	-------------	-------------	-------------	--------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------	--------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

監幹	查長	大	沢	昇	市	瀬	勲	劍	持	鉄	雄	村	田	郁	夫	小	山	義	之	畑	晴	人
幹事	事	持	永	龍	小	西	郁	国	本	康	夫	佐	々	直	樹	五	嵐	日	夫	高	橋	毅
幹事	事	土	井	一	野	島	宏	国	本	康	夫	佐	々	直	樹	五	嵐	日	夫	高	橋	毅
幹事	事	高	橋	敞	野	島	宏	国	本	康	夫	佐	々	直	樹	五	嵐	日	夫	高	橋	毅
幹事	事	佐	藤	知	小	山	宣	上	島	義	壯	武	智	弘	明	三	浦	弘	志	古	屋	稔
幹事	事	恒	松	浩	小	長	宣	伊	藤	隆	隆	今	野	和	夫	鍵	市	信	雄	笠	原	篤
幹事	事	小	谷	雄	高	田	宣	野	坂	一	一	松	久	房	夫	村	上	達	也	藤	間	聡
幹事	事	内	島	秀																		

●昭和56年度

支商	部長	北	郷	繁	津	田	義	和	小	代	弘	水	沢	和	久	倉	橋	力	雄	劍	持	鉄	雄
商議	員	畑	中	裕	大	屋	満	雄	熊	倉	勉	毛	戸	喜	章	松	尾	徹	郎	国	本	康	夫
商議	員	稲	葉	夫	藤	田	嘉	夫	高	橋	毅	岸	秀	喜	力	岡	本	成	之	長	繩	高	明
商議	員	向	井	治	森	林	治	弘	河	野	弘	江	利	喜	一	能	勢	之	次	工	藤	智	雄
商議	員	山	野	二	小	井	治	郎	山	司	郎	利	川	村	仁	森	田	惠	村	村	田	孝	雄
商議	員	角	田	夫	土	井	治	郎	山	司	郎	利	川	村	仁	森	田	惠	村	村	田	孝	雄
商議	員	稲	垣	浩	武	市	博	靖	山	口	男	長	谷	和	山	本	隆	幸	齊	藤	雅	美	
商議	員	藤	田	嘉	杉	本	弘	之	大	島	之	石	川	和	大	鶴	德	雄	上	島	永	俊	
商議	員	鍵	市	信	武	浦	弘	志	古	屋	稔	恒	原	義	小	井	宣	夫	須	須	永	明	
商議	員	村	上	達	杉	三	博	志	古	屋	稔	恒	原	義	小	井	宣	夫	須	須	永	明	
商議	員	武	野	和	三	野	野	夫	野	野	夫	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野
商議	員	今	野	明	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野

●昭和57年度

支商	部長	山	岡	勲	大	谷	直	郎	菅	原	登	松	岡	健	一	山	口	甲	今	村	一	郎
商議	員	田	口	也	土	肥	鉄	稔	福	田	三	町	野	好	宣	岡	本	之	加	水	沢	久
商議	員	工	藤	明	真	田	一	真	畑	中	裕	津	田	義	和	小	代	弘	水	毛	戸	章
商議	員	村	田	雄	真	持	浩	成	向	葉	夫	大	屋	滿	雄	熊	倉	勉	岸	野	野	秀
商議	員	倉	橋	郎	富	田	浩	司	向	井	治	藤	田	嘉	夫	高	橋	毅	岸	野	野	力
商議	員	松	尾	昭	稻	垣	浩	司	向	井	治	藤	田	嘉	夫	高	橋	毅	岸	野	野	力
商議	員	太	昌	俊	大	鶴	德	雄	森	明	巨	矢	萩	和	夫	川	口	孝	五十	武	真	喜
商議	員	加	照	次	小	井	宣	夫	齊	藤	幸	天	野	博	已	鍵	市	信	武	武	市	靖
商議	員	宮	秀	一	長	谷	和	義	山	本	隆	村	上	達	也	齊	藤	和	齊	齊	藤	美
商議	員	鈴	英	男	長	谷	和	義	山	本	隆	村	上	達	也	齊	藤	和	齊	齊	藤	美
商議	員	山	光	之	長	谷	和	義	山	本	隆	村	上	達	也	齊	藤	和	齊	齊	藤	美
商議	員	大	俊	之	長	谷	和	義	山	本	隆	村	上	達	也	齊	藤	和	齊	齊	藤	美

●昭和58年度

支商	部長	山	田	照	一	奥	山	秀	樹	高	木	讓	治	中	末	隆	大	越	孝	雄	安	田	稔
商議	員	本	多	祐	也	大	屋	滿	雄	熊	倉	讓	勉	小	林	堯	稻	垣	浩	司	富	田	成
商議	員	稻	葉	寿	夫	土	岐	祥	介	久	保	宏	宏	菅	原	雄	田	口	雅	也	大	谷	直
商議	員	向	井	軍	治	松	岡	健	一	林	本	信	之	今	村	郎	田	藤	智	明	土	肥	稔
商議	員	菅	原	登	三	町	野	好	宣	岡	本	成	之	加	来	俊	(小)	森	孝	博	真	田	真
商議	員	福	田	浩	隆	太	田	昌	昭	岡	本	成	之	加	来	俊	村	田	孝	博	真	田	真
商議	員	增	田	懋	博	太	田	昌	昭	岡	本	成	之	加	来	俊	村	田	孝	博	真	田	真
商議	員	小	森	秀	博	太	田	昌	昭	岡	本	成	之	加	来	俊	村	田	孝	博	真	田	真
商議	員	宮	林	年	馬	太	田	昌	昭	岡	本	成	之	加	来	俊	村	田	孝	博	真	田	真
商議	員	生	駒	英	一	太	田	昌	昭	岡	本	成	之	加	来	俊	村	田	孝	博	真	田	真
商議	員	鈴	木	光	男	太	田	昌	昭	岡	本	成	之	加	来	俊	村	田	孝	博	真	田	真
商議	員	山	口	男	一	太	田	昌	昭	岡	本	成	之	加	来	俊	村	田	孝	博	真	田	真
商議	員	帖	田	一	男	太	田	昌	昭	岡	本	成	之	加	来	俊	村	田	孝	博	真	田	真

●昭和59年度

支商	部長	岡	本	成	之	蛭	子	岩	男	森	弘	穂	積	準	星	野	英	二	今	村	一	郎
商議	員	高	田	和	夫	蛭	子	岩	男	森	弘	穂	積	準	星	野	英	二	今	村	一	郎

小	森	博	小	林	治	郎	福	田	浩	三	森	田	惠	野	島	廣	紀	佐	伯	浩
芥	藤	吾	渡	辺	健	健	本	多	祐	也	奧	山	樹	高	木	讓	治	中	木	隆
大	越	雄	安	田	稔	稔	稻	葉	夫	夫	大	屋	雄	熊	倉	勉	小	林	堯	
野	垣	司	富	田	成	成	高	瀬	徹	夫	土	岐	介	久	保	宏	菅	原	雄	
鍵	澤	昇	増	田	隆	隆														
齊	島	紀	堂	栞	輔	輔	山	口	光	男	佐	藤	馨	本	田	満	村	上	達	也
水	市	雄	齊	藤	美	美	増	田	孝	孝	小	林	康	星	野	清	市	川	隆	仲
帖	藤	夫	村	上	博	博	山	本	茂	茂	井	出	郎	天	野	巳	嶋	隆	司	司
	元	佩	村	上	一	一														
	田	一																		
	耕																			

2) 東北支部役員

●昭和50年度

支	後	藤	壯	介	尾	坂	芳	夫	金	原	弘	菊	地	新	吉	木	谷	正	倉	西	茂
部	市	村	敏	行	後	藤	幸	正	佐	武	雄	伊	藤	榮	悦	佐	木	郎	高	木	夫
長	小	坂	敏	忠	寺	坂	幸	勝	土	肥	夫	伊	藤	光	也	中	村	勝	福	永	孝
員	田	村	村	夫	峰	本	敏	守	藤	堂	定	戸	津	勝	利	浅	間	隆	明	智	夫
	藤	原	忠	一郎	岩	崎	敏	夫	今	井	彦	山	上	茂	也	佐	藤	藏	佐	谷	一
	石	橋	信	三	重	松	正	治	富	永	博	井	訪	貞	雄	鈴	木	貴	多	永	久
	佐	藤	順	亮	西	田	德	之	半	谷	夫	諏	坂	弘	人	富	野	典	舟	智	男
	新	田	一郎	真	宮	川	之	勇	持	田	郎	早	家	義	雄	士	津	藏	吉	敦	一
	松	本	順	雄	和	田	助	助	持	田	三	山	家	義	人	富	野	藏	吉	敦	一
	武	家	義	江	伊	藤	文	雄	伊	藤	春	岩	佐	正	章	上	地	肇	猪	股	賢
	山	田	秋	郎	加	藤	春	男	小	田	宣	木	須	伍	平	菊	木	一	日	下	輔
	浅	田	晃	記	々	木	義	倫	志	賀	敏	杉	本	幸	司	鈴	越	二	鈴	木	輔
	蝦	名	孝	男	々	田	直	弘	成	田	八	中	瀨	秀	雄	浪	村	勇	沼	田	志
	園	川	正	淳	堀	直	之	之	細	田	八	益	子	真	之	松	村	明	宮	坂	節
	沼	部	正	尚						宮	保	平	井	真	之						
	三	浦	尚	義	原	田	干	三	宮	本	保	平	井	真	之						
	河	上	房																		

●昭和51年度

支	岩	崎	敏	夫	明	智	筆	一	今	井	清	彦	井	上	茂	也	佐	藤	源	藏	佐	敦	久
部	浅	間	信	隆	重	松	繁	治	諏	訪	貞	雄	富	永	弘	博	玉	川	一	多	谷	一	男
長	島	本	信	義	高	山	敏	昭	半	谷	哲	夫	早	坂	人	舟	津	常	松	本	虎	男	
員	新	田	公	亮	南	部	敏	春	山	家	義	本	谷	津	蔵	安	岡	九	吉	田	順	延	
	宮	川	興	勇	市	村	敏	行	池	田	忠	伊	伊	藤	悦	尾	坂	芳	金	原	幸	弘	
	吉	武	夫	夫	倉	西	誠	茂	小	坂	夫	小	林	林	夫	河	野	夫	後	藤	光	正	
	佐	武	雄	雄	々	木	貞	郎	高	木	夫	寺	阪	郁	勝	堂	宏	夫	戸	津	忠	也	
	中	村	勝	真	福	永	德	造	藤	原	夫	冲	中	一	一	山	定	夫	竹	崎	也	雄	
	武	田	雄	雄	和	田	之	助	藤	原	夫	中	中	浩	一	田	利	夫	竹	崎	也	雄	
	佐	武	江	江	青	山	勝	男	伊	藤	春	岩	佐	正	章	渡	辺	法	蝦	名	晃	郎	
	浅	田	輔	輔	大	塚	茂	俊	小	田	義	加	藤	春	男	佐	木	寬	日	下	富	勝	
	猪	股	記	記	々	木	隆	男	々	々	八	志	賀	宣	郎	々	本	司	鈴	木	美	輔	
	佐	川	信	信	々	田	幸	男	々	々	八	成	田	敏	行	杉	越	勇	沼	田	昌	志	
	松	本	司	司	々	田	干	房	々	々	八	松	村	一	明	浪	池	也	宮	坂	節	雄	
	柳	房	義	義	原	田		三	宮	本	保	平	井	之	助	後	藤	壯					
	河	俊																					

●昭和52年度

支部長 本間俊朗

商議員	市橋佐戸明島南宮首升武安浅蝦佐鈴野宮古由河	村內藤津智本部川藤川岡田岡田名川木池下賀井上	敏德興光筆信繁伸剛九秋見孝富達昭榮房	行治夫也一義春勇夫男真江郎記輔也武二二義	(池)羽倉佐中今荒新元栗和	田場西木村井井田原	本和茂郎勝彦雄亮郎操	伊小高福加諏柳山菅	藤林木永藤訪田家家	米都孝貞春貞真義忠	悦夫夫造男雄司雄男	沖河竹藤栗高安谷橋	中野崎原山山部津本	浩忠昭成計忠	一郎宏雄夫文昭博藏助	尾後寺山佐富福吉高	坂藤阪田藤永田武橋	芳幸勝源公竹次	夫正勝利藏博正夫郎	金佐藤渡佐玉松吉北	原武堂辺藤川本田林	弘雄定幸久一郎延作	
監査幹	武安浅蝦佐鈴野宮古由河	岡田岡田名川木池下賀井上	伸剛九秋見孝富達昭榮房	男真江郎記輔也武二二義	和	田	徳之助	菅	田家家	忠	男	橋	本	忠	助	高	橋	次	郎	北	作		
役長	武安浅蝦佐鈴野宮古由河	岡田岡田名川木池下賀井上	伸剛九秋見孝富達昭榮房	男真江郎記輔也武二二義	和	田	徳之助	菅	田家家	忠	男	橋	本	忠	助	高	橋	次	郎	北	作		
支商	富士野部井藤川家卷東西木本村田岡辺智野井木橋田本島沢上	昭成義敦憲忠朝榮誠幸政九重筆芳	典博雄久一勇男雄悅茂郎司勝真男幸一久規寛雄行之治司義	荒松島(南)森麻橋猪(藤)小高(羽)大和明	井尾本部里本股堂林橋場崎田智	滿昭信繁壽禮忠賢郁準良徳筆	雄吾義春郎三助輔正夫一和保助一	今首新山高中河伊高藤	井藤田家樋中村野藤木原	清伸義竹浩正孝忠	彦夫亮雄郎平宏稔夫夫	加諏柳谷北尾後竹福	藤訪田津林坂藤崎永	春貞真計庄芳幸忠貞	男雄司藏作夫正雄造	栗建福(伊)吉升(徒)佐(河)渡繩	山部田藤武川原野武合辺田	昭恒文公剛武正昭重照	文彦正雄夫男弘邦雄郎幸美	佐富松栗市橋高戸山	藤永本原村内橋津田	源順敏徳彦光勝	蔵博一郎操行治人也利
支商	富士野部井藤川家卷東西木本村田岡辺智野井木橋田本島沢上	昭成義敦憲忠朝榮誠幸政九重筆芳	典博雄久一勇男雄悅茂郎司勝真男幸一久規寛雄行之治司義	荒松島(南)森麻橋猪(藤)小高(羽)大和明	井尾本部里本股堂林橋場崎田智	滿昭信繁壽禮忠賢郁準良徳筆	雄吾義春郎三助輔正夫一和保助一	今首新山高中河伊高藤	井藤田家樋中村野藤木原	清伸義竹浩正孝忠	彦夫亮雄郎平宏稔夫夫	加諏柳谷北尾後竹福	藤訪田津林坂藤崎永	春貞真計庄芳幸忠貞	男雄司藏作夫正雄造	栗建福(伊)吉升(徒)佐(河)渡繩	山部田藤武川原野武合辺田	昭恒文公剛武正昭重照	文彦正雄夫男弘邦雄郎幸美	佐富松栗市橋高戸山	藤永本原村内橋津田	源順敏徳彦光勝	蔵博一郎操行治人也利

●昭和53年度

支商	富士野部井藤川家卷東西木本村田岡辺智野井木橋田本島沢上	昭成義敦憲忠朝榮誠幸政九重筆芳	典博雄久一勇男雄悅茂郎司勝真男幸一久規寛雄行之治司義	荒松島(南)森麻橋猪(藤)小高(羽)大和明	井尾本部里本股堂林橋場崎田智	滿昭信繁壽禮忠賢郁準良徳筆	雄吾義春郎三助輔正夫一和保助一	今首新山高中河伊高藤	井藤田家樋中村野藤木原	清伸義竹浩正孝忠	彦夫亮雄郎平宏稔夫夫	加諏柳谷北尾後竹福	藤訪田津林坂藤崎永	春貞真計庄芳幸忠貞	男雄司藏作夫正雄造	栗建福(伊)吉升(徒)佐(河)渡繩	山部田藤武川原野武合辺田	昭恒文公剛武正昭重照	文彦正雄夫男弘邦雄郎幸美	佐富松栗市橋高戸山	藤永本原村内橋津田	源順敏徳彦光勝	蔵博一郎操行治人也利
支商	富士野部井藤川家卷東西木本村田岡辺智野井木橋田本島沢上	昭成義敦憲忠朝榮誠幸政九重筆芳	典博雄久一勇男雄悅茂郎司勝真男幸一久規寛雄行之治司義	荒松島(南)森麻橋猪(藤)小高(羽)大和明	井尾本部里本股堂林橋場崎田智	滿昭信繁壽禮忠賢郁準良徳筆	雄吾義春郎三助輔正夫一和保助一	今首新山高中河伊高藤	井藤田家樋中村野藤木原	清伸義竹浩正孝忠	彦夫亮雄郎平宏稔夫夫	加諏柳谷北尾後竹福	藤訪田津林坂藤崎永	春貞真計庄芳幸忠貞	男雄司藏作夫正雄造	栗建福(伊)吉升(徒)佐(河)渡繩	山部田藤武川原野武合辺田	昭恒文公剛武正昭重照	文彦正雄夫男弘邦雄郎幸美	佐富松栗市橋高戸山	藤永本原村内橋津田	源順敏徳彦光勝	蔵博一郎操行治人也利

●昭和54年度

支商	(建)菊市橋高繩今	部地村内橋田井	恒敏徳準照清	彦(宏)行治一美彦	伊倉高福加	藤西橋永藤	稔茂人造男	猪佐藤山栗	股武堂田山	賢正勝昭	輔雄定利文	大高松戸(從)宮核	崎木井津野原井	保夫一也邦雄雄	尾杉(中)大藤	坂本村島里藤	夫幸正一禮敦	夫(司)平男三久	河竹(中)阿伊佐	合崎村部藤	昭次郎	郎雄勝(治)勇(武)徳
支商	(建)菊市橋高繩今	部地村内橋田井	恒敏徳準照清	彦(宏)行治一美彦	伊倉高福加	藤西橋永藤	稔茂人造男	猪佐藤山栗	股武堂田山	賢正勝昭	輔雄定利文	大高松戸(從)宮核	崎木井津野原井	保夫一也邦雄雄	尾杉(中)大藤	坂本村島里藤	夫幸正一禮敦	夫(司)平男三久	河竹(中)阿伊佐	合崎村部藤	昭次郎	郎雄勝(治)勇(武)徳

次倫正(二)俊司 順一郎
 佑義 有直米 芳 昭昭静米 賢義俊 光和勝 也雄弘
 野木橋田場沢 崎 山田腰田村 股川国 津原橋
 岸佐高(新馬柳 尾 栗(武宮吉木猪黒小 戸宮大
 規記秋勇尚 正 功男)一 蔵助 富茂 敏)夫尚
 孝千 哲宏準 計忠茂 雅敏
 井川 越浦 山掛井橋津本東西 井村浦
 川佐関浪三 後 浦(沓松高谷橋伊倉 (照藤三
 (一)孝治夫清郎明 彦治夫郎男行規宏 夫樹男郎
 昭喜辰 六泰 清喜伸和忠敏 喜茂隆 喜七郎
 范場藤野田野森 井村藤田家村井地 葉山木田
 (釜橋齊清大永藤 今木首間菅市川菊 (千内佐吉
 司昭勇弥夫則滋 介 (治晃)雄郎正義雄司 人)造司
 浩 富尚正 義 治宣 勝武幸 彦宏貞米 隆
 塚田橋木岡野渡 上)子越賀田尾部村 橋井永沢 三米治)哉秋傳孝 介)夫
 大越高鈴(富中樋 後 (井金吉志福永阿川 高(松福柳 水大齊熊関十橋 (後岩
 治恢郎傳弘房 保 義男吉彦男健保之 泐夫利真倫 男)司龜弥弘宏郎保
 昭元郁 幸 昭春健仁剛 康 幸勝義 勝浩光富士 泰金 卓
 森田原倍田田 本 崎藤藤田川山崎野 田賀田田木 山塚藤木田田生本
 梅窪(菅十德平 宮 石加佐飛升青(大上 須芳山(武佐々 青)大後鈴德野若宮
 士勝文仁宏郎義 定宏彰久博稔吉郎平 雄明一陽治夫 江治恢)紀寿仁勇明)三義
 勝 是一泰金房 敦 藤晃俊 正良純 卓理秋 昭元博政一 泰雄房
 田下賀田田生上 堂田美 藤永海田名藤 武居木保辺部 田森田藤田田越森木上
 内日志竹野若河 藤浅加佐富熱長蝦齊 佐鳥(八久渡安浅梅窪佐藤竹浪藤鈴河

顧問
 ●昭和 57 年度
 支部長
 支商議

監査幹事
 役長事

顧問
 ●昭和 58 年度
 支部長
 支商議

監査幹事
 役長事

夫文彦)馬延盛 輔範)樹 也雄弘
 士夫勝文)男郎滋 雄
 勝英 是典六
 田山下賀橋野渡 家 義
 内横日(志高永樋 山
 久次倫)司正則房 順一郎
 芳佑義米 正幸
 野野木藤橋野田 本
 野野保津浦崎子藤田川 賀田川
 (上牧久戸三石金首間(升林
 輔司人夫行夫男郎一)明稔
 賢幸彦敏直理春宣宏俊
 股村橋村田部藤賀井見海
 猪川高(藤角安加志(松福熱
 富規熙三宏彰吉明延吉
 茂 直 健良米藤
 東井田永田美藤居田田
 伊川須福浅加佐鳥吉長
 雄)宏樹男)博男郎)濟夫久彦雄盛治
 武泰俊隆 光喜七 芳敦仁治 卓
 部田国木水崎田原坂藤田越村辺
 (阿野小佐清長(吉菅尾佐飛吉木渡
 雄健弘平夫一)司功)巳文義藏助倫正雄郎紀夫則俊隆夫
 正 勝俊幸準米 克昭勝計忠義 至芳博龍正直英
 武山橋藤賀橋沢山原山尾津本 木田部田藤橋野場山山
 佐青大齐芳高柳(浦大栗永谷橋佐福阿長佐高中(馬中横

顧問	河上房義	宮本保	岩崎敏夫	後藤幸正	松本順一郎	山家義雄
●昭和59年度						
支部長	見田俊明	安倍理夫	石崎昭義	伊藤藤喜	大原克巳	尾坂芳夫
商議員	淺賀美健	加藤賀(間)賀菅猪久高野山佐	金首宮望内倉高福	木傳谷木大齊高福	山居田田国水田野	佐永熱青山井原津浦
監査役	佐飛林伊川須長柳渡(吉近青長佐高中樋横河藤)	志賀(間)賀菅猪久高野山佐	野岡文藤久越	梅今庄德野真	大崑鈴十橋水	大後(鈴船)中平山
幹事	邊越藤沼田藤橋山渡山上堂	阿熊佐竹永藤若宮佐	野岡文藤久越	森野司田田野	塚野木倍場沢	沼藤木越野田崎
顧問	河上房義	宮本保	岩崎敏夫	後藤幸正	松本順一郎	山家義雄

3) 関東支部役員

●昭和50年度

支部長	難波準象	青山正幸	井上廣胤	伊藤藤圭典	石川武雄	石川戸明
商議員	安芸田孝昭人男喬信幸	梅吉川中村井崎	遠藤良原本田山	遠藤黑建部羽田沢	大財竹深松渡	川池木間沢本辺
幹事	野井島祐利琢輝啓和美信夫房太郎二	中堀山	新小田水三頼小松	飯後高深水渡清水	荻佐鳥福森	原藤越田木
顧問	飯名須川	芥川明久	井林洋一	竹藤重夫	石川武雄	石川戸明

●昭和51年度

支部長	大島哲男	井上章平	井上廣胤	井出輝次	石原博	石川戸明
商議員	青一本田	今村藤尾	岩黒中	内駒中	遠藤木本	岡武並
顧問	飯名須川	芥川明久	井林洋一	井出輝次	石川武雄	石川戸明

幹事	丹榎宮渡大阿河鈴野松山石名須川	羽口下辺大阿河鈴野松山石名須川	俊芳和三郎	彦朗夫	野藤宮	沢野田	太慎弘之介	三吾介	萩堀山	原井西	敏信政	雄一男	萩松横	原下山	浩夫章	島御吉	山巫沢	和清慶	昭泰蔵	原宮若	田川木	信剛三	昭造夫	
幹事	大阿河鈴野松山石名須川	部西木村岡本川	照琢輝啓藤洋卓六秀	一郎夫之雄吉朗郎二	芥国田水三頼川羽	川井中田野経越田	明隆浩正四源達	久弘平男郎源雄蔵	新小高深水渡小松	井林橋沢上辺林井	洋準大泰甲正元達	一治輔晴次法橡夫	飯後鳥福森清水	竹藤越田木水越	重辰瑞悦誠雄達	夫雄輝久治吉雄	荻佐内前山下八十島	原藤藤田口村島	国泰豊靖肇義之助	宏生章弘紀	唐清野松山立	沢水辺浦崎花次郎	昭基和先文	雄衛美信夫
顧問																								

●昭和52年度

支部	大島哲男	島部智三郎	哲智三郎	男雄一郎	井今駒中萩堀宮	上村田瀬原内原	章浩敬明敏義	平三一男雄朗玄	井岩武中萩松村	上橋川村原下田	六洋恵勇照二	郎一助郎浩夫郎	井小野寺置山輪馬	手野玉鍋島三門	輝駿利匡将	次一脩晃昭匡義	飯岡堤並花御山	田内木籠巫西	隆昭秀清政	一功一夫輔泰男	石北寺根原宮若	原田尾岸田川木	博輔健博昭造夫
商議員	安一工富野榎宮渡大	安清水関藤森石名須川	部北田橋尾野田山	智米良勝幹正伸	井浦北齐武並堀湯	上江村木川内山	六恭信三恵昭義昭	郎知之郎助夫朗雄	井江桐坂玉西三森	手本山本置沢輪得	輝祐良紀	次橘在一脩昭匡三	伊小野寺部田張沢田	藤野柴富野宮	文毅信清太造	人一郎高一郎三邇	飯加桑杉富花宮	田藤原野永籠原	隆徹栄正秀	一夫力二照輔玄	市金河鈴中原門	川子野木村田馬	也一彰雄次郎昭義
顧問																							

●昭和53年度

支部	堺安岩川合高永日安島	部間北田橋尾野田山	智米良勝幹正伸	毅雄滋良実裕義雄幸一二衛輝仁治郎郎	井浦北齐武並堀湯	上江村木川内山	六恭信三恵昭義昭	郎知之郎助夫朗雄	井江桐坂玉西三森	手本山本置沢輪得	輝祐良紀	次橘在一脩昭匡三	伊小野寺部田張沢田	藤野柴富野宮	文毅信清太造	人一郎高一郎三邇	飯加桑杉富花宮	田藤原野永籠原	隆徹栄正秀	一夫力二照輔玄	市金河鈴中原門	川子野木村田馬	哲慶道勇信将	也一彰雄次郎昭義
商議員	安清水関藤森石名須川	部北田橋尾野田山	智米良勝幹正伸	毅雄滋良実裕義雄幸一二衛輝仁治郎郎	井浦北齐武並堀湯	上江村木川内山	六恭信三恵昭義昭	郎知之郎助夫朗雄	井江桐坂玉西三森	手本山本置沢輪得	輝祐良紀	次橘在一脩昭匡三	伊小野寺部田張沢田	藤野柴富野宮	文毅信清太造	人一郎高一郎三邇	飯加桑杉富花宮	田藤原野永籠原	隆徹栄正秀	一夫力二照輔玄	市金河鈴中原門	川子野木村田馬	哲慶道勇信将	也一彰雄次郎昭義
顧問																								

顧	問	駒城水石下水	井之内田川越	秀一正六達	文成男肇雄	佐鈴木野島花八十	藤木野島花八十	信啓哲次義之助	武之茂男郎	佐鈴木川名須川	原木井越川	俊孝友達秀	樹英竝雄二	雜高村小難	賀野田林波	英元隼	磨孝進橡象	島西森堺羽	津川吉田	義勝勸茲裕	郎肇昭毅巖	清嶋山清松	水田水井	基光隆雄達	衛雄久吉夫
---	---	--------	--------	-------	-------	----------	---------	---------	-------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------

●昭和57年度

支	部	長	多田宏行	赤木俊允	小川武義	上村正豪明	佐野昌一丈	関野山口秀哉	中宮和木俊達	大赤池及木清嶋石下八十島	義之助	幹	事	長	多田宏行	赤木俊允	小川武義	上村正豪明	佐野昌一丈	関野山口秀哉	中宮和木俊達	大赤池及木清嶋石下八十島	義之助	幹	事	長	多田宏行	赤木俊允	小川武義	上村正豪明	佐野昌一丈	関野山口秀哉	中宮和木俊達	大赤池及木清嶋石下八十島	義之助	顧	問	駒城水石下水	井之内田川越	秀一正六達	文成男肇雄	佐鈴木野島花八十	藤木野島花八十	信啓哲次義之助	武之茂男郎	佐鈴木川名須川	原木井越川	俊孝友達秀	樹英竝雄二	雜高村小難	賀野田林波	英元隼	磨孝進橡象	島西森堺羽	津川吉田	義勝勸茲裕	郎肇昭毅巖	清嶋山清松	水田水井	基光隆雄達	衛雄久吉夫
---	---	---	------	------	------	-------	-------	--------	--------	--------------	-----	---	---	---	------	------	------	-------	-------	--------	--------	--------------	-----	---	---	---	------	------	------	-------	-------	--------	--------	--------------	-----	---	---	--------	--------	-------	-------	----------	---------	---------	-------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------

●昭和58年度

支	部	長	多田宏行	秋内川笹土橋宮横	山田木田本崎山	成龍弘義	猪小菊鈴戸船森米	瀬川地木田越沢	三武昭隆茂卓	郎義正雄志稔之志	池大近鈴富古森	田西藤木田橋平	本明徹太功一生	石門佐関仲堀山	井内藤野西口	弓佳昌茂泰高	夫夫清文夫晴志	茨金佐田新峯山	木子藤中谷本科	龍浩伸洋喜	雄允一生二守一	宇上酒高沼宮大	都村見野田口和	一正尚昌尹文	馬明雄博一郎秀哉	幹	事	長	多田宏行	秋内川笹土橋宮横	山田木田本崎山	成龍弘義	猪小菊鈴戸船森米	瀬川地木田越沢	三武昭隆茂卓	郎義正雄志稔之志	池大近鈴富古森	田西藤木田橋平	本明徹太功一生	石門佐関仲堀山	井内藤野西口	弓佳昌茂泰高	夫夫清文夫晴志	茨金佐田新峯山	木子藤中谷本科	龍浩伸洋喜	雄允一生二守一	宇上酒高沼宮大	都村見野田口和	一正尚昌尹文	馬明雄博一郎秀哉	幹	事	長	多田宏行	秋内川笹土橋宮横	山田木田本崎山	成龍弘義	猪小菊鈴戸船森米	瀬川地木田越沢	三武昭隆茂卓	郎義正雄志稔之志	池大近鈴富古森	田西藤木田橋平	本明徹太功一生	石門佐関仲堀山	井内藤野西口	弓佳昌茂泰高	夫夫清文夫晴志	茨金佐田新峯山	木子藤中谷本科	龍浩伸洋喜	雄允一生二守一	宇上酒高沼宮大	都村見野田口和	一正尚昌尹文	馬明雄博一郎秀哉	顧	問	駒城水石下水	井之内田川越	秀一正六達	文成男肇雄	佐鈴木野島花八十	藤木野島花八十	信啓哲次義之助	武之茂男郎	佐鈴木川名須川	原木井越川	俊孝友達秀	樹英竝雄二	雜高村小難	賀野田林波	英元隼	磨孝進橡象	島西森堺羽	津川吉田	義勝勸茲裕	郎肇昭毅巖	清嶋山清松	水田水井	基光隆雄達	衛雄久吉夫
---	---	---	------	----------	---------	------	----------	---------	--------	----------	---------	---------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	-------	---------	---------	---------	--------	----------	---	---	---	------	----------	---------	------	----------	---------	--------	----------	---------	---------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	-------	---------	---------	---------	--------	----------	---	---	---	------	----------	---------	------	----------	---------	--------	----------	---------	---------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	-------	---------	---------	---------	--------	----------	---	---	--------	--------	-------	-------	----------	---------	---------	-------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------

●昭和59年度

支	部	長	多田宏行	荒小川佐田	木川口藤中	英武士浩則	昭義一郎男	石小北桜田	井原井井中	清幸吉雄三	猪岡菊笹高	瀬田地木木	二郎朋正胖徹	池神桐定戸	田山本道田	光昌成隆	本男典美志	茨金小田富	木子館中田	龍尚繁伸	雄利夫生功	上門小田仲	原内林中西	佳一信茂	忠夫輔行夫	顧	問	駒城水石下水	井之内田川越	秀一正六達	文成男肇雄	佐鈴木野島花八十	藤木野島花八十	信啓哲次義之助	武之茂男郎	佐鈴木川名須川	原木井越川	俊孝友達秀	樹英竝雄二	雜高村小難	賀野田林波	英元隼	磨孝進橡象	島西森堺羽	津川吉田	義勝勸茲裕	郎肇昭毅巖	清嶋山清松	水田水井	基光隆雄達	衛雄久吉夫
---	---	---	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	---	---	--------	--------	-------	-------	----------	---------	---------	-------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------

幹事	長事	一古比	彦夫純務之	輝黎真泰	園村岡沢積	梅北末竹宝	義卓敏正彰	彦治昭道彦	裕倫	越平	船森	作之	豐茂	田	廣森	久二	恭清	藤田	美村	郎守志	昌卓	田本沢	沼峯米	造晴志雄	惠泰高龍敏	目口木井熊才津山岸藤水越	布堀山茨新大京高土山安清水
幹事	長事	彦夫純務之	輝黎真泰	園村岡沢積	梅北末竹宝	義卓敏正彰	彦治昭道彦	裕倫	越平	船森	作之	豐茂	田	廣森	久二	恭清	藤田	美村	郎守志	昌卓	田本沢	沼峯米	造晴志雄	惠泰高龍敏	目口木井熊才津山岸藤水越	布堀山茨新大京高土山安清水	
顧問	顧問	毅夫	達	井	堺松	元	林田	小羽	越波	川難	越波	達隼	雄象	達隼	雄象	達隼	雄象	達隼	雄象	達隼	雄象	達隼	雄象	達隼	雄象	達隼	雄象

4) 中部支部役員

●昭和50年度

支部	部長	支商	顧問	幹事	長事	清弥喜哲彦夫博	澄俊武重武	木田尾本原村多	高吉西山榊川本	也良一侃義甫次幸	慎一啓信良正	原野田浦藤藤村田	市小米三伊伊中津	郎平三吉一男敬長彦	敏松有英陽孝義德守	木原本山木村田川山	伏市山片草(木井森片	信共三治宏博雄夫	正新欽孝郁	野賀辺田地瀬山林	水室渡山菊高杉小	吉昭稔彦男(弘男豊平	善利一外清和昭	田山中坂崎淵浦野辺立	和(畠田長山(瀧杉平渡足	晃(郎)夫憲臣市彦稔治忠二(雄雄男)博親三郎男彰吾太郎式	田井田林田牧木沢藤野林原田畑川田藤本野田本上土方	田永池小増阪高赤佐水(小笠和里(古小西齐山片高松井土	
支部	部長	支商	顧問	幹事	長事	清弥喜哲彦夫博	澄俊武重武	木田尾本原村多	高吉西山榊川本	也良一侃義甫次幸	慎一啓信良正	原野田浦藤藤村田	市小米三伊伊中津	郎平三吉一男敬長彦	敏松有英陽孝義德守	木原本山木村田川山	伏市山片草(木井森片	信共三治宏博雄夫	正新欽孝郁	野賀辺田地瀬山林	水室渡山菊高杉小	吉昭稔彦男(弘男豊平	善利一外清和昭	田山中坂崎淵浦野辺立	和(畠田長山(瀧杉平渡足	晃(郎)夫憲臣市彦稔治忠二(雄雄男)博親三郎男彰吾太郎式	田井田林田牧木沢藤野林原田畑川田藤本野田本上土方	田永池小増阪高赤佐水(小笠和里(古小西齐山片高松井土	
顧問	顧問	顧問	顧問	顧問	顧問	郎幸	三重	見	松谷	三智一雄吾治郎治彦	美弥敏昭兼三勇文	中田谷田中下気林本	田吉深岩畑森和大松	澄士見義清雄典郎久	喜晴卓信一毅二正	下本生野合川田木	山福松大河関名石佐々	一弥(郎)久雄明明三也夫	晃元友道広敏一時晃	井橋島藤藤江井藤田部田	石高豊(伊佐杉浅齐前渡八	一宏志章力啓治清仁夫	洋孝浩修勇	井沢間藤萩間川戸畑	新柳草加大佐久菊杉櫻西	(中清河野(根山大大	西家村口本田宮根	省幸三好六義	吾(蔵)郎(司)守(達)郎(男)

●昭和51年度

支部	部長	支商	顧問	幹事	長事	也延治彦彦夫裕	慎正欽利守武	原井田木山村	市細山高片川岡	郎平喜保彦甫博	敏松武重	木原尾水原藤田	伏市西清榊伊本	信共一哲(義)久敬次	正啓信恭義良	野賀田本藤藤田村	水室米山(伊美井中	吉(事)稔(臣)司(一)博(長)幸	善真重好陽徳正	田村中田口木瀬川田	(和吉田増野草高森津	夫淳憲弥男(橘男)二豊雄	哲博俊外(佑和壮)義	田川林田崎本野本辺	(池名小吉山江(平河渡東	三雄清敏市弘吉治平吉男博(男)忠	有繁澄唯藤康昭英義	本原木内牧浦原藤立山和里(小八高	山笠高喜阪杉小河佐佐片和里(小八高
支部	部長	支商	顧問	幹事	長事	也延治彦彦夫裕	慎正欽利守武	原井田木山村	市細山高片川岡	郎平喜保彦甫博	敏松武重	木原尾水原藤田	伏市西清榊伊本	信共一哲(義)久敬次	正啓信恭義良	野賀田本藤藤田村	水室米山(伊美井中	吉(事)稔(臣)司(一)博(長)幸	善真重好陽徳正	田村中田口木瀬川田	(和吉田増野草高森津	夫淳憲弥男(橘男)二豊雄	哲博俊外(佑和壮)義	田川林田崎本野本辺	(池名小吉山江(平河渡東	三雄清敏市弘吉治平吉男博(男)忠	有繁澄唯藤康昭英義	本原木内牧浦原藤立山和里(小八高	山笠高喜阪杉小河佐佐片和里(小八高
顧問	顧問	顧問	顧問	顧問	顧問	蔵郎茂	幸三	家村藤	清河近	三智一	美弥	中田谷	田吉深	治士見	美晴卓	上本生	井福松	一明広	晃高元	井山島	石上豊	一宏志	洋孝	井沢間	新柳草	吉男博(男)忠	則信	川木瀨	

達文男 郎幸 忠義 三重 田坂根 見 松谷 山穂大 雄吾治 晃治彦三 敏昭兼康勇文新 田中下間林本辺 岩畑森岩大松渡 義建雄典郎久郎 信登一叡二正淑 野笹川田木井 大青関名石佐永 史雄明明三也夫 久道広敏一時晃 藤江井藤田部田 佐杉浅育前渡八 章力啓治清仁夫 藤萩間川戸畑 加久大佐菊杉榎西

●昭和52年度

支商	市坂市喜山山大伊本植和青小広高斉渡片高松井土	原上原内田本坪藤多下田山川田瀬藤辺野田本上方	松次義方哲茂甫博協雄樹博作忠三元男彰吾郎大	平郎也敏方哲茂甫博協雄樹博作忠三元男彰吾郎大	(笠山高吉山清園川杉)	原田木田田水田村山	繁專澄俊欽 鉄武孝 洋英 孝	雄一清弥治保雄夫雄	須川林藤牧浦口原藤笹	名小加阪(杉野小河青)	石上(豊村佐杉浅育(前渡八	淳憲晃市弘功吉治裕)建	井松松大青佐関名石佐永	上沢生野笹藤 川田木井	美卓信登一叡二正淑	事(稔)潔吉男(橋)巳二豊平	中(室)高米野片高(森)多東	本賀桑田口山瀬川田	正保啓好守 德尚義	則共治一司彦博(長)久雄	伏細西高美井能津	木井尾木藤田勢田	敏正武利恭義甲正	郎延喜彦久敬郎幸	蔵郎茂達文俊良郎幸三
部員	坂市喜山山大伊本植和青小広高斉渡片高松井土	原上原内田本坪藤多下田山川田瀬藤辺野田本上方	松次義方哲茂甫博協雄樹博作忠三元男彰吾郎大	平郎也敏方哲茂甫博協雄樹博作忠三元男彰吾郎大	(笠山高吉山清園川杉)	原田木田田水田村山	繁專澄俊欽 鉄武孝 洋英 孝	雄一清弥治保雄夫雄	須川林藤牧浦口原藤笹	名小加阪(杉野小河青)	石上(豊村佐杉浅育(前渡八	淳憲晃市弘功吉治裕)建	井松松大青佐関名石佐永	上沢生野笹藤 川田木井	美卓信登一叡二正淑	事(稔)潔吉男(橋)巳二豊平	中(室)高米野片高(森)多東	本賀桑田口山瀬川田	正保啓好守 德尚義	則共治一司彦博(長)久雄	伏細西高美井能津	木井尾木藤田勢田	敏正武利恭義甲正	郎延喜彦久敬郎幸	蔵郎茂達文俊良郎幸三
支商	市坂市喜山山大伊本植和青小広高斉渡片高松井土	原上原内田本坪藤多下田山川田瀬藤辺野田本上方	松次義方哲茂甫博協雄樹博作忠三元男彰吾郎大	平郎也敏方哲茂甫博協雄樹博作忠三元男彰吾郎大	(笠山高吉山清園川杉)	原田木田田水田村山	繁專澄俊欽 鉄武孝 洋英 孝	雄一清弥治保雄夫雄	須川林藤牧浦口原藤笹	名小加阪(杉野小河青)	石上(豊村佐杉浅育(前渡八	淳憲晃市弘功吉治裕)建	井松松大青佐関名石佐永	上沢生野笹藤 川田木井	美卓信登一叡二正淑	事(稔)潔吉男(橋)巳二豊平	中(室)高米野片高(森)多東	本賀桑田口山瀬川田	正保啓好守 德尚義	則共治一司彦博(長)久雄	伏細西高美井能津	木井尾木藤田勢田	敏正武利恭義甲正	郎延喜彦久敬郎幸	蔵郎茂達文俊良郎幸三

●昭和53年度

支商	中坂市関米尾片小喜高本東(青竹)広高斉渡安高藤松榎八	本上原田関山林内瀬多	正次義方哲茂甫博協雄樹博作忠三元男彰吾郎大	則郎也雄一基彦二敏博雄樹)夫作忠三元男彰吾郎大	山(高)福(山)美山吉杉足	田木原崎藤田田山立	專澄元外恭欽俊孝昭	一清郎男)久治弥雄平	(須)川林原尾坪田藤笹山	名(小)大西大井加青片	石上村本杉鬼齐	晃高邦道德	井松松大佐佐名	上尾生野藤久間川	美卓信 叡	事(之)潔方)誠雄甫哲治協	能高野小津(清)荒関	勢桑口倉田水井	甲子郎治司巳幸保)郎雄	郎保好正正利一	郎治司巳幸保)郎雄	(伏)鍋高野小細多渡	木山木口原井田辺	敏利藤正尚	郎晃彦功吉延夫豊	蔵郎治茂志文俊正
部員	中坂市関米尾片小喜高本東(青竹)広高斉渡安高藤松榎八	本上原田関山林内瀬多	正次義方哲茂甫博協雄樹博作忠三元男彰吾郎大	則郎也雄一基彦二敏博雄樹)夫作忠三元男彰吾郎大	山(高)福(山)美山吉杉足	田木原崎藤田田山立	專澄元外恭欽俊孝昭	一清郎男)久治弥雄平	(須)川林原尾坪田藤笹山	名(小)大西大井加青片	石上村本杉鬼齐	晃高邦道德	井松松大佐佐名	上尾生野藤久間川	美卓信 叡	事(之)潔方)誠雄甫哲治協	能高野小津(清)荒関	勢桑口倉田水井	甲子郎治司巳幸保)郎雄	郎保好正正利一	郎治司巳幸保)郎雄	(伏)鍋高野小細多渡	木山木口原井田辺	敏利藤正尚	郎晃彦功吉延夫豊	蔵郎治茂志文俊正
支商	中坂市関米尾片小喜高本東(青竹)広高斉渡安高藤松榎八	本上原田関山林内瀬多	正次義方哲茂甫博協雄樹博作忠三元男彰吾郎大	則郎也雄一基彦二敏博雄樹)夫作忠三元男彰吾郎大	山(高)福(山)美山吉杉足	田木原崎藤田田山立	專澄元外恭欽俊孝昭	一清郎男)久治弥雄平	(須)川林原尾坪田藤笹山	名(小)大西大井加青片	石上村本杉鬼齐	晃高邦道德	井松松大佐佐名	上尾生野藤久間川	美卓信 叡	事(之)潔方)誠雄甫哲治協	能高野小津(清)荒関	勢桑口倉田水井	甲子郎治司巳幸保)郎雄	郎保好正正利一	郎治司巳幸保)郎雄	(伏)鍋高野小細多渡	木山木口原井田辺	敏利藤正尚	郎晃彦功吉延夫豊	蔵郎治茂志文俊正

●昭和54年度

支商	部長	支商	部長	支商	部長	支商	部長	支商	部長	支商	部長	支商	部長	
部員	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	
小坂宮福西酒井加佐植(今浅竹才中(近渡津穗小四福松榎渡	林上崎原尾井田藤藤下村沼内村川藤辺川坂林俵田本	浩義昭元次武哲義康	二(郎)喜(夫)敬(晃)治(協三)郎(夫)治(茂)茂(志)文(一)俊(宏)吾(二)三	山仲(大)野(小)真(後)伊(山)荒(閑)	田(西)原(野)藤(藤)本(井)	專(茂)作(繁)寿(利)一	一(夫)潮(男)久(之)甫(哲)郎(雄)	(山)仲(大)野(小)真(後)伊(山)荒(閑)	田(西)原(野)藤(藤)本(井)	專(茂)作(繁)寿(利)一	一(夫)潮(男)久(之)甫(哲)郎(雄)	西(瀨)口(藤)倉(田)尾(田)辺	村(瀨)口(藤)倉(田)尾(田)辺	西(瀨)口(藤)倉(田)尾(田)辺
				(木中)広(塩)小(斎)渡(安)高(加)杉(渡)山										

●昭和55年度

支商	部長	支商	部長	支商	部長	支商	部長	支商	部長	支商	部長	支商	部長	
部員	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	
小(宮)高(福)麻(西)酒(井)加(吉)青(片)田(竹)岡(塩)小(河)大(安)高(平)藤(松)榎(渡)	林(崎)秀(原)里(尾)井(田)藤(田)笹(山)中(内)野(入)堀(本)橋(井)田(澤)井(本)	郁(昭)秀(元)禮(武)哲(義)俊(登)英(美)俊(眞)康(毅)弘(義)征(千)代	夫(二)信(郎)三(喜)夫(敬)章(弥)建(吉)三(夫)久(治)雄(一)明(金)彰(夫)喜(仁)三	(仲)宮(大)真(後)伊(加)佐(閑)	西(原)野(藤)藤(藤)	茂(克)繁(寿)康(一)	夫(典)潮(久)之(甫)晃(治)雄	(仲)宮(大)真(後)伊(加)佐(閑)	西(原)野(藤)藤(藤)	茂(克)繁(寿)康(一)	夫(典)潮(久)之(甫)晃(治)雄	西(西)弘(才)近(小)鈴(中)山(荒)浅(淡)	村(村)瀨(村)藤(倉)木(尾)本(井)沼	西(西)弘(才)近(小)鈴(中)山(荒)浅(淡)

●昭和56年度

支商	部長	支商	部長	支商	部長	支商	部長	支商	部長	支商	部長	支商	部長
部員	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問	幹事	顧問
細(高)金(屋)尾(生)	井(秀)敷(里)尾(生)	正(秀)忠(禮)武(卓)	延(信)儀(三)喜(見)	宮(渡)真(高)	原(辺)野(木)	克(恭)繁(東)	典(平)久(吉)	(西)藤(才)近	村(野)村(藤)	一(慎)俊	男(吾)郎(茂)	東(田)工	義(尚)

治正雄平 雄志寛利義吾介造夫 太夫
欽重孝昭 宣正 匡篤 昭泰 順保 幸晃
田場山立 藤尾井川 藤中 間田原 上田
山柳杉(足) 加(長松) 齋 烟 安(飯中) 井 八
夫 彦博(男) 博 司 勉(夫) 一 澄 彦 雄 助 郎 式
信利 朝 修 資 鉦 正 邦 芳 叡 三 大
藤田 瀨野 多 田 美 田 野 高 川 見 方
加山 高 小 本 下 宇 栗 永 菅 日 坂 名 (松 土)
夫 一 夫 豊 一 郎 夫 彦 弘 武 就 晃 治 彦 二
不 洋 尚 晃 雄 和 節 德 勇 文 浩
田 池 田 刃 井 崎 西 部 東 下 頭 藤 林 本 林
吉 菊 多 渡 石 宮 (安 磯 坂 山 鬼 齊 大 松 小
也 典 哲 郎 雄 陽 一 和 昭 夫 豊 稔 昭 郎 久 平
和 一 利 一 鉦 孝 和 政 二 正 松
木 尾 本 井 保 村 沢 本 川 田 橋 田 田 木 原
鈴 中 山 荒 関 久 内 吉 榎 早 秋 高 石 石 佐 市
之 甫 晃 治 協 樹 治 朗 (一) 治 明 金 夫 啓 清 也 三
壽 康 雅 康 三 毅 卓 弘 義 征 時 有
藤 藤 藤 藤 下 見 入 野 本 野 橋 井 澤 間 戸 部 本
後 伊 加 佐 植 塩 塩 松 (河 吉 大 安 平 佐 久 杉 渡 山
夫 男 章 弥 建 吉 智 久 碩 治 朗 行 一 彦 俊 宏 司 吾 仁 三
哲 久 俊 登 英 弥 眞 建 晴 正 栄 徹 正 和 章 金 修 新
井 川 藤 田 笹 山 田 野 藤 川 川 辺 塚 林 木 俵 田 藤 本 辺
(酒 石 加 吉 青 片 吉 岡 伊 中 渡 定 小 青 四 福 近 松 榎 渡 渡)

幹事 長事

顧問

●昭和57年度

支部長 支商議員

三見男 肇章 弥建雄 碩治(利) 治義 武就夫 也三
禮卓久 俊登一 藤柳川口 藤下 頭 澤 部 本
里生川 藤田 笹 伊小松 水 齊 山 鬼 平 渡 山
麻松(石) 上加 吉 青 関
朗一 治 治 正 雄 協 雄 昭 一 治 夫 豊 彦 治 仁 三
司 健 欽 重 孝 宣 鉦 正 知 徹 嗣 修 新
悦 田 谷 村 田 場 山 下 藤 田 田 田 川 田 木 井 辺
宮 深 竹 山 柳 杉 植 加 石 永 高 早 秋 青 鳥 (榎 渡)
勝(夫) 彦 潔 博 夫 彦 男 吉 司 吾 彦 弘 治 明 金 助 一 郎 夫
辰 邦 正 信 利 朝 英 修 省 節 憲 弘 義 叡 晃 幸 晃
門 部 手 本 崎 藤 内 野 山 田 上 部 東 木 橋 井 川 井 上 田
加 服 村 (宮 山 加 山 小 片 下 河 磯 (坂 高 大 安 名 石 井 八
雄 潤) 喜 男 浩 夫 一 夫 博 陽 郎 真 昭 司 一 成 啓 治 武 延
義 尚 尚 二 不 洋 尚 雄 二 章 榮 一 勇 大 正
村 嶋 藤 井 田 池 田 多 保 崎 邑 本 藤 林 垣 間 林 方 井
東 田 原 (工 藤 吉 菊 多 本 久 宮 河 榎 近 小 稲 佐 久 大 土 細
吾 郎 茂 也) 義 夫 哲 豊 樹 一 和 治 夫 吾 介 晃 郎 彦 二
慎 俊 和 信 典 雅 鉦 孝 卓 保 昭 泰 二 文 浩
野 村 藤 木 藤 平 本 辺 見 山 沢 野 原 中 間 藤 田 本 林
藤 才 近 鈴 伊 下 山 渡 塩 内 吉 吉 中 畑 安 齊 石 松 小
儀 薪 典 彦 平 吉 裕 甫 秋 晃 治 智 典 彦 義 一 朗 朗 行 彦 雄 稔 清 久 平
忠 克 利 恭 東 稔 康 弥 克 利 範 正 三 晴 正 邦 芳 政 正 松
敷 山 原 本 辺 木 田 藤 田 藤 藤 田 原 本 藤 林 野 辺 塚 高 橋 戸 木 原
(金 本 宮 岩 渡 高 増 伊 岡 加 佐 吉 宮 岩 新 小 松 渡 定 日 坂 高 杉 佐 市

幹事 長事

顧問

●昭和58年度

支部長 支商議員

郎 見 肇 章 弥 治 智 俊 卓 俊 康 弥
村 生 藤 田 藤 田
才 松 上 加 吉 佐 吉
文 (一) 信 治 治 正 健 雄
是 健 欽 重 登 一
賀 谷 岩 村 田 場 笹
志 深 黑 竹 山 柳 青 関
夫 彦 (一) 博 夫 彦 男 協
辰 邦 正 信 利 朝
部 手 谷 崎 藤 内 野 下
服 村 深 山 加 山 小 植
雄 郎 喜 浩 夫 一 夫 吉
義 三 尚 正 洋 尚 英
川 嶋 井 垣 池 田 山
東 中 原 藤 野 菊 多 片
吾 美 宏 茂 義 夫 哲 博
慎 昭 信 典
野 島 沢 藤 藤 平 本 多
(藤 飯 柳 近 伊 下 山 本
雄 彦 邦 吉 裕 秋 晃 豊 武) 弘
孝 利 昭 東 修 稔
山 本 水 木 田 崎 田 藤 辺 下 島
杉 岩 清 高 増 宮 岡 加 渡 (山 大

幹事 長事

幹事	品小松渡(定伊日鈴高杉松小	川林野辺塚藤高木橋戸本林	正正三晴正義和政	典一朗朗行則彦也稔清彦二	(塩金平吉吉(中杉畑(安小斉石土細	見子田沢野原浦中間西藤田方井	雅孝卓保昭泰明二大正	樹彰実和治夫弘吾介夫晃郎式延	(久興宮河榎(近中小稲佐久八本	保崎邑本藤村林垣間林田山	陽雄二郎真昭司勝一成啓治夫蕪	信雄二章栄一勇晃	下河磯河高大安名石井渡	田上部本木橋井川井上辺	修省節毅憲弘義毅晃幸新	司吾彦一治明金助一郎三	加石永高中秋四広渡山	藤田田村田依田部本	宣鉦正幾正喜時有	雄昭一治雄豊俊宥也三	伊小水沢部鬼平	藤柳口野田頭澤	藤小水沢部鬼平	碩治二雄就夫	昇耕哲徳征	久平	久平
----	---------------	--------------	----------	--------------	-------------------	----------------	------------	----------------	-----------------	--------------	----------------	----------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-----------	----------	------------	---------	---------	---------	--------	-------	----	----

●昭和59年度

支部長	多後清渡伊高山渡井品宮飯伊伊日鈴伊杉松小	田藤水辺藤崎本上川田田藤藤高木藤戸本林	尚昭晴信耕昭正浩恭光義邦和政	夫侃邦朗義道哲豊栄典邇敬雄則彦也博清彦二	飯柳藤野山高本	島沢井垣口橋多	昭正柏英	美宏浩夫樹夫博	中原山加山小片	川嶋崎藤内野山	三尚正信利朝英	郎喜博夫彦男吉	服深竹山柳大植	部谷村田場島下	辰健欽重	夫一治治正弘協	志黒上榎吉青関	賀岩本田笹	是俊登一	文信肇昭弥建雄	才松宮岡加佐吉	村生崎田藤藤田	俊卓修稔康弥	郎見輔秋晃治智	明雄治二雄就夫	久平	久平
支部長	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫	田尚夫
支商議員	田多後清渡伊高山渡井品宮飯伊伊日鈴伊杉松小	田藤水辺藤崎本上川田田藤藤高木藤戸本林	田尚昭晴信耕昭正浩恭光義邦和政	田夫侃邦朗義道哲豊栄典邇敬雄則彦也博清彦二	田飯柳藤野山高本	田島沢井垣口橋多	田昭正柏英	田美宏浩夫樹夫博	田中原山加山小片	田川嶋崎藤内野山	田三尚正信利朝英	田郎喜博夫彦男吉	田服深竹山柳大植	田部谷村田場島下	田辰健欽重	田夫一治治正弘協	田志黒上榎吉青関	田賀岩本田笹	田是俊登一	田文信肇昭弥建雄	田才松宮岡加佐吉	田村生崎田藤藤田	田俊卓修稔康弥	田郎見輔秋晃治智	田明雄治二雄就夫	田久平	田久平

5) 関西支部役員

●昭和50年度

支部長	伊藤元石藤田本原川林野立原島村	富千多留二隆巖明紀勉敷蔵三尚介二保	雄留二隆巖明紀勉敷蔵三尚介二保	野塚林本岡石村下垣	春幸成宣謙	雄卓蔵隆薫人男昭郎	今井野井島中羽田	正幹昭祐武健	一夫博美朗彦二	今志茂岡垣置田藤	博保芳謙龍睦俊	健夫次郎清男郎郎	小末中(大藤中秦	坂平谷西沢島	清治男行清治男	後田西(兒長広堀	藤井戸島野内川	清好勝之郎徹男	孝敏篤	尚恵一保
支部長	伊藤元石藤田本原川林野立原島村	富千多留二隆巖明紀勉敷蔵三尚介二保	雄留二隆巖明紀勉敷蔵三尚介二保	野塚林本岡石村下垣	春幸成宣謙	雄卓蔵隆薫人男昭郎	今井野井島中羽田	正幹昭祐武健	一夫博美朗彦二	今志茂岡垣置田藤	博保芳謙龍睦俊	健夫次郎清男郎郎	小末中(大藤中秦	坂平谷西沢島	清治男行清治男	後田西(兒長広堀	藤井戸島野内川	清好勝之郎徹男	孝敏篤	尚恵一保
支商議員	伊藤元石藤田本原川林野立原島村	富千多留二隆巖明紀勉敷蔵三尚介二保	雄留二隆巖明紀勉敷蔵三尚介二保	野塚林本岡石村下垣	春幸成宣謙	雄卓蔵隆薫人男昭郎	今井野井島中羽田	正幹昭祐武健	一夫博美朗彦二	今志茂岡垣置田藤	博保芳謙龍睦俊	健夫次郎清男郎郎	小末中(大藤中秦	坂平谷西沢島	清治男行清治男	後田西(兒長広堀	藤井戸島野内川	清好勝之郎徹男	孝敏篤	尚恵一保

計委員
監事
委員長
會幹

●昭和51年度

支部長	近藤	藤尾	和親	夫助	加稻	納垣	次謙	郎郎	児中	島島	孝萬	之治	近西	藤川	俊	郎勉	篠原	紀男	白丹	石羽	成武	人彦
副支部長	赤飯	尾島	親昭	美昭	稲玉	垣置	謙文	清男	中広	島内	萬隆	治徹	西藤	川沢	真好	勉清	西堀	宣篤	丹堀	羽川	武敏	彦久
商議員	富田	田中	祐龍	昭朗	玉秦	田村	健秀	二恵	大椽	内月	隆春	士輔	藤大	沢西	啓之	三三	堀奥	正昌	奥村	川居	敏幸	久雄
	田山	下上	博勝	昭夫	山楠	村上	秀忠	昂正	椽柳	井森	登志	夫勝	清松	水井		輔正	佐土	憲駿	居本	村居	幸忠	雄夫
	川永	尾谷	昭謙	義郎	西村	上本		夫			嘉	勝	山	岸			松	一	松	居本	忠	夫
會計員	三稲	垣野	光忠	郎三	(有)	馬尾	毅二		今小	本森	博久	健信	鶴野	飼野	光宣	夫寛	小田	紀一	兼谷	松平	哲正	勉夫
監事	天芦	見村	梯康	志士	桑鳥)	尾原	二介)		中松	村橋	勝数	樹保	佐山	野村	宣昇	寛男	田中	一昭	谷林	平正	夫一	
幹事	原田	井田	康稔	士平	中藤	居部	彦八			橋	数	保	山	口	昇	昇	田	二	渡	英		

●昭和52年度

支部長	足立	立田	力彌	久彌	長尾	尾西	義真	三三	奥村	敏憲	久三	川上	上居	博幸	夫雄	楠永	秀勝	惠義	佐西	伯村	昌吉	彦正
副支部長	寺大	田月	彌士	隆郁	大清水	水井	好啓	輔正	土松	憲駿	一郎	鳥松	居本	幸忠	夫博	永三	昭喜	一郎	西村	村上	吉正	彦已
商議員	村椽	上井	志夫	春登	松山	岸倉	啓之	博之	今川	大善	功仁	岩小	本林	昭重	一光	(三)	重滿	郎明	小芹	上沢	正克	好
	柳加	森藤	雄巖	嘉象	鎌大	同川	淳昭	稔雄	津宮	郷村	勇保	山成	井家	重康	馨夫	西下	喜喜	衛正	松	生井	克	
	大松	山本	夫一	昭忠	大宮	長	昭		宮	善	保	(山)	田	夫	林	下	正		松	井		
會計員	谷井	本田	治弘	喜憲	小黒	田尾	一勝	紀彦	兼佐	松野	夫寛	山田	勤巖	河田	井中	章昭	好一	木谷	村平	梯正	士勉	
監事	熊鳥	居田	弘彦	隆興	中藤	井	浩	二学	(中)	村村	樹博	西本	男司	西渡	村辺	昭英	一雄	(林)	井	俊	朗	
幹事	(原)	田福	滋	興	藤				松	村	博	本	司	渡	辺	英	一	藤	井	俊		

●昭和53年度

支部長	戸谷	松	司康	前田	幸博	雄博	小吉	彦正	加藤	藤長	衆昭	男雄	鎌倉	倉同	博之	川津	口郷	大勇	仁勇
副支部長	佐藤	井林	功一	岩下	滿喜	衛夫	芹西	正重	大長	昭準	昭一	正治	大松	井田	之好	津松	山平	聖洋	二一
商議員	今小	井川	光稔	成宮	康善	保朗	西足	重紀	上田	惠正	一雄	一郎	岡竹	中井	佳正	片手	島浦	勢	
	永宮	野森	夫勝	清西	士一	寬勤	関長	佳一	田辺	正	敦	雄敦	藤	井	学	松	浦		
	(佐)	枝橋	保保	森川	敏	生正	吉	一	渡										
會計員	松大	長佐	朗治	井上	之之	今高	宿芳	弘巖	小田	紀彦	一芳	田宮	輕部	大興	藏彦	河井	章修	好三	
監事	北中	井村	彦志	岡東	之彦	林西	田下	正繁	藤安	朗滋	俊	井福	鳥堀	宣	道	中松	修	博	
幹事	松本	本勝	勝	(本)	司郎	西	干	夫											

●昭和54年度

支部長	岡田	清
-----	----	---

夫和美夫	文正弘哲	井部山府	向勝高別	豐晴俊光	正直祥	村岡	牧奧高福	甫一郎憲介	浩利育正啓	川本中村田	堀岡佐野森	光夫克郎明	芳紀敬宗曠	尻木島野井	野上小中松	夫男修郎行介	幹幸喜恒啓	田田上井木田	西飯木中真森	勉幸(三人)雄雄	義聖森邦鐘	平山野口杉野	谷横(高川友星)
徹彦豊淳	和田村田	神鈴中山	雄史幸和	範正敏昌	瀨藤中受	片佐田甄	秀一郎之	哲隆繁	智井坂井	越酒田松	孝伯(夫信久)二	親和善泰隆	笹本林谷田見	小(谷小錢)廣逸	忠之稔悠	靖英	田田野峯	池久角平	豐次潮行辰彦)彰	俊性和	川田田原塚	北朴(神平)	

●昭和58年度

支部長	野石	文外	雄世	星上	野木	晴紀	彦夫	岡佐	本中	利育	一郎	奧高	村田	正直	晴俊	勝高	部山	和夫	川友	口杉	森邦	人雄	
副支部長	明飯	石田	幸修	小中	小島	敬宗	克郎	野森	野村	正啓	憲介	羽野	場上	直良	和孝	別梅	山府	美夫	友星	野野	邦鐘	雄雄	
商議員	木中	上井	喜恒	小玉	野井	宗曠	明一	梶西	川村	靖增	治雄	栗平	原澤	忠秀	徹男	近藤	田藤	秋修	荻野	野石	正寛	雄忠	
計員	小朴	本根	恒性	安安	福福	精元	滋滋	西山	田田	昌昌	昭昭	渡渡	澤邊	秀英	秀男	廣近	石井	辰滋	恒性	福越	恒性	小安	
監事	椋山	根田	一啓	省	三	江倉	克邦	遠小	幸和	一夫	奥酒	村井	義哲	雄郎	智木	秀彦	和安	河角	内野	清稔	清稔	清稔	
查事	榎田	崎田	善登	志夫	信夫	善登	志夫	早	知	夫	知	夫	早	知	夫	知	夫	早	知	夫	早	知	夫

●昭和59年度

支部長	勝田	悦昭	之昭	宮田	敏秋	明秋	野野	正野	雄野	小野	恒野	雄野	小野	精野	一野	梶野	川野	靖野	治野			
副支部長	西野	上野	忠野	二梅	藤藤	千秀	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野		
商議員	栗日	渡野	宇野	赤大	尾玉	興昌	池兼	周信	一藏	井神	福越	恒性	恒性	恒性	恒性	恒性	恒性	恒性	恒性	恒性		
計員	山安	福木	行義	芦河	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	
監事	安榎	木島	義至	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	田内	
查事	榎田	崎田	善登	志夫	信夫	善登	志夫	早	知	夫	知	夫	早	知	夫	知	夫	早	知	夫	早	知

6) 中国四国支部役員

●昭和50年度

支部長	用害	澄之	助夫	大飯	原塚	資敏	生夫	三多	井田	宏安	豊新	国居	永英	次一	森小	忠重	次典	西渡	林辺	新政	蔵男	
商議員	網松	千崎	寿彬	武	藤	德	一	花	井	三	岩	本	幸	二	三	野	照	男	浅	井	敏	男

監 幹 幹 顧	查 事 事 問	役 長 事 問	河 北 豐 坂 小 寺 古 内	野 川 嶋 田 小 川 西 村 林	茂 雄 次 雄 信 治 雄 一	小 直 高 松 福 日 加 賀 美	松 井 橋 村 村 野 美	勉 数 一 二 則 善 一 二 三	熊 藤 松 福 柿 星	崎 戸 村 田 崎 星	博 爾 二 久 雄 雄	江 用 坂 小 谷 安	本 害 田 田 本 山	佑 澄 之 静 治 信	橘 助 雄 義 巨 雄	新 村 田 中 杉 久 保 田	田 島 西 本 田	実 逸 郎 末 強 一	伊 津 中 河 荒	達 野 村 村 木	克 泰 正 正 謙	己 彦 正 士 一
------------------	------------------	------------------	--------------------------------------	---	--------------------------------------	---	---------------------------------	---	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	--------------------------------------	-----------------------	----------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

●昭和51年度

支 商 顧	部 長 員	網 大 鈴 渡 堀 大 豊 中 松 門 吉 菅 内 田	千 村 木 辺 場 嶋 村 田 国 井 林 辺	寿 健 政 直 勝 幸 恭 博 直 達 義	夫 裕 夫 男 之 英 次 正 二 知 洋 文 一 亮	森 久 本 河 直 高 坂 田 寺 河 加 賀 美 鈴	忠 喜 代 勇 茂 正 浅 静 靖 正 喜	次 彦 勇 茂 数 一 雄 治 士 三 久	中 藤 花 小 用 松	西 原 井 松 害 村	弘 武 三 勉 澄 之 助 二	高 飯 武 熊 伊 坂	岡 塚 藤 崎 達 田	宣 敏 德 克 静	善 夫 一 博 己 雄	山 新 岩 菊 多 村	下 居 本 地 田	親 英 幸 安 清	平 一 二 功 夫 逸	河 高 三 新 津 田	野 野 田 野 田 島	清 二 男 実 彦 郎
監 幹 幹 顧	查 事 事 問	役 長 事 問	中 松 門 吉 菅 内 田	村 田 国 井 林 辺	坂 田 寺 河 加 賀 美 鈴	田 西 村 美 紀	静 靖 正 喜	雄 治 士 三 久	釜 杉 星	口 本 治	忠 士 強 雄	谷 古 安	本 村 山	良 信	巨 雄 雄	福 日 荒	田 野 木	茲 裕 謙	久 善 一	久 保 田 村	野 野 田 島	卓 清 逸

●昭和52年度

支 商 顧	部 長 員	江 金 鈴 渡 堀 和 中 松 菊 渡 菅 中 内 田	島 丸 木 辺 谷 山 村 地 辺 井 村 林 辺	淳 治 夫 男 之 男 治 二 功 升 文 三 一 亮	森 久 本 河 直 木 坂 寺 河 加 賀 美 鈴	忠 喜 代 勇 茂 正 達 静 靖 忠 一 二 三 喜 久	次 彦 勇 茂 数 雄 治 孝 一 二 三 喜 久	吉 藤 福 新 下 松	本 原 井 磯 村	彰 武 元 次 郎 一 滋 二	勝 広 武 熊 伊 坂	見 川 藤 崎 達 田	雅 吉 一 博 己 雄	雅 吉 一 博 己 雄	見 新 小 菊 多 田	沢 居 林 地 田 島	繁 英 信 安 秀	光 一 寛 功 夫 郎	三 高 三 新 津 中	井 野 田 野 田 村	宏 二 男 実 彦 正
監 幹 幹 顧	查 事 事 問	役 長 事 問	中 松 菊 渡 菅 中 内 田	村 地 辺 井 村 林 辺	坂 寺 河 加 賀 美 鈴	田 西 村 美 紀	雄 治 孝 一 二 三 喜 久	釜 杉 星	口 村 治	忠 士 強 雄	谷 杉 安	本 山 信	巨 雄 雄	福 古 荒	田 村 木	茲 良 謙	久 一	久 野 田 村	久 保 田 野 田 村	卓 清 逸	

●昭和53年度

支 商 顧	部 長 員	銀 網 鈴 高 堀 椎 小 伊 木 川 寺 山	山 千 木 本 名 川 槻 本 村 西 内	匡 寿 健 一 直 公 讓 達 法 靖 宗	助 夫 夫 裕 之 一 治 健 雄 人 治 成	森 久 萩 弦 和 中 松 山 渡	忠 喜 代 明 幹 男 治 恭 二	次 彦 明 幹 男 治 隆 升	藤 笠 福 新 浅 木	原 原 井 野 本	輝 繁 元 次 郎 一 富 美 達 雄	男 雄 一 雄 雄	野 広 奥 大 村 松	田 川 田 字 田 村	英 榆 照 泰 恭	明 吉 博 一 三 二	豊 新 小 江 伊 坂	国 居 林 島 達 田	永 英 信 克 静	次 一 寛 淳 己 雄	河 田 三 野 新 冲 松	野 尻 野 田 中 岡	清 夫 男 実 郎 夫
監 幹 幹 顧	查 事 事 問	役 長 事 問	木 川 寺 山	内 宗	成	中 山 渡	恭 二	隆 升	丸 石	岡 崎	敏 隆	明 康	福 永	田 永	茲 栄	久 亮	高 杉	石 本	正 春 強	古 古	本 村	麻 良 生 雄	

日野裕善 中村勝三 安山信雄 村田清逸 田辺義亮 鈴紀喜久
 顧問 加賀美一二三 星 治 雄

●昭和54年度

支部長 長本隆夫
 商議員 門田博知 森西頭常 次彦博藏 一夫健二
 中落新沖松 木西合田中岡本塚藤谷野
 日野裕善 小余木中落椎長伊木高加山
 顧問 加賀美一二三 星 治 雄

監査役 長事
 幹事 長事

支部長 小川博
 商議員 余越正一郎 森平川川忠 次治博藏 夫明二
 中落新沖松 木西合田中岡本塚藤谷野
 日野裕善 小余木中落椎長伊木高加山
 顧問 加賀美一二三 星 治 雄

●昭和55年度

支部長 小川博
 商議員 余越正一郎 森平川川忠 次治博藏 夫明二
 中落新沖松 木西合田中岡本塚藤谷野
 日野裕善 小余木中落椎長伊木高加山
 顧問 加賀美一二三 星 治 雄

監査役 長事
 幹事 長事

支部長 佐藤秀一
 商議員 大村惠健 河野伊一郎 吉本彰 勝美雅 見沢繁 光行 河野清
 中落新沖松 木西合田中岡本塚藤谷野
 日野裕善 小余木中落椎長伊木高加山
 顧問 加賀美一二三 星 治 雄

●昭和56年度

支部長 佐藤秀一
 商議員 大村惠健 河野伊一郎 吉本彰 勝美雅 見沢繁 光行 河野清
 中落新沖松 木西合田中岡本塚藤谷野
 日野裕善 小余木中落椎長伊木高加山
 顧問 加賀美一二三 星 治 雄

監査役 長事
 幹事 長事

支部長 小川博
 商議員 余越正一郎 森平川川忠 次治博藏 夫明二
 中落新沖松 木西合田中岡本塚藤谷野
 日野裕善 小余木中落椎長伊木高加山
 顧問 加賀美一二三 星 治 雄

●昭和57年度

支部長 小川博
 商議員 余越正一郎 森平川川忠 次治博藏 夫明二
 中落新沖松 木西合田中岡本塚藤谷野
 日野裕善 小余木中落椎長伊木高加山
 顧問 加賀美一二三 星 治 雄

	今山健杉原清山田祐一澄川巖西崎增夫土岐敬祐	田尻孝夫田中真三谷平吉口野雅雅宥之正森小本昭正男信勇清吉高水田一本博巖裕冲平島浩一郎治	長隆博正彦直淳治一	吉權都宮英勝木村英	杉本多勇	原中田原俊種健次郎	清三昭壽	山吉原	田野原	祐雅雅	一宥之正	澄森小本	川田多	巖昭正男	西清吉高	崎水田一本	增博巖裕	夫博	土町冲平	岐井中島	敬旦浩一郎	祐昌一郎治	
監查役	幹事長事	幹事	顧問																				
	大村裕	岡野兼浩夫	吉余越正一郎	宇都宮英彦	矢村神	合川原中田	之治清三昭壽	大久山谷平吉	原良田口野原	資喜代宥之正	生彦一宥之正	高松坂森時本	岡下本田乘多	宣勝良昭勇	善二一男浩勇	山井西藤吉高	口上崎井田本	正章增崇一	隆平夫弘巖裕	沢清水山大本	田水岐本橋島	健敬卓昭	吉博祐朗光治

●昭和58年度

支部長	網野藤尻川本江	大村裕	岡野兼浩夫	吉余越正一郎	宇都宮英彦	矢村神	合川原中田	之治清三昭壽	大久山谷平吉	原良田口野原	資喜代宥之正	生彦一宥之正	高松坂森時本	岡下本田乘多	宣勝良昭勇	善二一男浩勇	山井西藤吉高	口上崎井田本	正章增崇一	隆平夫弘巖裕	沢清水山大本	田水岐本橋島	健敬卓昭	吉博祐朗光治	
支商議員	近田西長長	岡野藤尻川本江	大村裕	岡野兼浩夫	吉余越正一郎	宇都宮英彦	矢村神	合川原中田	之治清三昭壽	大久山谷平吉	原良田口野原	資喜代宥之正	生彦一宥之正	高松坂森時本	岡下本田乘多	宣勝良昭勇	善二一男浩勇	山井西藤吉高	口上崎井田本	正章增崇一	隆平夫弘巖裕	沢清水山大本	田水岐本橋島	健敬卓昭	吉博祐朗光治
監查役	幹事長事	幹事	顧問																						
	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村

●昭和59年度

支部長	岡野丸田中江	田門野丸田中江	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大
支商議員	岡野丸田中江	田門野丸田中江	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大	泰知夫哉三	弘博兼正章五大
監查役	幹事長事	幹事	顧問																						
	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村	赤山下小村

7) 西部支部役員

●昭和50年度

支部長	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三
支商議員	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三	直村德三

緒方司	日高又弘	藤岡俊男	安里良德	町室田富	富士夫	芝田為茂	田斐本	為米廣	茂一廣
廣門正	早生隆	廣勝幸	古賀東	室屋清	次久充	甲藤小	斐本野	米廣	一廣
竹野尾	久富木	勝欽虎	賀東倫	梶原	光久充	藤小野	本野	廣	一廣
松佐早	原吉勝	元	野	瀨	久充	野	野	廣	一廣
原藤本	勝元	元	野	磯	久充	野	野	廣	一廣
岡平竹	壁村	元	野	依	久充	野	野	廣	一廣

監査役
幹事

●昭和51年度

支部長	島隆	史宏	隆男	三安	露里	嘉長	郎德	荒木	大麓	奧田	夫茂	緒方	司康
商議員	日下高	又金	俊德	安廣	里田	長兼	德男	町古	富士	田屋	茂次	門斐	康一
	大城野	照欽	精誠	勝梅	元野	倫	元之	椿川	東一	梶小	久一	本内	廣聰
	竹野	欽	誠	真市	野	倫	之	崎	迪	野寺	久一	山	廣
	原門	正倫	五康	甲	斐	柴	之	井	健	高	男夫	大隈	登人
	廣梅	倫清	之矩	吉	井	慶	治	上	巴	岡	昭	隈	正
	山本	淳利	一行	楠	田	哲	助	柴	健	高	幸	正	登
	金田	原	行	芳	賀	信	一	松	正	弘	夫	秀	人

監査役
幹事

●昭和52年度

支部長	筒井寅吉	田原隆	秀島隆	史男	花村俊	彦德	荒木大	麓	奧田	夫茂	緒方	司康	
商議員	大野正	御供田	藤岡	隆俊	安里	讓元	町古	富士	田屋	茂次	門斐	康一	
	緒方	大城	淺瀬	良弘	武勝	元夫	椿梅	東一	梶小	久一	本内	廣聰	
	廣門	野尾	原山	欽	市原	誠	野	迪	野寺	久一	山	廣	
	甲斐	松山	山	一	原	夫	崎	迪	野寺	久一	山	廣	
	藤本	寺	達	夫	野	夫	井	幸	高	男夫	大隈	登人	
	内田	沼	利	治	本	陽	井	清	本	昭	隈	正	
	川崎	井	健	太郎	山	樹	隆	弘	正	幸	夫	秀	人
	川端	武	正	弘	山	樹	一	夫	夫	夫	夫	夫	夫
	石井	隆	一	夫	山	樹	一	夫	夫	夫	夫	夫	夫
	沢村	一	夫	夫	山	樹	一	夫	夫	夫	夫	夫	夫
	平田	一	夫	夫	山	樹	一	夫	夫	夫	夫	夫	夫

監査役
幹事

●昭和53年度

支部長	大城金夫	下川浩	資寺	阪村	勝實	別府	卓	矢野	一德	永井	三為	郎茂
商議員	大野正	御供田	藤武	元木	實元	大古	永公	廣德	卓七	芝甲	田斐	茂一
	梅野倫	青木	勝瀨	木	元	古	東一	德永	比古	藤本	野	廣
	川端一	瀬	瀨	欽	五	椿	幸	梶原	比古	本	野	廣
	里見	原	瀨	欽	五	佐	甫	上	比古	野	野	廣
	松尾	原	瀨	欽	五	甫	甫	上	比古	野	野	廣
	山本	原	瀨	欽	五	甫	甫	上	比古	野	野	廣
	寺阪	青木	謙	三	三	甫	甫	上	比古	野	野	廣
	竹中	弘	起	助	健	尾	重	黑	實	後	藤	惠之
	松井	正	助	健	健	山	一	高	夫	依	井	秀人
	沢武	喜	美	健	健	山	樹	山	夫	依	井	秀人
	百武	美	健	健	健	山	樹	山	夫	依	井	秀人
	渡邊	義	則	則	則	山	樹	山	夫	依	井	秀人

監査役
幹事

●昭和54年度

支部長 下川浩

商議員	高永芝 甲藤竹 高佐肥 沢高渡	橋井田 斐本中 橋藤木 村橋高 田村橋 沢高渡	基三為 榮弘基 幸武健 義	次郎茂 一廣起 次甫修 助治則	下荒磯 梅川里 松古賀 竹柴吉 島	磯野端 見尾原 賀芳健 太郎健 晋	滋之男 男一和 平郎太 郎健晋	米渡青 瀬原	岩鈴木 屋	熊吉屋 淵	伊中会 平	正恭謙 弘欽	照平三 海五	健巳治 敦雄	寺城武 勝濡	金関渡	阪間田 元木	田淳一 毅実	勝吉稷 元久	一毅実	別田古 椿佐	黒中山	木沢本	健直清	実之矩	後会横	藤田井	惠義聡	之輔彦 之	徳傳信 久古	野間村 原田	矢本西 棍上	卓人平 一郎甫	府道公 東幸	卓道公 東幸
-----	--------------------------	--	------------------------	--------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------	-----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----	-----------	-----------	-----------	-----	-----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------	-----------

●昭和55年度

支部長	井瀬矢 田古椿 佐田德 山沢高 渡	島野中 賀藤中 田村橋 高渡	武一德 人平郎 甫人夫 嗣助治 則	士充德 人平郎 甫人夫 嗣助治 則	廣三本 西棍栗 坂	田原間 村原谷 本	孝節重 光陽	夫郎傳 信久一 薰	一淳健 太郎一 晋	岩秋土 溝	熊吉屋 淵	尚直義 隆	美之彦 一	岩村秋 野	熊山吉 喜	健一卓 郎	徳上里	田間城	峯幸	夫清男	和黒溝	田木淵	絃健幹	一実之	利義穰	光彦二	卓吉稷 元久	府間田 元木	別城武 勝濡	勝実三 海五雄	阪村木 戸藤	寺藤青 瀬原工	照平男 男一和	正恭一 泰寿弘	村辺端 見尾原	米渡川 里松	隆之茂 一廣起	清倫為 榮弘	原野田 斐本中	竹梅芝 甲藤竹	竹梅芝 甲藤竹	夫郎傳 信久一 薰	孝節重 光陽	田原間 村原谷 本	廣三本 西棍栗 坂	士充德 人平郎 甫人夫 嗣助治 則	武一德 人平郎 甫人夫 嗣助治 則	島野中 賀藤中 田村橋 高渡	井瀬矢 田古椿 佐田德 山沢高 渡
-----	-------------------------------	-------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-----------------	-----------------	-----------	-----------------	-----------------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----------	-----------	-----------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	-----------	------------	------------	------------	-----------------	-----------	-----------------	-----------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------	-------------------------------

●昭和56年度

支部長	山瀬岡 田古沢 原小松 細金藤 南	内戸中 賀村嶋 坪井田 崎	豊直道 公武尚 清寛信 淳一裕 旭	聡充英 人平助 喜真人 義一裕 旭	廣三本 坂椿佐 横	田原間 本東藤 内	孝節一 幸利	夫郎傳 薰郎甫 治	治二光 太郎	伊中会 平	東沢田 田	尚直義 隆	美之彦 一	岩村秋 野	熊山吉 喜	健一卓 郎	徳上里	田間城	峯幸	夫清男	和黒溝	田木淵	絃健幹	一実之	作吉穰 元五雄	豊勇寛 武尚	田間井 村嶋	廣城武 勝原工	晃之三 海史薰	山野木 戸島岡	鍋梅青 瀬秀諸	夫郎男 男廣基	誠和一 泰文	原田端 見本道	市山川 里藤中	隆久茂 一光一	清為榮 久陽	原木田 斐原谷	竹濡芝 甲棍栗	夫郎傳 薰郎甫 治	孝節一 幸利	田原間 本東藤 内	廣三本 坂椿佐 横	聡充英 人平助 喜真人 義一裕 旭	豊直道 公武尚 清寛信 淳一裕 旭	内戸中 賀村嶋 坪井田 崎	山瀬岡 田古沢 原小松 細金藤 南
-----	-------------------------------	------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-----------------	-----------------	-----------	-----------------	-----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	------------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	-----------------	-----------	-----------------	-----------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------	-------------------------------

●昭和57年度

支部長	青岡田 今椿佐 持葉衣	木合林 中川東 藤永室 非	謙恒直 直誠一 幸龍武 安	三孝英 人一郎 甫一郎 夫章	寺三鳥 甲棍小 瀬	尾原居 斐原坪 戸	健郎則 一久眞 海	持松芝 横藤中	夫征	上阪恒 雄	龍成爲 利文	一郎男 茂治廣 基	市沢川 瀬秀富	原端戸 島樫	誠慶一 弘隆茂	夫郎男 男海史 巳	鍋梅武 勝原喜	山野田 元内	晃之穰 元五郎	健一郎	和黒溝	田木淵	絃健幹	一実之	作吉人 助喜	豊勇寛 武尚	田間井 村嶋	廣城松 沢原	晃之穰 元五郎	山野田 元内	鍋梅武 勝原喜	夫郎男 男海史 巳	誠慶一 弘隆茂	原端戸 島樫	市沢川 瀬秀富	龍成爲 利文	一郎男 茂治廣 基	持松芝 横藤中	夫征	上阪恒 雄	龍成爲 利文	一郎男 茂治廣 基	市沢川 瀬秀富	原端戸 島樫	誠慶一 弘隆茂	夫郎男 男海史 巳	鍋梅武 勝原喜	山野田 元内	晃之穰 元五郎	健一郎	和黒溝	田木淵	絃健幹	一実之	作吉人 助喜	豊勇寛 武尚	田間井 村嶋	廣城松 沢原	晃之穰 元五郎	山野田 元内	鍋梅武 勝原喜	夫郎男 男海史 巳	誠慶一 弘隆茂	原端戸 島樫	市沢川 瀬秀富	龍成爲 利文	一郎男 茂治廣 基	持松芝 横藤中	夫征	上阪恒 雄
-----	-------------------	------------------------	------------------------	-------------------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------	----	----------	-----------	-----------------	------------	-----------	------------	-----------------	------------	-----------	------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------	------------	-----------------	------------	-----------	------------	-----------	-----------------	------------	----	----------	-----------	-----------------	------------	-----------	------------	-----------------	------------	-----------	------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------	------------	-----------------	------------	-----------	------------	-----------	-----------------	------------	----	----------

大場健一郎 岩熊健一 会田義彦 高橋健治 金田淳一 溝渕幹之
 伊東尚美 和藤田絃一 柴崎元 内野武喜 上問村隆 大和村 竹史
 松下博通

●昭和58年度

支 商	部 長	鍋山晃	田中美三	持永龍一郎	吉田元彦	江口淳一郎	松山完	山居敏一	山居誠一	山居清	山居真
監 幹	查 事	佐藤幸甫	寺尾成一男	持大青瀬秀喜	永字木戸島田	龍一照謙弘隆健	元節稷元雄	江久松沢東	口高井村	淳一將寛武保	榮人助保
幹 事	役 長	長牟斐池道	牟礼斐池道	田端内本	藤幸昭夫	幸昭夫	藤幸昭夫	藤幸昭夫	藤幸昭夫	藤幸昭夫	藤幸昭夫
幹 事	役 長	中川内大岩伊藤	川内大岩伊藤	川内大岩伊藤	川内大岩伊藤	川内大岩伊藤	川内大岩伊藤	川内大岩伊藤	川内大岩伊藤	川内大岩伊藤	川内大岩伊藤

●昭和59年度

支 商	部 長	和田裕之	奥山文雄	今村浩三	吉田元秀	田中三	美照三	江口淳	口高淳	淳一榮	淳一榮
監 幹	查 事	西原山石斐池野本原	高牟礼内本庭斐	馬原瀬鍋緒	村場戸山方	須欽弘義	成信二茂健	田大松沢橋	中字井村原	美照寛武照	三一人助雄
幹 事	役 長	松大甲三平山松靜	藤幸昭夫	藤幸昭夫	藤幸昭夫	藤幸昭夫	藤幸昭夫	藤幸昭夫	藤幸昭夫	藤幸昭夫	藤幸昭夫
幹 事	役 長	伊春	伊春	伊春	伊春	伊春	伊春	伊春	伊春	伊春	伊春

3. 土木学会賞受賞者一覧

年度	種別	題目および登載誌巻号
昭和50年	功績賞	篠原武司
	"	柳沢米吉
	技術賞	建設省中国地方建設局太田川工事事務所：中流部多目的堰流量制御システム—高瀬堰建設事業—
	"	日本道路公団：恵那山トンネルの建設
	"	日本鋼管（株）：扇島海上製鉄所建設に関する土木工事
	"	運輸省第二港湾建設局：鹿島港の建設
	論文賞	田村重四郎：Dynamic Behavior of A Submerged Tunnel During Earthquake (東京大学生産技術研究所報告第24巻5号/50年3月)
	"	中川博次：開水路の乱流構造に関する研究(総合題目)(論231, 241, 244)
	論文奨励賞	稲村肇：地域住民の反応と路線選定(論239)
	"	佐藤道郎：不等流を遡る波の波高変化に関する基礎的研究(論242)
	"	長谷川彰夫：枠組および補鋼材で補強された薄板集成構造の耐力(総合題目)(論232, 234, 235, 236)
	"	諸戸靖史：砂のような粒状体のせん断変形に関する基礎的研究(総合題目)(論229, 239)
	"	山口正隆：円柱に作用する波圧・波力に及ぼす波の非線型効果に関する研究(総合題目)(論227, 229)
	吉田賞	百島祐信：カンチレバー架設したプレストレストコンクリート橋の断面力および挙動の研究(論240)
	田中賞	
	論文部門	阿部英彦：鉄道用合成桁のずれ止めに関する実験的研究(鉄道技術研究所報告第961号施設編第434号/50年3月)
"	小堀為雄：道路橋の振動とその振動感覚に関する研究(論222, 230)	
作品部門	かもめ大橋(大阪市土木局・大阪市港湾局)	
"	第二摩耶大橋(神戸市港湾局)	
"	東北新幹線第二阿武隈川橋りょう(日本国有鉄道仙台新幹線工事事務局)	
昭和51年	功績賞	堀威夫
	"	本間仁
	技術賞	東京電力(株)：高瀬川開発工事における地下発電所の設計施工
	"	大阪府企業局 新日本製鉄(株)：プレハブ鋼矢板セル工法による産業廃棄物埋立護岸の急速施工 東洋建設(株)
	"	日本国有鉄道東京第一工事事務局：東海道本線東京・品川間地下新線の建設
	"	首都高速道路公団：東京港トンネルの建設
	"	運輸省第四港湾建設局：長崎空港の建設
	論文賞	田村浩一：橋梁井筒基礎の耐震設計に関する基礎的研究(鉄道技術研究所報告 No. 1000/51年7月)
	"	合田良実：不規則波に対する港湾構造物の設計法に関する研究(総合題目)(論253, 運輸省港湾技術研究所報告第12巻3号/48年9月, 同第13巻1号/49年3月, 同第14巻3号/50年9月, 同第14巻4号/50年12月, 同所資料 No. 230/50年12月)
	"	村山朔郎：砂の構成式に関する研究(総合題目)(論236, 251)
	論文奨励賞	中山隆弘：材料強度のばらつきを考慮した定常不規則振動体初通過破壊確率の研究(論250)
	"	池田駿介：河川の二次流と河道形状に関する研究(総合題目)(論250, 251, 255 Proc. ASCE. Vol. 102, HY 9/51年9月)
	"	川原陸人：連続体力学における有限要素法の適用に関する研究(総合題目)(論179, 194, 204, 247, 253, Int. Jour. for Numerical Methods in Eng. Vol.10, No. 3/51年, Nuclear Eng. and Design Vol. 34, No. 2/50年11月)
	"	森地茂：通勤鉄道ネットワーク決定法に関する研究(論254)
	吉田賞	宮田尚彦：円状断面の部材を用いたコンクリート鉄道土木構造物特に橋台、橋脚の設計方法に関する研究(鉄道技術研究所報告 No. 934/51年2月)
	田中賞	
論文部門	小松定夫：トラスおよび補剛トラスを有する吊橋の立体的力学特性と実用設計法に関する研究(総合題目)(論236, 238, 248, Tech. Rep. of the Osaka Univ. Vol.26/51年)	
作品部門	旭江野橋(大阪市)	
"	泉大津大橋(大阪府)	
"	大島大橋(日本道路公団)	
"	浜名大橋(日本道路公団)	

年度	種別	題目および登載誌巻号
昭和 51 年	作品部門	平戸大橋（長崎県）
昭和 52 年	功績賞	黒田 静 夫
	"	水野 高明
	"	山本 三郎
	技術賞	帝都高速度交通営団：ルーフシールド式めがね形シールド駅の設計施工
	"	電源開発（株）：船明ダムの粘土系グラウト工事
	"	神戸市道路公社：新神戸トンネルの建設
	"	建設省近畿地方建設局真名川ダム工事事務所：真名川ダム建設事業
	"	大阪府土木部：階層浄水場の建設
	論文賞	小坪 清 彦：多柱基礎橋脚に対する水の付加質量の 3 次元解析（論 259）
	"	高西 照 一：浸透流解析の不飽和・非定常問題への拡張（総合題目）（論 264, 268）
	"	赤井 浩 一：西 有 三：西 垣 誠
	論文奨励賞	阿井 正 博：ケーブル構造に関する一理論解析（論 260）
	"	吉村 健：インディシアル応答による橋梁断面のねじりフラッタの研究（論 264）
	"	沢井 健 二：粘性流路の侵食と横断形状に関する研究（論 266）
	"	沢本 正 樹：振動流の乱流遷移と抵抗係数に関する研究（論 237, 258, Journal of Fluid Mechanics, Vol. 75, Part 2/51 年 5 月）
	吉田賞 中賞	池田 尚 治：コンクリート強度即時判定方法に関する研究（総合題目）（論 255, 266）
	論文部門	坂井 藤 一：鋼箱桁橋の中間ダイヤフラム設計法に関する研究（総合題目）（論 261, 長井 正 嗣：川崎技報 No.65/52 年 12 月）
	"	松浦 章 夫：高速鉄道における橋桁の動的挙動に関する研究（論 256）
	作品部門	水郷大橋（建設省関東地方建設局）
	"	蓮根歩道橋（首都高速道路公団）
	"	速日峰橋（宮崎県北方町）
	"	六甲大橋（神戸市港湾局）
昭和 53 年	功績賞	岡本 舜 三
	"	杉戸 清
	技術賞	日本鉄道建設公団東京新幹線建設局、強膨張性地山における吹付コンクリートとロックボルト併用（株）熊 谷 組を主体とするトンネル工法の設計・施工
	"	福岡市高速鉄道建設局、新たに開発した泥水固化工法による土留工法の施工—福岡市高速鉄
	"	日本プレスコンクリート（株）道建設工事—
	"	京浜外貨埠頭公団：海上コンテナ埠頭の建設
	"	阪神外貨埠頭公団
	"	新東京国際空港公団：新東京国際空港第一期建設工事
	"	東京瓦斯（株）：LNG 地下式貯槽の研究開発と建設
	"	日本国有鉄道東京第三工事局：東北新幹線総合試験線の建設
	論文賞	片山 恒 雄：岩崎 敏 男：佐 伯 光 昭：地震動加速応答スペクトルの統計解析（論 275）
	"	石原 研 而：不攪乱砂の室内試験にもとづく地震時の液状化解析（総合題目）（Soils and Foundation Vol.17, No.3/52 年 9 月, 同 Vol.18, No.4/53 年 12 月, Proc. of DMSR 77, Vol.2/52 年 9 月）
	論文奨励賞	北田 俊 行：初期不整を有する圧縮板及び圧縮補剛板の極限強度特性に関する研究（総合題目）（論 265, 270, 日本鋼構造協会第 11 回大会発表論文 53 年 6 月）
	"	浜田 政 則：大型地下タンクの地震時挙動の観測と解析（論 273）
	"	石川 忠 晴：河川の流砂に関する基礎的研究（総合題目）（論 257, 266, ASCE Vol.14, HY 7, 東工大研究報告 No.24/53 年 6 月）
	"	小松 利 光：表面密度噴流における乱れおよび流れ特性に関する研究（総合題目）（論 268, 273, 第 22 回水理講演会 53 年 2 月）
	"	西 好 一：弾・塑性論にもとづく地盤材料の力学的挙動に関する研究（総合題目）（論 271, 280）
	"	桧 貝 勇：鉄筋コンクリートはりのせん断破壊に関する基礎研究（論 279）
	吉田賞 中賞	町田 篤 彦：コンクリートの圧裂試験に関する基礎研究（論 279）
	論文部門	倉西 茂 哉：矢吹 哲 哉：側方荷重の影響を考慮した 2 ヒンジ鋼アーチの面内極限強度について（論 272）
	作品部門	吾妻川橋りょう（日本鉄道建設公団東京新幹線建設局）

年度	種 別	題 目 お よ び 登 載 誌 卷 号
昭和 53 年	作 品 部 門	川崎橋 (大阪市)
	"	中国自動車道帝釈橋 (日本道路公団)
	"	松ヶ山橋 (神奈川県企業庁)
昭和 54 年	功 績 賞	佐 藤 寛 政 渡 部 弥 作
	技 術 賞	日本鉄道建設公団盛岡支社・小本川橋梁の建設—PC鉄道斜張橋の設計 鹿 島 建 設 (株)
	"	日本国有鉄道仙台新幹線工事局：風化地盤 (マサ土) における NATM の本格的施工
	"	本州四国連絡橋公団：リップ中間を拘束した鋼 2 ヒンジアーチ橋の設計施工
	"	運輸省第二港湾建設局：川崎港海底トンネルの建設 川 崎 市 港 湾 局
	"	神奈川県内広域水道企業団：広域水道の建設
	"	東京電力 (株)：高瀬川における水力再開発
	"	建設省近畿地方建設局琵琶湖工事事務所：野州川放水路建設事業
	論 文 賞	久 保 慶三郎：ライフラインの耐震性ならびに震害予測に関する研究 (総合題目) (ASCE Vol. 105, TC 1, 2 nd U.S.N. at. Conf. on Earthq. Eng. 1979-8)
	"	土 岐 憲 三：井筒基礎の地震応答解析に関する研究 (論 281)
	"	松 尾 稔：信頼性理論による地盤関連構造物の設計法と斜面の破壊予知に関する研究 (総合題目) (論 276, 281, 289)
	論 文 奨 励 賞	中 村 秀 治：薄肉構造要素に表われる線形常微分方程式境界値問題の数値解法に関する研究 (総合題目) (論 271, 285, 289)
	"	辻 本 哲 郎：掃流過程の確率論的研究 (総合題目) (論 290, 291, Bulletin. D.P.R.I. Kyoto Univ. Vol.29, Part 1 No.261/54年7月)
	"	国 生 剛 治：軟弱地盤の非線形震動特性についての模型振動実験と解析 (論 285)
"	松 下 博 通：生存確率を考慮したコンクリートの圧縮疲労強度に関する研究 (論 284)	
吉 田 賞 中 賞	三 浦 尚：極低温下における鉄筋コンクリート部材の性質に関する研究 (論 285)	
論 文 部 門	西 村 俊 夫 田 島 淳 二 奥 川 志 寿 三 木 千 寿 レ形溶接縦方向継手を有する鋼部材の疲れ強さ (論 291)	
作 品 部 門	大三島橋 (本州四国連絡橋公団)	
"	鏡川水道橋 (高知市水道局)	
"	上越新幹線赤谷川橋梁 (日本鉄道建設公団東京新幹線建設局)	
"	辰巳高架線 (首都高速道路公団)	
昭和 55 年	功 績 賞	高 野 務 瀧 山 養
	技 術 賞	建設省中国地方建設局島田川ダム工事事務所：RCD コンクリート工法による島田川ダムの堤体施工
	"	日本鉄道建設公団青函建設局
	"	日本国有鉄道大阪工事局：新たに開発された吹付コンクリート工法のトンネル工事への応用 大 成 建 設 (株)
	"	秋 田 県：新秋田空港の建設
	"	運輸省第三港湾建設局 阪 神 外 貿 埠 頭 公 団：港湾都市 (ポートアイランド) の建設 神 戸 市
	"	日本国有鉄道：積雪地帯における新幹線の雪対策 日本鉄道建設公団
	"	電 源 開 発 (株)：手取川の総合開発
	論 文 賞	栗 林 栄 一：地震被害の推定法に関する研究 (総合題目) (論 292, 建設省土木研究所資料1106, 1256, 1297, 日米天然会議第 9 回合同部会議事録 1977, 第 5 回日本地震工学シンポジウム論文集, Proc. 7 th WCEE)
	"	福 岡 捷 二 福 嶋 祐 介：貯水池密度流の解明と予測に関する研究 (総合題目) (論 293, 294, 302, 第22回水理講演会論文集, 2 nd Int. Symp. on Stratified Flow 55 年, 東京工業大学土木工学科研究報告 26/55 年)
	論 文 奨 励 賞	川 島 一 彦：強震記録を用いた道路橋井筒ケーソン橋脚の地震応答解析 (論 293)
	"	菊 池 昇：変分不等式によるはりの接触問題 (論 294)
	"	宮 永 洋 一：濁質粒度が貯水池濁水現象に及ぼす影響について (論 296)
	"	駒 田 廣 也：燃料ガスおよび放射性核種などの地下貯蔵構造物周辺における浸透拡散現象に関する研究 (総合題目) (論 288, 300, 電力中央研究所報告 380029 号, 380031 号/55 年 12 月)

年度	種別	題目および登載誌巻号	
昭和 55 年	論文奨励賞	魚本健人：高炉水砕スラグ・排煙脱硫石こう系セメントを用いたコンクリートの圧縮強度 (論 302)	
	吉田賞	広瀬利雄：(業績) RCD 工法の研究 (業績) (論 303, コンクリートライブラリー 46, セメントコンクリート/52年7月) 建設省 RCD 工法研究会代表	
	田中賞		
	論文部門	前田幸雄：橋梁骨組構造の非線形解析法とアーチの実用計算法に関する研究 (総合題目) 正：(論 253, 257, 299, 304, 第 20 回橋梁構造シンポジウム, 第 11 回マトリックス解析論文集, Trans. Research Record 664)	
	作品部門	大阪南港東高架橋 (大阪湾岸線) (阪神高速道路公団)	
	"	第三大川橋梁 (日本国有鉄道信濃川工事局)	
	"	東北新幹線第二孫屋敷架道橋 (日本国有鉄道盛岡工事局)	
	"	長柄橋 (大阪市土木局)	
	昭和 56 年	功績賞	大石重成
		"	中安米蔵
技術賞		京都市交通局：京都市高速鉄道烏丸線建設における大規模施設のアンダーピーニング 日本国有鉄道大阪工事局	
"		広島県：事前圧密工法による太田川西部浄化センターの建設	
"		四国電力(株)：片岩地帯における高落差本川揚水発電所の設計と施工	
"		大阪府土木部：都市河川寝屋川の改修一市街 (大東市) における河川改修一	
"		日本道路公団札幌建設局：泥炭地帯における北海道自動車道の計画・設計・施工について (札幌～岩見沢)	
"		日本国有鉄道下関工事局：浮上式鉄道実験線の建設	
"		電源開発(株)：松島火力発電所の建設	
"		東京都建設局：多摩ニュータウン三沢川分水路事業 住宅・都市整備公団南多摩開発局	
論文賞		中村英夫：都内近郊地域の土地利用モデル (論 309) 林本和明	
"		岡村甫：鉄筋コンクリートばりのせん断に対する設計法に関する研究 (総合題目) (論 287, 300, 308)	
論文奨励賞		岡林隆敏：確率微分方程式による確率論的構造解析に関する研究 (総合題目) (論 286, 296, 308, 316)	
"		藤野陽三：年最大風速記録による設計基本風速の算定に関する研究 (論 305)	
"		角湯正剛：(総合題目) (第 24 回水理講演会論文集, Third International Symposium on Stochastic Hydraulics 1980, 第 9 回環境問題シンポジウム講演論文集)	
"		山田正：山地小流域における降雨流出機構に関する研究 (総合題目) (論 306, 314)	
"		吉川勝秀：都市化流域における洪水災害の把握と治水対策に関する研究 (論 313)	
吉田賞		町田富士夫：桁式コンクリート鉄道橋支承部の耐震設計に関する研究 (国鉄鉄道技術研究所報告 1175 号)	
"		関博：集中荷重を受ける鉄筋コンクリート固定スラブの設計法に関する研究 (論 315)	
田中賞			
論文部門	宇佐美勉：福本喙士：溶接箱桁断面柱の局部座屈と全体座屈の連成強度に関する実験研究。(論 308) 青木徹彦		
作品部門	七滝高架橋 (静岡県)		
"	平林高架橋 (大阪湾岸線) (阪神高速道路公団)		
"	ベンジャミン・シアース・ブリッジ (シンガポール共和国公共事業庁)		
"	門前川橋梁 (日本国有鉄道下関工事局)		
昭和 57 年	功績賞	谷藤正三	
	"	最上武雄	
	技術賞	運輸省第二港湾建設局：深層混合処理工法を用いた横浜港大黒埠頭大型岸壁の建設 運輸省港湾技術研究所	
	"	埼玉県：大口径、変断面型トンネル洪水吐 (有間ダム) の設計と施工 (破砕性古生層における) 飛島建設(株)・フジ工業(株) 特別共同企業体	
	"	関西電力(株)：御坊発電所の人工島建設工事	
	"	大阪市下水道局：天王寺・弁天幹線の建設	
	"	日本国有鉄道：東北・上越新幹線の建設	
	"	日本鉄道建設公団	

年度	種別	題目および登載誌巻号
昭和 57 年	技術賞	建設省近畿地方建設局淀川工事事務所：淀川大堰建設事業
	"	電源開発(株)：下郷発電所鉄管路の TBM による斜坑掘削および水圧鉄管の設計、施工
	論文賞	榑橋本末 東一郎 晴行 末忠 司：土石流における粒子間応力と流動特性(論 317)
	"	佐武正雄：粒状体力学の構成に関する研究(総合題目)(Theoretical and Applied Mechanics, Vol.26, Proc. U.S.-Japan Seminar on Continuum Mechanical and Statistical Approaches in the Mechanics of Granular Materials, Proc. IUTAM Conference on Deformation and Failure of Granular Materials)
	論文奨励賞	磯山龍二：大規模水道システムの地震時信頼度評価法(論 321)
	"	山口宏樹：ケーブルの動力学的特性に関する研究(総合題目)(論 286, 308, 319)
	"	安田孝志：ソリトスペクトル理論とその海岸波浪への適用(総合題目)(第 28 回, 第 29 回 海岸工学講演会論文集)
	"	大津宏康：有限要素法による不連続性体の応力・変形・浸透流解析(論 322)
	"	岡本博：事故発生の偶然変動を考慮した道路区間の事故危険度の評価手法(論 326)
	吉田賞	角田与史雄：RC スラブの疲労押抜きせん断強度に関する基礎的研究(論 317)
	"	泉満明：ねじりと曲げの組合せモーメントを受けるコンクリート部材の設計法に関する研究(総合題目)(論 305, 327)
	田中賞	
	論文部門	八十島西岡 義之助 隆：長大吊橋上の鉄道車両の走行安定性に関する研究(総合題目)(論 164, 167, 172, 296, 309, 313)
	作品部門	興産大橋(宇部興産(株))
"	月夜野大橋(建設省関東地方建設局)	
"	東海道本線富士川橋梁(日本国有鉄道岐阜工事局)	
"	大和川橋梁(阪神高速道路公団湾岸線)(阪神高速道路公団)	
昭和 58 年	功績賞	飯吉精一
	技術賞	尾之内由紀夫
	"	横浜市交通局：横浜市営地下鉄駅部大断面トンネルの建設
	"	日本鉄道建設公団：青函トンネル先進導坑の建設
	"	日本国有鉄道東京第一工事局：大断面シールドトンネル(第 2 上野トンネル)の設計と施工
	"	日本国有鉄道岐阜工事局：塩嶺トンネルの建設
	"	日本道路公団広島建設局：中国縦貫自動車道 千代田～鹿野間の建設
	"	むつ小川原油備蓄株式会社：むつ小川原港における一点けい留パイプースおよび海底移送配管の建設
	"	建設省関東地方建設局川治ダム工事事務所：利根川・川治ダム建設事業
	論文賞	丹羽義次 積分方程式法の動弾性問題への適用に関する研究(総合題目)(Proc. 5th Int. Conf. Boundary Element Method, 1983 Proc. 4th Int. Conf. Boundary Element Method, 1982 Proc. 4th Int. Conf. Numerical Method Geomech, 1982)
	"	野池達也 嫌気性消化の浄化機構の解明と効率化に関する研究(総合題目)(論 320, 325, 330, 333, 335, The Technology Reports of the Tohoku Univ., Vol. 46, No. 2)
	"	青山柳征夫 宇：面内力を受ける鉄筋コンクリートシェル要素の耐力変形特性(論 331)
	論文奨励賞	野田茂：断層震源モデルを適用した地盤振動の評価に関する研究(総合題目)(論 323, 335)
	"	浅枝隆：熱的擾乱に起因する対流及び混合現象に関する研究(総合題目)(論 323, 336)
"	久武勝保：トンネルの合理的設計・施工に関する基礎的研究(総合題目)(論 332, Proc. Int. Symp. on Field Measurements in Geomechanic, 1983, Proc. 10th ICSMFE. Vol. 1, 1981)	
"	宮城俊彦：交通均衡理論に基づくネットワーク交通量の推計法に関する研究(総合題目)(論 289, Proc. of the World Conference on Transport Research, Gower press. 1981, 交通工学 Vol. 17, No. 6, 土木計画学研究発表会講演集 Vol. 6)	
"	上田多門：疲労荷重下の鉄筋コンクリートばりのせん断挙動(東京大学工学部紀要 B Vol. 37, No.1)	
吉田賞	田辺忠顕 原口敏久 内田敏久：ダム嵩上げ時の温度応力の実測と温度応力検討手法についての一提案(論 337)	
田中賞		
論文部門	竹宮宏和：地盤との相互作用における多径間連続高架橋の耐震解析・設計に関する研究(総合題目)(論 318, 328, 332, 338, 第 6 回日本地震工学シンポジウム論文集 橋梁と基礎 第 17 巻 10 号, Earthquake Engineering and Structural Dynamics, Vol. 9, No.5)	

年 度	種 別	題 目 お よ び 登 載 誌 卷 号
昭和 58 年	論文部門	崎 元 達 郎：鋼アーチ系橋梁の面外座屈耐荷力に関する研究（総合題目）（論 252, 286, 292, Proc. of ASCE Vol. 103, No. ST 12, Proc. of ASCE Vol. 108, No. ST 5, Proc. of ASCE Vol. 109, No. ST 3）
	作品部門	マタディ橋（ザイル共和国運輸通信省バナナ・キンシャラ施設整備公団（OEBK））
	〃	灘 大 橋（神戸市港湾局）
	〃	堀川筋高架橋（首都高速道路公団）
	〃	鶴 乃 橋（住宅・都市整備公団）
	技術開発賞	竹 下 貞 雄 河 野 博 利 植 田 之 之 森 田 泰 之 伊 藤 真 之 男 ：推進工法による線路下横断構造物の施工法（URT 工法）の開発
	〃	林 本 裕 貴 長 間 良 治 岡 沢 正 道 村 勝 久 佐 藤 久 人 田 藤 真 吉 大 藤 吉 晴 ：デスリップカーテン工法（函渠推進工法における上載土移動完全防止工法）
	〃	：ホーンジョイントによる PC プレキャスト版舗装の開発
	著作賞	
	工学図書	吉 見 吉 昭：砂地盤の液状化（土質基礎シリーズ）（技報堂出版（株））
〃	芦 田 和 男 高 橋 上 保 道 橋 正 規 ：河川の土砂災害と対策（防災シリーズ 5）（森北出版（株））	
一般図書	田 村 喜 子：京都インクライン物語（（株）新潮社）	
〃	中 村 良 夫：風景学入門（中公新書 650）（中央公論社（株））	

●吉田研究奨励金被授与者一覧

年 度	氏 名	年 度	氏 名
昭和 50 年	飯坂 武男 輪湖 建雄 大槻 有吾 広谷 彰彦	昭和 54 年	岡本 寛昭 加賀谷 誠 黒川 章二 坂井 悦郎
	秋元 泰輔 富沢 修次 越川 茂雄 原 千里		堺 孝司 鈴木 基行 長田 晴道 深見 一久
	野田 吉秀 森野 英俊 藤原 忠司 本山 彰彦		本山 彰彦 小林正几**
昭和 51 年	岡村 寿保 河野 利明 森本 博昭 六郷 恵哲	昭和 55 年	大坪 正行 栗原 啓之 小林 晋爾 大野 定俊
	コンクリート委員会* 岩崎訓明*		岡本 享久 狩野誠一郎 利部 勉 山住 克巳
	大即 信明 斉藤 正忠 丹内 正利 平岡 慎雄	昭和 56 年	中本 純次 二羽淳一郎 馬場 政教 伊藤 昌昭
	岡庭 秀治 下妻 嘉衛 結城 正洋 丸山真佐雄		安孫子敏雄 鯨井 裕嗣 和泉公比古 遠藤 孝夫
	出光 隆 高山 俊一 河合 紘茲 国分 修一		加藤 治 川崎 道夫 吉田弥智** 池田尚治**
	戸川 一夫 富田 嘉雄 宮川 豊章		角田与史雄**
	コンクリート委員会終局強度設計小委員会*	昭和 57 年	青木 桂一 吉野 伸一 小島 省三 十河 茂幸
	池田尚治** 柳田 力** 小林正几**		山王 博行 佐藤 良一 高桑 二郎 真嶋 光保
	太田 利隆 牧角 龍憲 黒井登起雄 庄谷 征美		睦好 宏史 山川 秀次 住吉 彰
	昭和 52 年	三浦 尚 石黒 吉男 福島 昭男 南谷 敏一	昭和 58 年
一柳 久允 中島 拓 宮本 文徳		コンクリート委員会* 山崎 淳** 河野 清**	
コンクリート委員会終局強度設計小委員会*		井上 正一 鳥取 誠一 荻野 浩平 北後 征雄	
昭和 53 年	長瀬重義**	昭和 59 年	佐藤 和洋 富田 六郎 小野 定 大塚 昭夫
	魚本 健人 大津 政康 辻 正哲 鮎田 耕一		恵谷 舜吾 山口 彰夫 金津 努 前川 宏一
	石田 博樹 加藤 勝美 石橋 忠良 北後 征雄		村山八洲雄 加藤久美子 八谷 好高 草深 守人
	川上 洵 杉浦 征二 大貫 一生 鈴木 一雄	吉川 弘道 山本泰彦**	
	中嶋 清実 堀口 敬 持丸 知也 阿部 喜則	昭和 58 年	佐藤 勉 堀井 克章 大賀 宏行 栗田 守朗
コンクリート委員会*	金森 洋史 松原 和雄 清宮 理 横田 弘		
昭和 54 年	コンクリート委員会終局強度設計小委員会*	和田 克哉 甘利 憲一 高野 晴夫 遠藤 達巳	
	小柳 洽**	横沢 和夫 渡部 正 町田篤彦**	
	板橋 洋房 上田 多聞 武若 耕司 原 忠勝		
	松岡 和夫 松田 好史 斉藤 啓一 大沼 博志		

* 吉田賞選考委員会が必要と認めた調査研究を受けた者
** 国際会議への派遣者、無印は一般応募の者

4. 土木学会映画コンクール入賞作品一覧

回数	賞名	題 目	企 画	製 作
第 1 回 (昭和 39 年)	最優秀賞	銀座の地下を掘る	帝都交通営団	日映新社
	優秀賞	羽田海底トンネル	首都公団	理研科学映画
	准優秀賞	横山ダム工事	建・中部地建	CBCテレビ
	佳 作	大阪環状線—西成編— 外洋にいどむ	国・大阪工設	日映新映画
	佳 作	海を渡る砂 海へ伸びる大阪（建設編・第二部）	鹿島建設 大阪府	日新映画 毎日放送映画
応募 32 本	佳 作	名神高速道路の舗装	日本舗道	日本舗道
第 2 回 (昭和 41 年)	最優秀賞	よみがえる川	群馬県	三井プロ
	優秀賞	砂 防	平和国土計画会議	旭映画
	准優秀賞	高潮に挑む	建・関東地建	松崎プロ
	佳 作	海の新土 えい智の結晶	建・中部地建	CBCテレビ
	佳 作	第三の道路（第二部） 東京の地下に挑む	神奈川県 道路公団	神奈川ニュース 電通映画
応募 46 本	佳 作	摩耶大橋	大成建設 大戸市	日映新社 日本シネセル
第 3 回 (昭和 43 年)	最優秀賞	礎（いしづえ）	東京電力	岩波映画
	優秀賞	青函トンネル（第一部）	鉄道公団	松崎プロ
	准優秀賞	利根川河口堰	水資源公団	日本技術映画
	佳 作	梓川開発の記録 江東の地下を掘る—東西線シールド工事記録—	鹿島建設 帝都交通営団	日本シネセル 山陽映画
	佳 作	尾道大橋 五霞村引堤工事 PIPくい工法	道路公団 建・関東地建 清水建設	松崎プロ 岩波映画
第 4 回 (昭和 45 年)	最優秀賞	東名高速道路	道路公団	日映新社
	優秀賞	北上川	建・東北地建	松崎プロ
	准優秀賞	くっさく 蛇紋岩トンネル掘さくの記録	帝都交通営団	日映新社
	佳 作	青函トンネル（第二部） 多摩川をわたる沈埋トンネル	鉄道公団 礼幌 鉄道公団	札幌道放 理研映画
	佳 作	近代化ヤードの誕生 地すべり 本牧ふ頭（第三部）	国・盛岡工建 建・近畿地建 建・第二港建	日映新社 日映新社 理研映画
応募 62 本	佳 作			
第 5 回 (昭和 47 年)	最優秀賞	松原・下笠ダム建設記録—総集編—	建・九州地建	松崎プロ
	優秀賞	みんなの下水道	大阪府	NET朝日
	准優秀賞	土石流 水道橋架道橋拡幅	建・北陸地建	松崎プロ
	佳 作	新しい水底トンネル—多摩川沈埋函工事記録— 主 塔	国・東京第三工設 鹿島建設	理研科学映画 鹿島映画
	佳 作	名古屋港金城埠頭建設記録（第二部） 新全断面掘削工法 マックス工法	石川島播磨 運・第五港建 前田建設工業 西松建設	鹿島映画 理研映画 日本シネセル 綜合映画
応募 75 本	佳 作			
第 6 回 (昭和 49 年)	最優秀賞	関門橋	道路公団	RKB映画
	優秀賞	渡良瀬遊水池	建・関東地建	松崎プロ
	准優秀賞	波と闘う人々 東京港海底トンネル	建・中国地建	中国弘済会
	佳 作	本四架橋の設計調査 東京地下駅の建設	湾岸線沈埋工事 本四公団	鹿島映画 日映新社
	佳 作		国・東京第一工	理研科学映画
応募 89 本	佳 作			
第 7 回 (昭和 51 年)	最優秀賞	恵那山トンネル	道路公団	松崎プロ
	優秀賞	アルプスの地下にきざく—新高瀬川発電所— 有楽町線 掘進 10900 m	鹿島建設 帝都交通営団	鹿島映画 日映新社
	佳 作			

回数	賞名	題名	企画	製作
第7回 (昭和51年) 応募80本	準優秀賞	うず潮の海に架ける	道路公団	山陽映画
	〃	世界の都市交通一政策編一	トヨタ交通環境	鹿島映画
	佳作	北上大堰の建設 東北新幹線・第2・第3阿武隈川橋梁	建・東北地建 建・仙台新幹工	松崎プロ 鹿島映画
第8回 (昭和53年) 応募77本	最優秀賞	青函トンネル一本州側工事の記録一	鹿島・熊谷・鉄建青函 ずい道工事JV	鹿島映画
	優秀賞	都市化が水害を招く 六方沢橋	建・関東地建 栃木県道路公社・清水 建設・川田工業	日映科学映画 C. A. C.
	準優秀賞	水で掘る一泥水シールド工法一 よみがえる水一下水処理を中心に一	戸田建設 鹿島建設	読売映画 鹿島映画
	佳作	空に伸びる浄水場一村野階層浄水場建設の記録一 富士山大沢崩れ砂防対策	大阪府 建・中部地建	読売映画大阪 CBCテレビ
第9回 (昭和55年) 応募70本	最優秀賞	川とともに一岩木川水系改良復旧事業一	青森県	日映科学映画
	優秀賞	大三島橋一本州四国連絡道路一	本四公団	岩波映画
	〃	黎明のとき	国・下関工	理研科学映画
	準優秀賞	赤谷川橋りょう一RC逆ランガーアーチ橋一 噴泥に挑む LNG地下タンク	鉄道公団東京新幹線 国・東京第一工 鹿島建設	大峠プロ 理研科学映画 鹿島映画
第10回 (昭和57年) 応募65本	最優秀賞	新たな挑戦一超大型泥水シールド工法一	帝都交通営団	青銅プロ
	優秀賞	上総掘り 斜坑に挑むTBM一下郷発電所・水圧管路工事一	袖ヶ浦町 電源開発	モロオカプロ 鹿島映画
	準優秀賞	雪にいどむ一東北新幹線雪対策試験一 RCD工法一島地川ダム一	国・盛岡工 建・中国地建	春秋映画 中国弘済会
	佳作	変貌する東京駅 湯水一利根川にみる首都圏の湯水状況一	国・東京第一工 建・関東地建	理研科学映画 日映科学映画

5. 土木学会総会講演一覧

回数	年月日	開催地	場所	講演題目	講演者
1	大. 4. 1. 30	東京	精養軒	土木学会第一回総会会長講演	古市公威
2	大. 5. 1. 22	〃	〃	土木学会第二回総会会長講演	古市公威
3	大. 6. 1. 13	〃	帝国鉄道協会	道路港湾並に河川改修事業に就て	沖野忠雄
4	大. 7. 1. 12	〃	〃	土木学会第四回総会会長講演	野村龍太郎
5	大. 8. 1. 18	〃	〃	英仏間の海底隧道に就て	石黒五十二
6	大. 9. 1. 18	〃	〃	将来の港湾	広井勇
7	大. 10. 1. 15	〃	〃	技術者の職務	仙石貢
8	大. 11. 1. 14	〃	〃	河川工事特に地方河川工事に就て	原田貞介
9	大. 12. 1. 20	〃	〃	国有鉄道の現在及び将来に就て	古川阪次郎
10	大. 13. 1. 19	〃	〃	昔の日本の土木事業と今の土木技術	中原貞三郎
11	大. 14. 1. 17	〃	〃	河川に就て	中山秀三郎
12	大. 15. 1. 16	〃	〃	余が在職三十余年の回顧	日下部辨二郎
13	昭. 2. 1. 15	〃	〃	我が四十年間に於ける技術界の回顧	吉村長策
14	昭. 3. 1. 21	〃	〃	不定流の場合に於ける水位の変動に伴う流速の変化	市瀬恭次郎
15	昭. 4. 1. 19	〃	〃	土木家の教育養成と其の自覚	岡野昇
16	昭. 5. 1. 18	〃	〃	土木工事施工に関する設備に就て	田辺朔郎
17	昭. 6. 1. 17	〃	〃	失業救済と土木事業に就て	中川吉造
18	昭. 7. 1. 16	〃	〃	会長講演	那波光雄
19	昭. 8. 1. 20	〃	〃	北海道の拓殖と土木事業に就て	名井九介
20	昭. 9. 2. 15	〃	〃	大久保侯と土木公債	伊藤仁太郎

回数	年月日	開催地	場 所	講 演 題 目	講 演 者
21	昭. 10. 2. 15	"	帝国鉄道協会	土木技術者の社会的地位	久保田 敬 一
22	昭. 11. 2. 14	"	"	社会の進歩発展と文化技術	青 山 士
23	昭. 12. 2. 15	"	"	土木技術の真相	井 上 秀 二
24	昭. 13. 2. 14	"	"	戦争と土木	大河戸 宗 治
25	昭. 14. 2. 15	"	"	我土木技術者の海外進展に就て	辰 馬 謙 蔵
26	昭. 15. 2. 15	"	"	時局と土木	八 田 嘉 明
27	昭. 16. 2. 17	"	"	東京下関間新幹線鉄道に就て	中 村 謙 一
28	昭. 17. 2. 16	"	"	大東亜諸国の土木的経営に就て	谷 口 三 郎
29	昭. 18. 2. 15	"	"	大東亜戦争と土木技術者の責任	草 間 偉
30	昭. 19. 2. 15	"	"	土木建設上の緊急対策について	黒河内 四 郎
31	昭. 20. 2. 14	"	"	不 明	
32	昭. 21. 5. 18	"	交通協会		
33	昭. 22. 6. 14	"	"		
34	昭. 23. 5. 29	"	"		
35	昭. 24. 5. 21	"	"	我国将来の道路の在り方について	岩 沢 忠 恭
36	昭. 25. 5. 27	"	東京大学	土木学会の進む道	吉 田 徳次郎
37	昭. 26. 5. 26	大 阪	大阪大学	戦後の土木界と将来への希望	三 浦 義 男
38	昭. 27. 5. 24	東 京	早稲田大学	電源開発について	大 西 英 一
39	昭. 28. 5. 23	仙 台	東北大学	最近における河川行政の推移について	稲 浦 鹿 蔵
40	昭. 29. 5. 29	東 京	早稲田大学	我が国における請負制度について	平 井 喜久松
41	昭. 30. 5. 28	福 岡	電気ホール	九州地方の古い石のアーチ橋	青 木 楠 男
42	昭. 31. 5. 26	東 京	早稲田大学	道路の性格と高速自動車道路	菊 池 明
43	昭. 32. 6. 1	札 幌	北海道大学	技術の意義について	平 山 復二郎
44	昭. 33. 5. 24	東 京	早稲田大学	わが国水力の将来と水力技術者の使命	内 海 清 温
45	昭. 34. 6. 13	広 島	広島大学	最近の河川計画について	米 田 正 文
46	昭. 35. 5. 28	東 京	早稲田大学	交通問題と土木事業	田 中 茂 美
47	昭. 36. 5. 27	名古屋	名古屋工業大学	土木技術の振興	沼 田 政 矩
47	昭. 36. 5. 27	名古屋	名古屋工業大学	土木工事の遅速	杉 戸 清
48	昭. 37. 5. 26	東 京	早稲田大学	大河川における締切りと排水設備	永 田 年
49	昭. 38. 5. 24	京 都	京都会館	中南米・エジプトの水力発電その他について	藤 井 松太郎
50	昭. 39. 5. 29	仙 台	七十七銀行	河川と30年	山 本 三 郎
51	昭. 40. 5. 28	福 岡	明治生命	講演なし	
52	昭. 41. 5. 27	札 幌	日本生命	講演なし	
53	昭. 42. 5. 26	広 島	広島銀行本店	講演なし	
54	昭. 43. 5. 28	東 京	私学会館	わが国の高速道路	富 樫 凱 一
"	"	"	"	経済の動向と公共投資	大 来 佐武郎
55	昭. 44. 5. 30	"	麴町会館	海外進出と土木技術者	久保田 豊
56	昭. 45. 5. 29	"	"	関門架橋について	村 上 永 一
57	昭. 46. 5. 28	"	私学会館	ロスアンジェルス地震震災について	岡 本 舜 三
58	昭. 47. 5. 29	"	"	超高速新幹線について	長 浜 正 雄
59	昭. 48. 5. 29	"	農協ビル	国土開発の方向について	坂 野 重 信
60	昭. 49. 5. 22	"	私学会館	エネルギー問題雑感	水 越 達 雄

6. 土木学会出版物一覧

6.1 本部出版物

書名	発行年	判型・ページ	定価
土木学会会員名簿 大正4年12月1日	大. 4. 12	A 6・133 p.	
土木学会会員名簿 大正5年11月1日		A 6・153 p.	
土木学会会員名簿 大正6年11月1日		A 6・163 p.	
土木学会会員名簿 大正7年11月1日現在		A 6・170 p.	
東京市内外交通ニ関スル調査書—土木学会誌第5巻第3号	大. 8. 8	B 5・93 p. 付図	
土木学会会員名簿 大正8年11月1日現在	大. 8. 12	A 6・180 p.	
土木学会会員名簿 大正9年10月1日現在		A 6・193 p.	
土木学会会員名簿 大正11年11月1日現在		A 6・205 p.	
土木学会会員名簿 大正13年9月1日現在		A 6・217 p.	
土木学会会員名簿 大正14年11月15日現在		A 6・240 p.	
大阪市内外高速鉄道調査会報告書—土木学会誌第11巻第5号	大. 14. 10		
大正12年関東大地震震害調査報告書, 第1巻	大. 15. 8	B 5・188 p.+付図, 写真	6
東京・横浜付近交通調査報告書—土木学会誌第12巻第2号	大. 15.	B 5・38 p. 付図, 付表	
土木学会会員名簿 大正15年11月15日現在	大. 15. 12	A 6・250 p.	
大正12年関東大地震震害調査報告書, 第2巻	昭. 2. 1	B 5・213 p.+付図, 写真	6
大正12年関東大地震震害調査報告書, 第3巻	昭. 2. 12	B 5・382 p.+付図, 写真	6
土木学会会員名簿 昭和2年12月1日現在		A 6・250 p.	
土木学会会員名簿 昭和3年11月15日現在		A 6・255 p.	
大東京高速鉄道調査会報告書(未定稿)	昭. 3.	B 5・259 p	
大東京高速鉄道調査会報告書 付図	昭. 3.	B 5・1冊	
土木学会会員名簿 昭和4年10月20日現在	昭. 4. 12	A 6・238 p.	
土木学会会員名簿 昭和5年11月20日現在	昭. 5. 12	A 6・246 p.	
土木工事写真集—土木学会誌臨時増刊	昭. 5. 6	B 5・132 p.	非
土木学会会員名簿 昭和6年11月20日現在	昭. 6. 12	A 6・245 p.	
昭和6年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書	昭. 6. 9	B 5・67 p.	
昭和6年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書解説	昭. 6. 10	B 5・161 p.	
昭和6年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書—再版	昭. 7. 1	B 5・67 p.	0.5
土木学会会員名簿 昭和7年12月1日現在	昭. 7. 12	A 6・249 p.	
土木学会会員名簿 昭和8年12月1日現在	昭. 8. 12	A 6・264 p.	
土木工学論文抄録, 第1集	昭. 9. 10	A 4・519 p.	
創立20周年記念土木学会略史—土木学会誌第20巻第12号	昭. 9. 12	B 5・18 p.	
土木学会会員名簿 昭和9年11月15日現在	昭. 9. 12	A 6・349 p.	
土木学会会員名簿 昭和10年10月21日現在	昭. 10. 12	A 6・414 p.	
明治以前日本土木史	昭. 11. 6	B 5・1745 p.	15
昭和10年台湾中部地方震害調査報告書	昭. 11. 8	B 5・27 p.	
昭和9年関西地方風水害調査報告	昭. 11. 10	B 5・232 p.	
昭和11年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書	昭. 11. 10	B 6・57 p.	
昭和11年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書解説	昭. 11. 10	A 5・179 p.	1
丹那隧道工事誌	昭. 11. 11	B 5・602 p.	
土木工学用語集—日・英・独・仏	昭. 11. 11	A 6・595 p.	2.5
土木学会会員名簿 昭和11年10月26日現在	昭. 11. 12	A 6・465 p.	
土木学会会員名簿 昭和12年11月30日現在	昭. 12. 12	A 6・479 p.	
創立25周年記念土木学会略史	昭. 14. 10	A 5・68 p.	
土木工学論文抄録, 第2集	昭. 14. 10	A 4・377 p.	
土木学会会員名簿 昭和14年度用	昭. 13. 12	A 6・508 p.	
土木学会会員名簿 昭和15年度用	昭. 14. 12	A 6・551 p.	
鋼鉄道橋標準設計示方書—土木学会誌第26巻第7号	昭. 15. 3	B 5・11 p.	
昭和15年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書	昭. 15. 5	B 6・61 p.	
昭和15年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書解説	昭. 15. 8	A 5・145 p.	1.20
土木学会会員名簿 昭和16年度用	昭. 15. 12	A 5・280 p.	
国難打開課題	昭. 16. 8	B 5・37 p.	

書名	発行年	判型・ページ	定価
関東及び関西地方水害調査報告書	昭. 16. 11		
明治以後 本邦土木と外人	昭. 17. 2	A 5・295 p.	非
防空土木緊急対策	昭. 17. 2	A 5・199 p.	非
土木学会会員名簿 昭和 17 年度用	昭. 17. 6	A 5・322 p.	
水理公式集	昭. 18. 12		
昭和 18 年 9 月鳥取地方震害調査報告—土木学会誌第 30 巻第 2 号	昭. 19. 2	B 5・12 p.	
南海大地震災害報告—土木学会誌第 32 巻第 1 号	昭. 22. 8	B 5・18 p.	
土木学会会員名簿 昭和 22 年度用	昭. 22. 12	A 5・173 p.	
東北関東水害報告—土木学会誌第 33 巻第 1 号	昭. 23. 3	B 5・8 p.	
コンクリート電気養生施工法指針	昭. 23. 7		
新英和工学辞典, 第 2 版	昭. 23. 9	A 7・557 p.	250
水理公式集 (原案)	昭. 23. 10	B 5・178 p.	460
下水道学* 前編 (土木工学叢書)	昭. 23. 11	B 5・258 p.	460
昭和 23 年北陸地震災害調査報告—土木学会誌第 33 巻第 4 号	昭. 23. 12	B 5・13 p.	
木構造学* (土木工学叢書)	昭. 24. 3	B 5・243 p.	460
昭和 24 年土木学会コンクリート標準示方書	昭. 24. 7	B 6・248 p.	180
関門隧道	昭. 24. 8	B 5・640 p.	800
上水道学* 前編 (土木工学叢書)	昭. 24. 8	B 5・177 p.	450
昭和 24 年土木学会水理公式集	昭. 24. 9	A 5・167 p.	200
昭和 24 年土木学会水理公式集, 再版	昭. 24. 12	A 5・167 p.	200
昭和 24 年土木学会コンクリート標準示方書, 3 版	昭. 25. 4	B 6・248 p.	180
鉄道線路* (土木工学叢書)	昭. 25. 4	B 5・168 p.	350
土木学会名簿 昭和 24 年度	昭. 25. 4	A 5・287 p.	200
世界の学会	昭. 25. 7	B 4・34 p.	
鋼橋 (I)* (土木工学叢書)	昭. 25. 7	B 5・477 p.	850
最新土質工学 (昭和 25 年夏期講習会テキスト)	昭. 25. 8	B 5・118 p.	150
土木工学論文抄録, 第 3 集	昭. 25. 8	A 4・224 p.	500
昭和 24 年土木学会制定コンクリート標準示方書解説	昭. 25. 12	B 5・165 p.	
昭和 24 年土木学会コンクリート標準示方書解説	昭. 25. 12	B 6・248 p.	
土木工学の概観 (1940~1945)	昭. 25. 12	B 5・537 p.	800
昭和 24 年土木学会制定コンクリート標準示方書解説 再版	昭. 26. 3	B 5・165 p.	300
福井地震震害調査報告書	昭. 26. 4	B 5・184 p.	420
昭和 24 年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和 26 年度版	昭. 26. 6	B 6・266 p.	
昭和 24 年土木学会コンクリート標準示方書解説, 昭和 26 年度版	昭. 26. 6	B 6・248 p.	
コンクリートとダム (昭和 26 年夏期講習会パンフレット (I))	昭. 26. 8	B 5・66 p.	
橋梁 (昭和 26 年夏期講習会パンフレット (II))	昭. 26. 8	B 5・92 p.	
土木工学論文抄録, 第 4 集	昭. 26. 10	A 4・173 p.	450
土木学会名簿 昭和 26 年度	昭. 26. 12	A 5・338 p.	
鉄筋コンクリート橋* (土木工学叢書)	昭. 27. 6	B 5・469 p.	1300
建設機械化 (昭和 27 年夏期講習会パンフレット)	昭. 27. 8	B 5・172 p.	300
水理学研究の現況 昭和 27 年度 (資料 No.1)	昭. 27. 12	B 5・34 p.	
水工学の最近の進歩 (土木学会水工学論文集)	昭. 28. 3	B 5・288 p.	
土木製図基準 (I)	昭. 28. 4	B 5・46 p.	200
水理学研究の現況 (資料 No.2)	昭. 28. 4	B 5・45 p.	
昭和 24 年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和 26 年版, 3 版	昭. 28. 6	B 6・266 p.	
鋼橋 (I)* (土木工学叢書), 再版	昭. 28. 6	B 5・477, 810 p.	1000
下水道学*, 前編 (土木工学叢書), 再版	昭. 28. 6	B 5・258 p.	500
木構造学* (土木工学叢書), 再版	昭. 28. 6	B 5・243 p.	500
水理学研究の現況 昭和 28 年度 (資料 No.3)	昭. 28. 7	B 5・63 p.	
プレストレスト コンクリートと構造力学 (昭和 28 年夏期講習会テキスト)	昭. 28. 8	B 5・188 p.	300
プレストレスト コンクリート (プレストレストコンクリートと構造力学—昭和 28 年夏期講習会テキストの抜刷)	昭. 28. 8	B 5・67 p.	
下水道学*, 後編 (土木工学叢書)	昭. 28. 8	B 5・238 p.	
最新土質工学 (昭和 25 年夏期講習会テキスト), 訂正 4 版	昭. 28. 10	B 5・138 p.	150

書名	発行年	判型・ページ	定価
土木学会名簿 昭和28年度	昭. 28. 12	A 5・369 p.	
プレストレスト コンクリートと構造力学 (昭和28年度夏期講習会テキスト), 再版	昭. 29. 3	B 5・188 p.	300
学術用語集—土木工学編	昭. 29. 3	A 5・395 p.	
昭和24年土木学会水理公式集, 3版	昭. 29. 3	A 5・167 p.	200
土木製図基準 (I), 再版	昭. 29. 4	B 5・46 p.	200
応用力学* (土木工学叢書)	昭. 29. 5	B 5・126, 2 p.	350
新材料と新工法 (昭和29年夏期講習会パンフレット)	昭. 29. 8	B 5・131 p.	300
水理学研究の現況 昭和29年度 (資料 No.4)	昭. 29. 9	B 5・51 p.	
創立40周年記念土木学会略史	昭. 29. 10	B 5・73 p.	非
土木工事写真集—土木学会創立40周年記念	昭. 29. 10	A 4・226 p.	1500
土木工学ハンドブック	昭. 29. 10	A 5・2129 p.	3200
わが国土工学の趨勢—土木学会創立40周年記念号・土木学会誌第39巻第12号別刷	昭. 29. 12	B 5・109 p.	150
土木工学ハンドブック, 上巻, 再版	昭. 30. 2	A 5	1800
土木工学ハンドブック, 下巻, 再版	昭. 30. 2	A 5 上, 下巻で2129 p.	1700
土木工学ハンドブック, 再版	昭. 30. 2	A 5・2129 p.	3200
昭和24年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和26年版, 5版	昭. 30. 5	B 6・266 p.	
学術用語集—土木工学編, 再版	昭. 30. 5	B 6・395 p.	315
プレストレストコンクリートと構造力学	昭. 30. 5	B 5・188 p.	300
昭和30年土木学会プレストレスト コンクリート設計施工指針	昭. 30. 6	B 6・58 p.	100
土木工学論文抄録, 第5集	昭. 30. 6	A 4・372 p.	1200
昭和24年土木学会コンクリート標準示方書解説, 昭和26年度版, 7版	昭. 30. 7	B 5・165 p.	300
鋼鉄道橋設計示方書案解説, 昭和30年版	昭. 30. 8	B 5・86 p.	180
鋼橋設計示方書とプレストレストコンクリート指針 (昭和30年夏期講習会パンフレット)	昭. 30. 8	B 5・150 p.	300
新材料と新工法 再版	昭. 30. 8	B 5・131 p.	300
水理学研究の現況 昭和30年度 (資料 No.5)	昭. 30. 9	B 5・70 p.	
海岸工学* I	昭. 30. 9	A 5・	580
海岸工学* II	昭. 30. 11	A 5・ } I, IIで711 p.	750
鋼鉄道橋設計示方書解説, 改訂2版	昭. 31. 1	B 5・89 p.	220
海岸工学用語集	昭. 31. 4	B 5・96 p.	
道路工学* (土木工学叢書)	昭. 31. 6	B 5・546 p.	1800
災害とその対策 (昭和31年夏期講習会テキスト)	昭. 31. 8	B 5・230 p.	360
無筋コンクリート標準示方書	昭. 31. 8	B 5・47 p.	
水理学研究の現況 昭和31年度 第5集 (資料 No.6)	昭. 31. 10	B 5・87 p.	
鋼鉄道橋設計示方書解説, 改訂版	昭. 31. 11	B 5・89 p.	220
コンクリートの品質管理	昭. 31. 11	A 5・31 p.	50
昭和31年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和31年度版	昭. 31. 11	B 6・350 p.	350
昭和31年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和31年度版, 再版	昭. 31. 12	B 6・350 p.	350
鋼橋 (III)* (土木工学叢書)	昭. 31. 12	B 5・620 p.	1800
最新土質工学 訂正6版	昭. 32. 5	B 5・138 p.	150
海岸保全施設設計便覧 (案)	昭. 32. 5	B 5・427 p.	
海岸保全施設設計便覧, 昭和32年版	昭. 32. 8	A 5・232 p.	350
水理公式集, 昭和32年改訂版	昭. 32. 8	A 5・293 p.	400
水理学研究の現況, 昭和32年度, 第6集	昭. 32. 8	B 5・94 p.	
機械化土工* (土木工学叢書)	昭. 32. 9	B 5・157 p.	500
プレストレスト コンクリートの設計及施工* (土木工学叢書)	昭. 32. 11	B 5・842 p.	
昭和31年土木学会制定コンクリート標準示方書	昭. 32. 12	B 6・350 p.	350
昭和31年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和31年度版, 8版	昭. 33. 5	B 6・350 p.	350
昭和30年土木学会プレストレスト コンクリート設計施工指針, 3版	昭. 33. 8	B 6・58 p.	100
新しい建設工法 (昭和33年夏期講習会テキスト)	昭. 33. 8	B 5・201 p.	350
学術用語集 土木工学編	昭. 33. 8	B 6・395 p.	315
水理学研究の現況 昭和33年度, 第7集	昭. 33. 9	B 5・114 p.	

書名	発行年	判型・ページ	定価
設計および監理業務基準並に参考資料	昭. 33. 11	A 5・91 p.	
昭和 31 年土木学会コンクリート標準示方書解説, 昭和 33 年度版	昭. 33. 12	A 5・325 p.	400
昭和 31 年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和 33 年度版	昭. 34. 1	B 6・368 p.	350
昭和 31 年土木学会コンクリート標準示方書解説, 昭和 33 年度版, 再版	昭. 34. 4	A 5・325 p.	
水力学・水理学における境界層理論の応用に関するシンポジウム	昭. 34. 4	B 5・31, 13 p. (2冊)	
トンネルと掘削工法 (昭和 34 年夏期講習会テキスト)	昭. 34. 8	B 5・342 p.	600
水理学研究の現況 昭和 34 年度, 第 8 集	昭. 34. 9	B 5・147 p.	
土木学会名簿 昭和 34 年度	昭. 34. 11	A 5・502 p.	
学術用語集 土木工学編	昭. 35. 1	B 6・395 p.	315
昭和 31 年土木学会制定コンクリート標準示方書解説	昭. 35. 3	A 5・325 p.	400
鋼鉄道橋設計示方書解説 改訂 3 版	昭. 35. 7	B 5・89 p.	220
Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures, Earth Structures and Foundations in Japan-1960	昭. 35. 7	B 5・108 p.	800
最近の道路問題と高速道路 (昭和 35 年夏期講習会テキスト)	昭. 35. 8	B 5・334 p.	650
水理学研究の現況 昭和 35 年度, 第 9 集	昭. 35. 11	B 5・125 p.	
関門トンネル工事誌	昭. 35. 12	B 5・692 p.	2000
土木工学論文抄録, 第 6 集	昭. 36. 1	A 4・498 p.	2500
文献分類項目および記入文献一覧表	昭. 36. 4	B 5・41 p.	
学術用語集 土木工学編	昭. 36. 5	B 6・395 p.	315
水理公式集 昭和 32 年改訂版	昭. 36. 5	A 5・293 p.	400
トンネルと掘削工法	昭. 36. 6	B 5・342 p.	600
関門トンネル工事誌, 再版	昭. 36. 8	B 5・692 p.	2000
最近におけるプレストレストコンクリート—設計施工指針の改訂と PC 橋の現況 (昭和 36 年夏期講習会テキスト)	昭. 36. 8	B 5・194 p.	500
土木学会プレストレスト コンクリート設計施工方針, 昭和 36 年度改訂版	昭. 36. 8	B 6・124 p.	350
吉田徳次郎博士論文集	昭. 36. 9	B 5・274 p.	1100
土木学会名簿 昭和 36 年度	昭. 36. 11	A 5・509 p.	
鋼鉄道橋設計示方書解説	昭. 37. 1	B 5・89 p.	220
コンクリート橋—鉄筋コンクリート橋及びプレストレスト コンクリート橋* (土木工学叢書)	昭. 37. 5	B 5・646 p.	2500
水理公式集, 昭和 32 年改訂版, 8 版	昭. 37. 6	A 5・293 p.	400
最近の基礎工法 (昭和 37 年度夏期講習会テキスト)	昭. 37. 8	B 5・321 p.	1000
学術用語集, 土木工学編	昭. 37. 10	B 6・395 p.	315
コンクリートの品質管理	昭. 37. 11	A 5・31 p.	50
工事報告 坂本アーチダム	昭. 38. 2	B 5・260 p.	1250
コンクリート構造急速施工委員会報告書—プレキャスト方式コンクリート工事についての研究	昭. 38. 3	A 4・377 p.	非
最近の基礎工法	昭. 38. 3	B 5・322 p.	1000
昭和 31 年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和 33 年度版, 12 版	昭. 38. 5	B 6・368 p.	350
水理公式集, 昭和 38 年増補改訂版	昭. 38. 8	A 5・603 p.	1400
土質実験指導書	昭. 38. 8	B 5・65 p.	250
若戸橋調査報告書	昭. 38. 10	B 5・920 p.	非
土木学会名簿 昭和 38 年度	昭. 38. 11	A 5・540 p.	
若戸橋工事報告書	昭. 39. 2	B 5・1248 p.	非
土木材料実験指導書	昭. 39. 2	B 5・126 p.	380
昭和 39 年土木学会トンネル標準示方書	昭. 39. 3	A 5・26 p.	100
土木製図基準 (1), 昭和 31 年改訂版	昭. 39. 3	B 5・46 p.	250
土木製図基準 (1), 昭和 39 年改訂版	昭. 39. 3	B 5・46 p.	250
土木工学ハンドブック	昭. 39. 3	A 5・2673, 42 p.	8000
水理公式集, 昭和 38 年増補改訂版, 4 版	昭. 39. 6	A 5・603 p.	1400
土木学会誌・論文集総索引	昭. 39. 6	B 5・252 p.	800
土地造成* (土木工学叢書)	昭. 39. 6	A 5・252 p.	1000
昭和 39 年土木学会トンネル標準示方書, 修正版	昭. 39. 8	A 5・26 p.	100

書名	発行年	判型・ページ	定価
昭和39年土木学会トンネル標準示方書解説	昭. 39. 8	A 5・128 p.	600
トンネルと掘削工法	昭. 39. 8	B 5・342 p.	800
日本工業規格抜粋 土工学ハンドブック別冊	昭. 39.	B 5・60 p.	
土工学ハンドブック資料編 日本工業規格抜粋*	昭. 39.	A 5・60 p.	
コンクリートの品質管理	昭. 39. 10	A 5・31 p.	50
日本の土木技術-100年の発展のあゆみ	昭. 39. 10	A 5・477 p.	1200
土工学ハンドブック(上巻)	昭. 39. 10	B 5・1505, 42 p.	7000
創立50周年記念土木学会略史	昭. 39. 11	B 5・86 p.	非
土木技術者の活躍と大学土木教育-昭和39年度中間報告	昭. 39. 11	B 5・86 p.	
日本の土木建設/創造/技術(写真集)*	昭. 39. 11	A 4・233 p.	3800
土工学ハンドブック(下巻)	昭. 39. 11	B 5・1167, 42 p.	7000
昭和39年土木学会制定 トンネル標準示方書解説(再版)	昭. 39. 11	A 5・128 p.	600
Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures, Earth Structures and Foundations in Japan-1964	昭. 39. 12	B 5・122 p.	1000
最近の基礎工法	昭. 39. 12	B 5・322 p.	1000
爆 破*	昭. 40. 2	A 5・182 p.	900
工事報告 大島セミアーチダム	昭. 40. 3	B 5・226 p.	1400
昭和39年土木学会制定 トンネル標準示方書	昭. 40. 3	A 5・26 p.	100
昭和28年土木学会制定 土木製図基準(I)昭和39年改訂版	昭. 40. 5	B 5・46 p.	250
本州四国連絡橋技術調査第一次報告書	昭. 40. 5	A 4・178 p.	非
本州四国連絡橋技術調査第一次報告書, 付属資料-耐風設計指針(1964)解説	昭. 40. 5	A 4・178 p.	非
本州四国連絡橋技術調査第一次報告書, 付属資料-鋼材調査	昭. 40. 5	A 4・101 p.	非
昭和31年土木学会制定 コンクリート標準示方書 昭和33年版	昭. 40. 6	B 6・368 p.	350
土質実験指導書	昭. 40. 7	B 5・65 p.	250
コンクリート標準示方書土木学会規準, 改訂版	昭. 40. 7	B 6・234 p.	200
構造工学における最近の諸問題(昭和40年度夏期講習会テキスト)	昭. 40. 8	B 5・304 p.	1500
工事報告 川俣アーチダム	昭. 40. 8	B 5・331 p.	2000
工事報告 一ツ瀬・杉安アーチダム	昭. 40. 8	B 5・538 p.	2900
地震工学講座	昭. 40. 9	B 5・52 p.	200
土木技術者の活躍と大学土木教育	昭. 40. 9	A 5・137 p.	300
鋼鉄道橋設計示方書解説, 7版	昭. 40. 10	B 5・89 p.	250
土木構造物の耐震設計指針(案)	昭. 40. 10	B 5・79 p.	500
コンクリートの品質管理	昭. 40. 10	A 5・31 p.	70
土木学会名簿 昭和40年版	昭. 40. 11	A 5・671 p.	
日本土木史 大正元年~昭和15年	昭. 40. 12	B 5・1733 p.	12000
昭和28年土木学会制定 土木製図基準(I)昭和39年改訂版	昭. 41. 3	B 5・46 p.	250
水理公式集 昭和38年増補改訂版	昭. 41. 3	A 5・603 p.	1400
土質実験指導書, 改訂版	昭. 41. 4	B 5・91 p.	320
工事報告 黒部川第四発電所	昭. 41. 4	B 5・1360 p.	12500
人工軽量骨材コンクリート設計施工指針(案)	昭. 41. 5	B 6・53 p.	300
昭和39年土木学会制定 トンネル標準示方書解説	昭. 41. 5	A 5・128 p.	600
土木材料実験指導書	昭. 41. 6	B 5・126 p.	380
Proc. of the Inter Atomic Energy Agency Panel Discussion Meeting on Aseismic Design and Testing of Nuclear Facilities, June 12-17, 1966	昭. 41. 6	A 4・2 vols	
昭和39年新潟地震震害調査報告書	昭. 41. 6	B 5・904 p.	14000
土木技術者のための振動便覧	昭. 41. 8	A 5・435 p.	2400
プレバックド・コンクリート施工指針(案)	昭. 41. 10	B 6・38 p.	220
わが国シールド工法の実施例, 第1集(トンネル工学シリーズ 4)	昭. 41. 11	B 5・337 p.	2200
土木年鑑-1967*	昭. 41. 11	B 5・484 p.	3500
土木技術者のための岩盤力学	昭. 41. 11	B 5・489 p.	3600
日本学術会議流体模型実験における相似律セミナー, 前刷集[共催]	昭. 41. 11	B 5・98 p.	
土木図書館蔵書目録, 第1集	昭. 42. 1	A 5・396 p.	700
水理公式集, 昭和38年増補改訂版	昭. 42. 2	A 5・603 p.	1400

書名	発行年	判型・ページ	定価
相模川河口調査報告書, 昭和41年度	昭. 42. 3	B 5・153 p.	
水理実験指導書, 昭和42年版	昭. 42. 3	B 5・59 p.	250
土木製図基準, 昭和42年改訂版	昭. 42. 4	A 4・153 p.	1300
昭和42年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和42年度版	昭. 42. 5	B 6・438 p.	1000
工事報告 天草五橋	昭. 42. 5	B 5・799 p.	非
The Earthquake Resistant Design Criteria and It's Manual for the Honshu-Shikoku Bridge.	昭. 42. 5	A 4・43 p.	
土木製図基準, 昭和42年改訂版, 2版	昭. 42. 6	A 4・150 p.	1300
昭和42年土木学会コンクリート標準示方書解説, 昭和42年版	昭. 42. 7	A 5・353 p.	1300
本州四国連絡橋技術調査報告書,	昭. 42. 7	A 4・504 p.	非
本州四国連絡橋技術調査報告書, 付属資料1-耐震設計指針(1967)および同解説	昭. 42. 7	A 4・182 p.	非
本州四国連絡橋技術調査報告書, 付属資料2-耐震設計指針(1967)・同解説および耐震設計詳説	昭. 42. 7	A 4・194 p.	非
本州四国連絡橋技術調査報告書, 付属資料3-鋼材に関する調査資料	昭. 42. 7	A 4・142 p.	非
本州四国連絡橋技術調査報告書, 付属資料4-基礎施工法に関する調査資料	昭. 42. 7	A 4・67 p.	
本州四国連絡橋技術調査報告書, 付属資料5-道路橋構造概要図	昭. 42. 7	30×45 cm・96 p.	
本州四国連絡橋技術調査報告書, 付属資料6-道路鉄道併用橋構造概要図	昭. 42. 7	30×45 cm・66 p.	
本州四国連絡橋技術調査報告書, 付属資料7-道路鉄道併用橋に関する調査資料	昭. 42. 7	A 4・73 p.	
昭和42年度夏期講習会資料	昭. 42. 8	B 5・127 p.	900
昭和39年土木学会制定 トンネル標準示方書解説	昭. 42. 9	A 5・128 p.	600
鋼橋(Ⅲ)* (土木工学叢書), 改訂版	昭. 42. 9	B 5・862 p.	5500
ずい道の適正覆工時期の研究報告書 昭和41年度	昭. 42.	B 5・83 p.	
土木学会名簿 昭和42年度	昭. 42. 11	A 5・836 p.	
日本学術会議混相流シンポジウム前刷集 [共催]	昭. 42. 11	B 5・96 p.	
土木年鑑-1968*	昭. 42. 11	B 5・424 p.	3500
空港舗装研究委員会報告 新東京国際空港の舗装に関する研究, 第一編 アスファルト舗装に関する調査研究	昭. 42.	A 4・2分冊	
空港舗装研究委員会報告 新東京国際空港の舗装に関する研究, 第二編 コンクリート舗装に関する調査研究	昭. 42.	A 4・2分冊	
土木図書館蔵書目録, 第2集	昭. 43. 1	A 5・71 p.	200
土木図書館蔵書目録, 第3集	昭. 43. 1	A 5・86 p.	220
土質実験指導書, 昭和43年版	昭. 43. 3	B 5・91 p.	320
土木材料実験指導書, 昭和43年版	昭. 43. 3	B 5・187 p.	
下水道雨水流出量に関する研究報告書, 昭和42年度	昭. 43. 3	B 5・89 p.	非
土木製図基準, 昭和42年改訂版, 3版	昭. 43. 4	B 5・151 p.	1300
水理公式集, 昭和38年増補改訂版, 10版	昭. 43. 4	A 5・603 p.	
コンクリート工学*(1)(わかり易い土木講座10)	昭. 43. 5	A 5・287 p.	900
建設技術者のための測定法	昭. 43. 8	A 5・421 p.	2000
土質工学*(わかり易い土木講座)	昭. 43. 8	A 5・318 p.	980
Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures, Earth Structures and Foundations in Japan-1968	昭. 43. 11	B 5・140 p.	1600
応用力学*(1)(わかり易い土木講座4)	昭. 43. 12	A 5・319 p.	1100
土木年鑑-1969*	昭. 43. 12	B 5・440 p.	3500
本州四国連絡橋技術調査委員会資料集	昭. 43.	A 4・全39冊	非
本州四国連絡橋技術調査委員会資料集 議事録集 索引	昭. 43.	B 5・27 p.	
ずい道覆工の合理的設計施工の基礎的研究報告書 昭和42年度	昭. 43.	B 5・103 p.	
数学*(わかり易い土木講座1)	昭. 44. 1	A 5・320 p.	1100
日本学術会議不等質の流れのシンポジウム前刷集 [共催]	昭. 44. 1	B 5・72 p.	
地震応答を考慮した橋りょう下部構造の耐震設計の研究報告書 昭和43年度	昭. 44. 3	B 5・227 p.	
大学土木教育の方向を探る-その現状と問題点	昭. 44. 3	A 5・231 p.	1100
土木材料実験指導書, 昭和44年版	昭. 44. 3	B 5・187 p.	490
鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針(案)	昭. 44. 3	B 6・228 p.	650

書名	発行年	判型・ページ	定価
上水道学* (土木工学叢書)	昭. 44. 4	B 5・413 p.	3000
フィルムライブラリーの案内 I-1969	昭. 44. 4	B 5・22 p.	50
下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書, 昭和43年度	昭. 44. 4	B 5・232 p.	非
衛生工学* (わかり易い土木講座 15)	昭. 44. 5	A 5・320 p.	1100
海岸保全施設設計便覧, 改訂版	昭. 44. 7	B 5・293 p.	2300
測量(1)*-基礎 (わかり易い土木講座 2)	昭. 44. 8	A 5・296 p.	1100
土質力学* (土木工学叢書)	昭. 44. 8	B 5・1048 p.	7500
Thirteenth Congress of the International Association for Hydraulic Research, Vol. 1~5	昭. 44. 8	A 5・3115 p.	
土木図書館蔵書目録, 第4集	昭. 44. 11	B 5・82 p.	220
トンネル標準示方書解説, 昭和44年改訂版	昭. 44. 11	A 5・143 p.	800
シールド工法指針, 昭和44年制定	昭. 44. 12	A 5・137 p.	800
コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準に関する研究 昭和43年度 (最終案)	昭. 44.	B 5・156, 48 p.	
土木学会名簿 昭和44年版	昭. 44. 12	B 5・560 p.	
土木年鑑-1970*	昭. 45. 1	B 5・442 p.	3500
構造実験指導書	昭. 45. 2	B 5・147 p.	450
土木製図基準, 昭和45年版	昭. 45. 3	A 4・173 p.	1400
土質実験指導書, 昭和45年改訂版	昭. 45. 3	B 5・98 p.	340
測量実習指導書	昭. 45. 3	B 6・231 p.	450
東名高速道路建設誌	昭. 45. 3	B 5・1024 p.	
下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書, 昭和44年度	昭. 45. 3	B 5・160 p.	
地震応答を考慮した橋りょう下部構造の耐震設計の研究報告書 昭和44年度	昭. 45. 3	B 5・292 p.	
明日の国土を築く力-高校土木教育白書	昭. 45. 6	A 5・308 p.	700
土木技術者の海外活動における諸問題-土木学会誌第55巻第8号 (昭和45年8月) 抜刷	昭. 45. 8	B 5・54 p.	
土木工事の積算 (昭和45年度夏期講習会テキスト)	昭. 45. 8	B 5・222 p.	1800
土木技術フィルムリスト-1970	昭. 45. 9	B 5・126 p.	1000
応用力学* (II) (わかり易い土木講座 5)	昭. 45. 10	A 5・336 p.	1300
爆破* (全訂新版)	昭. 45. 10	A 5・259 p.	1800
土木図書館蔵書目録, 第5集	昭. 45. 11	A 5・60 p.	220
鋼鉄道橋設計標準解説, 昭和45年版	昭. 45. 11	A 5・369 p.	2000
鋼鉄道橋設計標準解説, 昭和45年改訂版	昭. 45. 12	A 5・369 p.	
沈埋トンネル設計法に関する研究報告書 昭和44年度	昭. 45.	A 4・57, 49 p.	
土木年鑑-1971*	昭. 46. 1	B 5・384 p.	3500
水理* (わかり易い土木講座 7)	昭. 46. 1	A 5・344 p.	1200
日本学術会議・流体輸送に関するシンポジウム前刷集 [共催]	昭. 46. 1	B 5・141 p.	
岩盤力学文献目録 第3回	昭. 46. 2	B 5・58 p.	200
施工* (わかり易い土木講座 14)	昭. 46. 2	A 5・270 p.	950
地震応答を考慮した橋りょう下部構造の耐震設計の研究報告書 昭和45年度	昭. 46. 3	B 5・306 p.	
青函トンネル土圧研究調査報告書 昭和45年度	昭. 46. 3	B 5・242 p.	
下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書, 昭和45年度	昭. 46. 3	B 5・194 p.	
土木用語辞典*	昭. 46. 4	B 6・1421 p.	5500
土木学会投稿の手引き, 昭和46年版	昭. 46. 4	B 5・40 p.	350
本州四国連絡鉄道吊橋技術調査委員会中間報告書-軌道専門部会報告, 橋梁 専門部会報告	昭. 46. 7	A 4・114, 464 p.	6500
本州四国連絡橋基礎調査実験報告書-併用橋	昭. 46. 7	A 4・968 p.	10000
沈埋トンネル要覧	昭. 46. 7	B 5・187 p.	2000
地震工学文献目録 第1回	昭. 46. 7	B 5・25 p.	200
わが国における原子力発電所の立地現況	昭. 46. 7	A 4・162 p.	
原子力発電所の耐震設計に関する研究 I. 直接基礎, くい基礎およびケー ソン基礎原子炉建屋の静的耐震設計法による検討	昭. 46. 9	A 4・20 p.	
土木工学文献目録集-1969	昭. 46. 9	B 5・202 p.	
土木技術者のための法律講座 (昭和46年夏期講習会テキスト)	昭. 46. 9	B 5・115 p.	1000

書名	発行年	判型・ページ	定価
鉄道* (わかり易い土木講座 13)	昭. 46. 10	A 5・352 p.	1 400
建設機械* (土木工学叢書)	昭. 46. 10	B 5・506 p.	4 000
OECD トンネル会議の全貌と現場視察報告	昭. 46. 10	B 5・406 p.	
水理公式集, 昭和 46 年改訂版	昭. 46. 11	B 5・616 p.	4 000
サンフェルナンド地震 (1971 年 2 月 9 日) の震害について—土木学会論文報告集 195 号 (昭和 46 年 11 月) 抜刷	昭. 46. 11	B 5・32 p.	350
土木学会名簿 1971	昭. 46. 11	B 5・496 p.	
土木製図* (わかり易い土木講座 20)	昭. 46. 12	B 5・145 p.	2 000
岩盤力学文献目録 第 4 回	昭. 47. 2	B 5・33 p.	200
青函トンネル土圧研究調査報告書 昭和 46 年度	昭. 47. 3	B 5・225 p.	
土木建造物の取替標準に関する研究報告書 昭和 46 年度	昭. 47. 3	B 5・155 p.	
土構造物の設計標準に関する研究報告書 昭和 46 年度	昭. 47. 3	B 5・149 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 昭和 46 年度本四公団委託	昭. 47. 3	A 4・51 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋耐震に関する調査研究報告書 昭和 46 年度本四公団委託	昭. 47. 3	A 4・174 p.	
本州四国連絡橋耐風研究小委員会議事録集 昭和 46 年度本四公団委託	昭. 47. 3	A 4・49 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋耐風に関する調査研究報告書 昭和 46 年度本四公団委託	昭. 47. 3	A 4・76 p.	
原子炉構造物文献集	昭. 47. 3	A 4・109 p.	
海岸・港湾* (わかり易い土木講座 17)	昭. 47. 3	A 5・372 p.	1 500
下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書, 昭和 46 年度	昭. 47. 3	B 5・321 p.	
土木製図基準, 昭和 47 年改訂版	昭. 47. 4	A 4・173 p.	1 600
ダム基礎岩盤グラウチングの施工指針, 昭和 47 年制定	昭. 47. 6	A 5・77 p.	900
原子力発電所の耐震設計に関する検討報告書	昭. 47. 6	A 4・1 冊	
地震工学文献目録 第 2 回	昭. 47. 7	B 5・27 p.	
基礎工 (Ⅱ)* (土木工学叢書)	昭. 47. 8	B 5・656 p.	6 000
市街地土木工事の仮設と安全対策 (昭和 47 年度夏期講習会テキスト)	昭. 47. 8	B 5・223 p.	2 200
農業工学* (わかり易い土木講座 19)	昭. 47. 9	A 5・249 p.	1 200
土木図書館蔵書目録, 第 6 集	昭. 47. 10	A 5・114 p.	450
河川* (わかり易い土木講座 16)	昭. 47. 11	A 5・356 p.	1 000
コンクリート橋* (土木工学叢書), 改訂版	昭. 47. 11	B 5・752 p.	7 500
遠心力大径プレストレストコンクリート杭設計施工指針案	昭. 47. 11	B 5・139 p.	1 000
地震応答解析と実例	昭. 48. 1	B 5・457 p.	5 000
放射性廃棄物の地中処分の検討—特に処分場が内陸・島に立地する場合の安全性の評価について—	昭. 48. 2	A 4・18 p.	
長大橋梁の安全性に関する調査研究報告書 昭和 47 年度阪神高速道路公団委託	昭. 48. 3	A 4・67 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 昭和 47 年度本四公団委託	昭. 48. 3	A 4・33 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋の耐震に関する調査研究報告書 昭和 47 年度本四公団委託	昭. 48. 3	A 4・173 p.	
本州四国連絡橋耐風研究小委員会議事録集 昭和 47 年度本四公団委託	昭. 48. 3	A 4・28 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋の耐風に関する調査研究報告書 昭和 47 年度本四公団委託	昭. 48. 3	A 4・54 p.	
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和 47 年度, 別冊 2—吊橋主塔設計要領 (案)	昭. 48. 3	A 4・53 p.	4 500
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和 47 年度, 別冊 4—鋼上部構造用鋼板の所要性能	昭. 48. 3	A 4・102 p.	4 500
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和 47 年度, 別冊 5—塗装分科会中間報告書	昭. 48. 3	A 4・71 p.	4 500
本州四国連絡橋鋼止部構造に関する調査研究報告書, 昭和 47 年度, 別冊 6—吊橋のねじり解析	昭. 48. 3	A 4・77 p.	4 500
下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書, 昭和 47 年度	昭. 48. 3	B 5・278 p.	

書名	発行年	判型・ページ	定価
青函トンネル土圧研究調査報告書 昭和47年度	昭. 48. 3	B 5・278 p.	
土木建造物の取替標準に関する研究報告書(中間報告書) 昭和47年度	昭. 48. 3	B 5・523 p.	
土構造物の設計標準に関する研究報告書 昭和47年度	昭. 48. 3	B 5・461 p.	
土木技術者のための振動便覧	昭. 48. 4	A 5・435 p.	2800
橋(I)* (わかり易い土木講座8)	昭. 48. 4	A 5・309 p.	1400
日本土木史 昭和16年~昭和40年	昭. 48. 4	B 5・1994 p.	36000
Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures, Earth Structures and Foundations in Japan-1973, 1968年改訂版	昭. 48. 5	B 5・150 p.	1600
ダム基礎岩盤グラウチング施工実例集	昭. 48. 5	A 4・348 p.	13000
日本土木史 大正元年~昭和15年 初版第二刷	昭. 48. 5	B 5・1734 p.	
原子炉建家基礎の耐震設計に関する検討報告書1	昭. 48. 5	A 4・247 p.	
道路* (わかり易い土木講座12)	昭. 48. 7	A 5・282 p.	1300
基礎と地盤(昭和48年度夏期講習会テキスト)	昭. 48. 8	B 5・187 p.	2200
プレストレストコンクリート標準示方書(案)(4,5,6編)	昭. 48. 8	A 4・90 p.	
海洋鋼構造物設計指針(案)解説	昭. 48. 8	B 5・195 p.	1700
原子力発電所の耐震性に関する研究(V) 原子力発電所の取放水設備の耐震設計に関する調査	昭. 48. 9	A 4・32 p.	
原子力発電所の耐震性に関する研究(II) あまり強固でない地盤上における原子炉建家の動的安定性に関する検討	昭. 48. 9	A 4・98 p.	
原子力発電所の耐震性に関する研究(III) あまり強固でない地盤上における原子炉建家および炉心機器の地震応答に関する検討	昭. 48. 9	A 4・25 p.	
原子力発電所の耐震性に関する研究(IV) あまり強固でない地盤上における原子炉建家の安定性および地震応答に関する総合考察・問題点と今後の研究課題	昭. 48. 11	A 4・10 p.	
シールド工事用標準セグメント-鋼製セグメント・コンクリート系セグメント	昭. 48. 11	B 5・236 p.	
土木学会名簿-1973	昭. 48. 11	B 5・509 p.	
原子炉建家基礎の耐震設計に関する検討報告書2	昭. 48. 12	A 4・116, 33, 71 p.	
プレストレストコンクリート標準示方書(案)(2,3編)	昭. 48. 12	A 4・71 p.	
明治以前日本土木史, 復刻版	昭. 48. 12	B 5・1745 p.	20000
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和48年度, 別冊1- 補剛材つき圧縮板の設計要領(案)	昭. 49. 3	A 4・54 p.	
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和48年度, 別冊2- 本州四国連絡橋の疲労設計	昭. 49. 3	A 4・169 p.	
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和48年度, 別冊3- 本州四国連絡橋の防錆塗装	昭. 49. 3	A 4・78 p.	
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和48年度, 別冊4- アーチの解析と吊橋解析の追補	昭. 49. 3	A 4・217 p.	
本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書, 昭和48年度, 別冊5- 鋼上部構造の工場製作における品質管理	昭. 49. 3	A 4・88 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 昭和48年度本四公団委託	昭. 49. 3	A 4・42 p.	
青函トンネル土圧研究調査報告書 昭和48年度	昭. 49. 3	B 5・256 p.	
鋼鉄道橋設計標準解説, 1974年改訂版	昭. 49. 4	A 5・402 p.	3000
日本土木史 大正元年~昭和15年, 初版第三刷	昭. 49. 6	B 5・1734 p.	
日本土木史 大正元年~昭和15年, 復刻版第二刷	昭. 49. 6	B 5・1733 p.	24000
地震工学文献目録 第3回	昭. 49. 7	B 5・43 p.	250
発電工学* (わかり易い土木講座18)	昭. 49. 9	A 5・394 p.	2400
コンクリート標準示方書, 昭和49年度版	昭. 49. 9	A 5・502 p.	2300
コンクリート標準示方書解説, 昭和49年度版	昭. 49. 9	A 5・434 p.	2900
原子力発電所沖合立地方式調査研究報告書	昭. 49. 9	A 4・40 p.	
諸外国における公共工事請負契約制度の概要	昭. 49. 10	B 5・59 p.	
日本の土木地理-国土への理解と認識のために	昭. 49. 10	A 5・442 p.	3200
海外建設工事の契約・仕様-エンジニアリング関係の理解のために	昭. 49. 10	A 5・551 p.	6000

書名	発行年	判型・ページ	定価
土木工学ハンドブック, 上巻	昭. 49. 11	B 5・774 p.	10 000
土木工学ハンドブック, 中巻	昭. 49. 11	B 5・853 p.	12 000
土木工学ハンドブック, 下巻	昭. 49. 11	B 5・1 097 p.	14 000
土木工学ハンドブック, 資料編	昭. 49. 11	B 5・171 p.	500
土木図書館蔵書目録, 第7集	昭. 49. 11	A 5・120 p.	600
土木技術フィルムリスト-1974	昭. 49. 11	B 5・136 p.	2 000
土木工学における数値解析*, 基礎編(サイエンス・ライブラリー情報電算機 27)	昭. 49. 11	A 5・138 p.	
土木工学における数値解析*, 計画手法編(サイエンス・ライブラリー情報電算機 28)	昭. 49. 11	A 5・136 p.	1 700
土木工学における数値解析*, 変形応力解析編(サイエンス・ライブラリー情報電算機 29)	昭. 49. 11	A 5・163 p.	1 800
土木工学における数値解析*, 流体解析編(サイエンス・ライブラリー情報電算機 30)	昭. 49. 11	A 5・150 p.	1 800
国鉄建造物設計標準解説, 1974年版	昭. 49. 11	B 5・471 p.	4 500
構造力学公式集	昭. 49. 12	B 5・478 p.	6 600
Proceedings, U. S.-Japan Seminar on Engineering and Environmental Aspects of Waste Heat Disposal.	昭. 49. 12	A 4・480 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋の耐震に関する調査研究報告書 昭和48年度本四公団委託	昭. 49.	A 4・251 p.	
岩盤力学文献目録 第5回	昭. 50. 2	B 5・34 p.	300
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 明石海峡大橋の耐震設計に関する調査研究報告書 昭和49年度本四公団委託	昭. 50. 3	A 4・40 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 昭和49年度本四公団委託	昭. 50. 3	A 4・70 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋の耐風に関する調査研究報告書 昭和49年度本四公団委託	昭. 50. 3	A 4・196 p.	
下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書 昭和48, 49年度	昭. 50. 3	B 5・182 p.	2 000
沿岸海洋開発の国際的動向と技術交流講演論文	昭. 50. 3	B 5・178 p.	
土木材料実験指導書, 昭和50年改訂版	昭. 50. 3	B 5・159 p.	1 200
土木材料実験指導書, 昭和50年改訂版(高校課程・基礎編)	昭. 50. 3	B 5・109 p.	600
港大橋工事誌	昭. 50. 3	B 5・995 p.	非
沈埋トンネル耐震設計指針(案)	昭. 50. 3	B 5・56 p.	1 000
橋*(Ⅱ)(わかり易い土木講座9)	昭. 50. 4	A 5・362 p.	2 400
日本の土木技術-近代土木発展の流れ	昭. 50. 7	A 5・505 p.	3 200
土木技術者のための岩盤力学, 昭和50年度改訂版	昭. 50. 7	B 5・676 p.	12 000
測量*(Ⅱ)-応用(わかり易い土木講座3)	昭. 50. 8	A 5・333 p.	2 500
実務者のための工事管理(昭和50年度夏期講習会テキスト)	昭. 50. 8	B 5・171 p.	2 800
構造力学公式集発刊記念講習会テキスト	昭. 50. 9	B 5・104 p.	1 500
土木学会名簿 1975	昭. 50. 11	B 5・490 p.	
土木計画学の領域と構成*(土木計画学シリーズⅡ)	昭. 51. 1	B 5・260 p.	4 200
斜張橋資料集成	昭. 51. 2	A 4・195 p.	14 000
海洋鋼構造物設計指針(案)解説(昭和48年8月発行)補足表(正誤表含む)	昭. 51. 2	B 5・10 p.	
水理公式集例題集	昭. 51. 2	B 5・116 p.	1 800
海洋構造物に関する調査研究報告書 昭和50年度	昭. 51. 3	B 5・96 p.	
電算機有効利用に関する調査研究報告書	昭. 51. 3	A 4・239 p.	非
青函トンネル土圧研究調査報告書 昭和50年度	昭. 51. 3	B 5・39 p.	
明石海峡大橋の耐震設計に関する調査研究報告書 昭和50年度本四公団委託	昭. 51. 3	A 4・53 p.	
高橋脚橋梁の耐震設計に関する調査研究報告書 昭和50年度本四公団委託	昭. 51. 3	A 4・41 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 昭和50年度本四公団委託	昭. 51. 3	A 4・72 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 別冊3, トラス格点構造設計指針(案) 昭和50年度本四公団委託	昭. 51. 3	A 4・47 p.	

書名	発行年	判型・ページ	定価
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 別冊4, 鋼上部構造部材溶接継手の非破壊検査 昭和50年度本四公団委託	昭. 51. 3	A 4・96 p.	
平板載荷による原位置岩盤の変形試験法の基準	昭. 51. 4	B 5・9 p	
海上作業足場の設計要領	昭. 51. 5	A 4・96 p.	2000
本州四国連絡橋公団塗料暫定規格	昭. 51. 6	A 4・77 p.	1300
本州四国連絡橋公団塗装暫定仕様 塗装作業, 検査暫定規準	昭. 51. 6	A 4・37 p.	500
地震工文学文献目録 第4回	昭. 51. 7	B 5・41 p.	300
土木製図基準 昭和51年版	昭. 51. 7	A 4・114 p.	2800
地下構造物の設計と施工(昭和51年度夏期講習会テキスト)	昭. 51. 8	B 5・307 p.	4700
建設プロジェクトの進め方	昭. 51. 9	A 5・213 p.	2800
プレストレスト・コンクリート原子炉構造物(圧力容器・格納容器)設計施工要領	昭. 51. 9	A 4・90 p.	
構造物の安全性, 信頼性	昭. 51. 10	B 5・282 p.	5000
わが国におけるトンネル掘進機の実績と展望	昭. 51. 10	A 4・239 p.	15000
創立60周年記念土木学会略史 1914~1975	昭. 51. 11	B 5・170 p.	非
土木構造実験	昭. 52. 1	B 5・71 p.	550
昭和49年制定 コンクリート標準示方書解説(昭和52年版)	昭. 52. 1	A 5・434 p.	3200
開削トンネル指針 昭和52年制定	昭. 52. 1	A 5・194 p.	2450
トンネル標準示方書(シールド編)・同解説 昭和52年版	昭. 52. 1	A 5・164 p.	2450
トンネル標準示方書(山岳編)・同解説 昭和52年版	昭. 52. 1	A 5・171 p.	2450
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 別冊1, 吊橋主塔の塔頂補強構造解析要領(案) 昭和51年度本四公団委託	昭. 52. 3	A 4・58 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 別冊2, 道路鉄道併用斜張橋の検討 昭和51年度本四公団委託	昭. 52. 3	A 4・65 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋の耐風実験橋に関する調査研究報告書(その1) 昭和51年度本四公団委託	昭. 52. 3	A 4・103 p.	
関門橋設計計算書	昭. 52. 3	B 5・425 p.	非
関門橋工事報告書*	昭. 52. 3	B 5・1127 p.	30000
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 昭和51年度本四公団委託	昭. 52. 3	A 4・20 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 別冊2, トラス橋の解析 昭和50年度本四公団委託	昭. 52. 3	A 4・107 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 別冊5, 吊橋リンク支承構造設計の指針 昭和50年度本四公団委託	昭. 52. 3	A 4・120 p.	
土木材料実験指導書(基礎編) 昭和52年改訂版	昭. 52. 3	B 5・111 p.	700
土木材料実験指導書(基礎編・応用編) 昭和52年改訂版	昭. 52. 3	B 5・164 p.	1500
昭和49年制定 コンクリート標準示方書(昭和52年版)	昭. 52. 3	A 5・522 p.	2800
トンネル標準示方書(山岳編) 同解説 昭和52年版	昭. 52. 3	A 5・171 p.	2450
東京港トンネル工事誌	昭. 52. 3	B 5・1129 p.	30000
電算機有効利用に関する調査研究報告書	昭. 52. 3	A 4・1冊	非
土木図書館蔵書目録 第8集	昭. 52. 3	A 5・134 p.	1000
土木学会誌・論文報告集総索引 JSCE INDEX 1915-1975	昭. 52. 6	B 5・491 p.	8000
青函トンネル土圧研究調査報告書	昭. 52. 7	B 5・447 p.	5000
最近の河川・砂防計画(昭和52年度夏期講習会テキスト)	昭. 52. 8	B 5・92 p.	1000
ダムの地質調査	昭. 52. 9	B 5・188 p.	2800
衛生工学実験指導書(プロセス編)	昭. 52. 11	B 5・95 p.	1800
土木学会名簿 1977	昭. 52. 11	B 5・502 p.	
水資源に関するシンポジウム前刷集 1977. 10. 25~27	昭. 52.	B 5・532 p.	

書名	発行年	判型・ページ	定価
Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures, Earth Structures and Foundations in Japan-1977	昭. 52.	B 5・204 p.	3000
岩盤力学文献目録 第6回	昭. 53. 2	B 5・31 p.	300
製図のかき方—線の引き方から透視図のかけるまで—	昭. 53. 3	A 4・161 p.	2500
土木計画学の成立と背景* (土木計画学シリーズ1)	昭. 53. 3	B 5・177 p.	4000
電算機有効利用に関する調査研究報告書	昭. 53. 3	A 4・372, 111, 191 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 別冊2, 吊橋のケーブルに関する検討 昭和52年度本四公団委託	昭. 53. 3	A 4・191 p.	
鋼製サイロに関する調査研究報告書 昭和52年度	昭. 53. 3	B 5・15 p.	
鋼構造架設計指針	昭. 53. 5	B 5・158 p.	2500
高炉スラグ砕石コンクリート設計施工指針(案)	昭. 53. 5	B 5・34 p.	800
ダムの地質調査	昭. 53. 6	B 5・188 p.	2800
コンクリート工学* (I) 施工 新訂版(わかり易い土木講座10)	昭. 53. 6	A 5・322 p.	2000
衛生工学* 新訂版(わかり易い土木講座15)	昭. 53. 6	A 5・369 p.	2300
水資源に関するシンポジウム'77	昭. 53.11	B 5・651 p.	12000
プレストレストコンクリート標準方書 昭和53年制定	昭. 54. 1	A 5・210 p.	3000
コンクリート工学* (II) 設計(わかり易い土木講座11)	昭. 54. 1	A 5・311 p.	2400
土木計画における最適化* (土木計画学シリーズIV)	昭. 54. 2	B 5・213 p.	4500
電算機有効利用に関する調査研究報告書	昭. 54. 3	A 4・1冊	
土木材料実験指導書(基礎編) 昭和54年版	昭. 54. 3	B 5・112 p.	700
土木材料実験指導書(基礎編・応用編) 昭和54年版	昭. 54. 3	B 5・166 p.	1500
鋼製サイロに関する調査研究報告書 昭和53年度	昭. 54. 3	B 5・79 p.	
土木計画における予測と計量化* (土木計画学シリーズIII)	昭. 54. 5	B 5・357 p.	7000
仮設建造物の計画と施工	昭. 54. 6	B 5・406 p.	6000
地震工学文献目録 第5回	昭. 54. 7	B 5・81 p.	400
土木工事管理* (新体系土木工学98)	昭. 54. 9	A 5・302 p.	3500
エネルギー施設(II)—火力・原子力発電, 都市ガス, 石油精製—* (新体系土木工学94)	昭. 54. 9	A 5・278 p.	3000
土木学会名簿 1979年版	昭. 54.10	B 5・667 p.	
海洋施設の設計と施工* (新体系土木工学85)	昭. 54.10	A 5・263 p.	3000
基礎工(II)—特殊工法—* (新体系土木工学46)	昭. 54.10	A 5・215 p.	2800
地域計画(I)—計画の分析—* (新体系土木工学53)	昭. 54.11	A 5・195 p.	2500
建造物の振動解析* (新体系土木工学10)	昭. 54.11	A 5・224 p.	3000
鉄筋コンクリート建造物の設計と施工* (新体系土木工学33)	昭. 54.11	A 5・207 p.	2900
弾性体の力学* (新体系土木工学6)	昭. 54.12	A 5・340 p.	4000
廃棄物処理* (新体系土木工学91)	昭. 54.12	A 5・287 p.	3700
土木工学における数値解析*—基礎編(サイエンスライブラリー情報電算機・27)	昭. 55. 1	A 5・138 p.	1700
建造物の非弾性解析* (新体系土木工学8)	昭. 55. 1	A 5・292 p.	4000
鉄道(II)—線路, 防災, 電気設備—* (新体系土木工学67)	昭. 55. 1	A 5・216 p.	3200
トンネル(I)—山岳トンネル* (新体系土木工学70)	昭. 55. 1	A 5・315 p.	4000
コンクリート材料* (新体系土木工学28)	昭. 55. 2	A 5・209 p.	2900
道路(III)—構造—* (新体系土木工学63)	昭. 55. 2	A 5・241 p.	3400
鉄道(I)—建設, 停車場, 新幹線—* (新体系土木工学66)	昭. 55. 3	A 5・258 p.	3800
環境保全(II)—環境の制御・管理—* (新体系土木工学87)	昭. 55. 3	A 5・280 p.	3700
密度流の水理* (新体系土木工学22)	昭. 55. 3	A 5・260 p.	4000
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 昭和54年度本四公団委託	昭. 55. 3	A 4・19 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 別冊1, 主塔設計方法に関する検討 昭和54年度本四公団委託	昭. 55. 3	A 4・62 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 別冊2, 疲れに関する検討 昭和	昭. 55. 3	A 4・79 p.	

書名	発行年	判型・ページ	定価
54年度本四公団委託			
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書 別冊3, 櫃石島, 岩黒島斜張橋に関する検討 昭和54年度本四公団委託	昭. 55. 3	A 4・138 p.	
本州四国連絡橋の耐震, 地盤に関する調査研究報告書 昭和54年度 本四公団委託	昭. 55. 3	A 4・228 p.	
本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究 本州四国連絡橋の耐風に関する調査研究報告書 昭和54年度本四公団委託	昭. 55. 3	A 4・50 p.	
汚泥処理上からみた合理的浄水方法～汚泥処理上からみた合理的浄水方法に関する研究総括報告書	昭. 55. 3	B 5・294 p.	4300
電算機有効利用に関する調査研究報告書	昭. 55. 3	A 4・245, 65 p.	
電算機有効利用に関する調査研究報告書	昭. 55. 3	A 4・237, 258, 222 p.	
土木技術フィルムリスト 1980年版	昭. 55. 3	B 5・117 p.	3000
土木計画のシステム分析* (新体系土木工学 52)	昭. 55. 3	A 5・271 p.	4000
基礎工 (I) - 構造物の基礎 - * (新体系土木工学 45)	昭. 55. 3	A 5・267 p.	3700
岩の力学 '79	昭. 55. 3	A 4・921 p.	
全国土木系大学教官・教員名簿 1980	昭. 55. 3	A 5・105 p.	1000
近代の土木関係出版書	昭. 55. 3	B 5・119 p.	非
近代の鉄道関係碑	昭. 55. 3	B 5・20 p.	非
土質実験指導書	昭. 55. 3	B 5・98 p.	700
土木材料実験指導書 (基礎編) 昭和55年版	昭. 55. 3	B 5・112 p.	800
土木材料実験指導書 (基礎編・応用編) 昭和55年版	昭. 55. 3	B 5・166 p.	1800
昭和49年制定 コンクリート標準示方書 昭和55年改版	昭. 55. 4	A 5・575 p.	3100
昭和49年制定 コンクリート標準示方書解説 昭和55年改版	昭. 55. 4	A 5・436 p.	3600
亜鉛めっき鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針 (案)	昭. 55. 4	B 5・38 p.	550
測量実習指導書 昭和55年版	昭. 55. 4	B 5・115 p.	1000
地下貯油施設技術指針 (案)	昭. 55. 5	B 5・99 p.	2600
道路 (II) - 計画と幾何設計 - * (新体系土木工学 62)	昭. 55. 5	A 5・239 p.	3400
貯蔵タンク・サイロ* (新体系土木工学 95)	昭. 55. 5	A 5・213 p.	3300
建設プロジェクトの分析と評価 (海外建設シリーズ 3)	昭. 55. 5	A 5・353 p.	6000
欧米諸国における公共工事請負契約制度とその運用	昭. 55. 6	B 5・60, 110 p.	
土木測量* (新体系土木工学 51)	昭. 55. 6	A 5・162 p.	2500
橋梁上部構造 (III) - コンクリート橋 - * (新体系土木工学 43)	昭. 55. 6	A 5・318 p.	4000
契約・積算* (新体系土木工学 97)	昭. 55. 7	A 5・226 p.	3100
ダム設計* (新体系土木工学 75)	昭. 55. 7	A 5・276 p.	3700
特殊コンクリート* (新体系土木工学 30)	昭. 55. 8	A 5・239 p.	3500
港湾施設設計* (新体系土木工学 82)	昭. 55. 8	A 5・273 p.	4000
港湾施設の施工* (新体系土木工学 83)	昭. 55. 9	A 5・318 p.	4300
上水道* (新体系土木工学 88)	昭. 55. 9	A 5・370 p.	4500
Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures, Earth Structures and Foundations in Japan-1980	昭. 55. 9	B 5・247 p.	4000
鋼構造物の製作と施工* (新体系土木工学 39)	昭. 55. 10	A 5・292 p.	4200
砂防・地すべり・急傾斜地崩壊* (新体系土木工学 77)	昭. 55. 10	A 5・252 p.	3600
下水道* (新体系土木工学 89)	昭. 55. 11	A 5・310 p.	4000
エネルギー施設 (I) - 水力発電, 送変電 - * (新体系土木工学 93)	昭. 55. 11	A 5・289 p.	3800
コンクリート工学* (II) 設計 新訂版 (わかり易い土木講座 11)	昭. 55. 11	A 5・331 p.	2800
鉄道 (III) - 都市鉄道, 特殊鉄道 - * (新体系土木工学 68)	昭. 55. 12	A 5・252 p.	3800
ダムの施工* (新体系土木工学 76)	昭. 55. 12	A 5・316 p.	4200
鉄道碑調査 改訂・増補版	昭. 55. 12	B 5・26 p.	非
Proceeding of the 3rd International Symposium on Stochastic Hydraulics, Tokyo, August 5-7, 1980.	昭. 55.	B 5・758 p.	
Proceeding of the 3rd International Symposium on Stochastic Hydraulics, Tokyo, August 5-7, 1980. Supplementary Volume.	昭. 55.	B 5・79 p.	15000
土木施工 - 計画と施工技術 - * (新体系土木工学 99)	昭. 56. 1	A 5・284 p.	3900

書名	発行年	判型・ページ	定価
フレッシュコンクリート, 硬化コンクリート* (新体系土木工学 29)	昭. 56. 1	A 5・296 p.	3 900
海の波の水理* (新体系土木工学 24)	昭. 56. 1	A 5・217 p.	3 200
歴青系材料* (新体系土木工学 27)	昭. 56. 2	A 5・216 p.	3 200
港湾計画* (新体系土木工学 81)	昭. 56. 2	A 5・336 p.	4 500
漂砂と海岸保全施設* (新体系土木工学 79)	昭. 56. 3	A 5・157 p.	2 600
岩の力学 '80	昭. 56. 3	A 4・1060 p.	
自動作図の基礎技術	昭. 56. 3	A 4・123 p.	3 000
電算機有効利用に関する調査研究報告書 昭和 55 年度	昭. 56. 3	A 4・206, 187, 155, 176, 96p.	
構造力学公式集, 例題集	昭. 56. 3	B 5・138 p.	3 600
航空写真のみかた	昭. 56. 3	21×30 cm・137 p.	3 800
衛生工学実験指導書 (現場調査編)	昭. 56. 3	B 5・166 p.	2 600
プレストレストコンクリートの力学* (新体系土木工学 34)	昭. 56. 4	A 5・184 p.	3 100
構造物の耐震解析* (新体系土木工学 11)	昭. 56. 4	A 5・250 p.	3 700
社会資本と公共投資* (新体系土木工学 49)	昭. 56. 5	A 5・354 p.	4 500
都市計画 (Ⅲ)-都市計画事業-* (新体系土木工学 57)	昭. 56. 5	A 5・233 p.	3 400
土木構造設計法* (新体系土木工学 12)	昭. 56. 6	A 5・165 p.	2 500
環境保全 (I)-環境の指標と評価-* (新体系土木工学 86)	昭. 56. 6	A 5・365 p.	4 500
地震工学文献目録 第 6 回	昭. 56. 7	B 5・71 p.	500
土の力学 (IV)-応力分散, 安定, 変形-* (新体系土木工学 19)	昭. 56. 7	A 5・211 p.	3 400
土の力学 (Ⅲ)-圧密, せん断, 動的解析-* (新体系土木工学 18)	昭. 56. 8	A 5・338 p.	4 800
土木工事の積算と実際 (講習会テキスト)	昭. 56. 9	B 5・268 p.	4 800
構造用鋼材* (新体系土木工学 37)	昭. 56. 9	A 5・224 p.	3 300
施工* 新訂版 (わかり易い土木講座 14)	昭. 56. 9	A 5・236 p.	2 600
International Symposium on Weak Rock theme 1~5	昭. 56. 9	A 4・5 vols.	
土木学会名簿 1981 年版	昭. 56. 10	B 5・692 p.	
交通需要予測ハンドブック*	昭. 56. 10	B 5・570 p.	18 000
エネルギー計画* (新体系土木工学 92)	昭. 56. 10	A 5・304 p.	4 500
確率・統計解析* (新体系土木工学 2)	昭. 56. 11	A 5・307 p.	4 300
土質工学* 新訂版 (わかり易い土木講座 6)	昭. 56. 12	A 5・353 p.	3 000
海岸・港湾* 新訂版 (わかり易い土木講座 17)	昭. 56. 12	A 5・396 p.	3 400
土地造成 (1) 宅地造成* (新体系土木工学 78-1)	昭. 56. 12	A 5・332 p.	4 800
土地造成 (2) 埋立* (新体系土木工学 78-2)	昭. 56. 12	A 5・186 p.	3 200
構造実験指導書	昭. 57. 2	B 5・100 p.	1 500
岩盤力学文献目録 第 7 回	昭. 57. 2	B 5・62 p.	500
水理実験指導書	昭. 57. 2	B 5・67 p.	1 000
土木材料実験指導書 (応用編)	昭. 57. 2	B 5・54, 17 p.	1 000
水理学の基礎* (新体系土木工学 21)	昭. 57. 2	A 5・223 p.	3 800
水文学-確率論的手法とその応用-* (新体系土木工学 26)	昭. 57. 3	A 5・275 p.	4 200
岩の力学 '81	昭. 57. 3	A 4・1147 p.	
水処理-単位操作と産業用水・廃水-* (新体系土木工学 90)	昭. 57. 3	A 5・332 p.	4 800
四谷見附橋調査研究報告書 (その 1)	昭. 57. 3		
海外建設プロジェクトと建設輸出* (新体系土木工学別巻)	昭. 57. 4	A 5・421 p.	4 500
応用力学 (Ⅱ)* (わかり易い土木講座 5)	昭. 57. 4	A 5・366 p.	2 600
プレストレストコンクリート構造物の設計と施工* (新体系土木工学 35)	昭. 57. 5	A 5・262 p.	4 500
土木景観計画* (新体系土木工学 59)	昭. 57. 6	A 5・326 p.	4 800
美しい橋のデザインマニュアル	昭. 57. 6	A 4・224 p.	5 000
近代土木技術の黎明期~日本土木史研究委員会シンポジウム記録集~	昭. 57. 6	B 5・286 p.	3 800
土木施工と情報	昭. 57. 7	B 5・174 p.	1 000
海外在住土木技術者名簿 1982	昭. 57. 7	A 5・105 p.	1 000
橋梁の施工~本州四国連絡橋・大鳴門橋工事~第 17 回夏期講習会講演テキスト	昭. 57. 8	A 4・1 冊	
建設機械* (新体系土木工学 100)	昭. 57. 8	A 5・229 p.	3 500
水資源に関するシンポジウム前刷集 第 2 回 1982. 8. 3~5	昭. 57. 8	B 5・648 p.	
会員増強のための手引き	昭. 57. 9		

書名	発行年	判型・ページ	定価
ISRM 指針 Vol. 1	昭. 57. 9	A 4・61 p.	
応用力学 (I)* (わかり易い土木講座 4)	昭. 57. 9	A 5・319 p.	2 400
構造物の座屈・安定解析* (新体系土木工学 9)	昭. 57. 9	A 5・321 p.	5 200
日本語訳 ISRM 岩の力学用語集 (英語・仏語・独語)	昭. 57. 9	B 5・57 p.	
道路* (わかり易い土木講座 12)	昭. 57. 9	A 5・290 p.	2 200
コンクリート工学* (I) 施工 新訂版 (わかり易い土木講座 10)	昭. 57. 10	A 5・342 p.	2 500
河川* 新訂版 (わかり易い土木講座 16)	昭. 57. 10	A 5・357 p.	2 600
海岸・港湾* 新訂版 (わかり易い土木講座 17)	昭. 57. 10	A 5・396 p.	3 400
鉄筋コンクリートの力学* (新体系土木工学 32)	昭. 57. 11	A 5・263 p.	4 500
全国土木系大学教官・教員名簿 1982 年版	昭. 57. 11	A 5・183 p.	1 700
水資源に関するシンポジウム 第 2 回 1982	昭. 57. 11	B 5・648 p.	非
シールド工事用標準セグメント～下水道シールド工事用セグメント*	昭. 57. 11	B 5・337 p.	
昭和 56 年度文献調査委員会報告～最近 6 年間の抄録論文の検討	昭. 57. 12	B 5・35 p.	
屋外タンク貯蔵所基礎の規制基準解説*	昭. 58. 1	A 5・299 p.	5 000
土木材料実験指導書 (基礎編)	昭. 58. 2	B 5・112, 41 p.	800
高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計施工指針 (案)	昭. 58. 2	B 5・45 p.	900
鋼構架架設施工指針	昭. 58. 2	B 5・122 p.	3 000
フレッシュコンクリートの物性値の測定ならびに挙動に関するシンポジウム 論文集	昭. 58. 3	B 5・102 p.	1 500
日本におけるフィルダムの基礎処理	昭. 58. 3	A 4・37 p.	1 900
岩の力学 '82	昭. 58. 3	A 4・1176 p.	
ISRM 指針 Vol. 2	昭. 58. 3	A 4・178 p.	
コンクリートの製造と施工* (新体系土木工学 31)	昭. 58. 3	A 5・242 p.	4 300
建設用ロボットに関する技術講習会テキスト	昭. 58. 4	B 5・93 p.	4 000
道路 (I) - 交通流 - * (新体系土木工学 61)	昭. 58. 4	A 5・203 p.	3 500
鋼構造シンポジウム～鋼構造における最近の動向～資料	昭. 58. 5	B 5・1 冊	
国鉄建造物設計標準解説～鉄筋コンクリート構造物および無筋コンクリート 構造物, プレストレストコンクリート鉄道橋～日本国有鉄道委託	昭. 58. 5	B 5・383 p.	6 000
国鉄建造物設計標準解説～鋼鉄道橋, 鋼とコンクリートとの合成鉄道橋～日 本国有鉄道委託	昭. 58. 5	B 5・359 p.	6 000
構造物の弾性解析* (新体系土木工学 7)	昭. 58. 6	A 5・389 p.	5 900
トンネルの地質調査と岩盤計測	昭. 58. 7	B 5・231 p.	4 800
地震工学文献目録 第 7 回	昭. 58. 7	B 5・85 p.	500
地域計画 (II)* - 計画の作成と実施 - (新体系土木工学 54)	昭. 58. 7	A 5・260 p.	4 300
これからの土木技術～技術開発の展望～(第 18 回夏期講習会講演テキスト)	昭. 58. 8	A 4・111 p.	
数値計算法* (新体系土木工学 1)	昭. 58. 9	A 5・255 p.	4 000
有限要素法* (新体系土木工学 3)	昭. 58. 10	A 5・302 p.	4 500
土木学会名簿 1983 年版	昭. 58. 10	B 5・726 p.	非
土質工学における予測～盛土の沈下・安定予測を中心に～	昭. 58. 10	B 5・71 p.	1 000
土木工事のマネジメント問題に関する研究討論会講演・資料集	昭. 58. 11	B 5・242 p.	2 500
コンクリート構造物の維持・補修・取壊し* (新体系土木工学 36)	昭. 58. 11	A 5・203 p.	3 500
工事災害と安全対策* (新体系土木工学別巻)	昭. 58. 12	A 5・338 p.	5 000
原位置岩盤の変形およびせん断試験の指針～解説と設計への適用	昭. 58. 12	B 5・211 p.	4 200
海洋土質* (新体系土木工学 84)	昭. 59. 1	A 5・174 p.	3 000
トンネル (II) - 開削, シールド, 沈埋 - * (新体系土木工学 71)	昭. 59. 2	A 5・291 p.	4 900
構造実験指導書	昭. 59. 2	B 5・100 p.	1 500
水理実験指導書	昭. 59. 2	B 5・67 p.	1 000
測量実習指導書 昭和 59 年版	昭. 59. 3	B 5・124 p.	1 400
土木材料実験指導書 (基礎編)	昭. 59. 3	B 5・153 p.	1 000
土木材料実験指導書 (応用編)	昭. 59. 3	B 5・94 p.	1 000
道路 (V) - 維持管理 - * (新体系土木工学 65)	昭. 59. 3	A 5・224 p.	3 800
岩の力学 '83	昭. 59. 3	A 4・1188 p.	
岩の力学 '83 (文献目録)	昭. 59. 3	A 4・14 p.	

●コンクリート・ライブラリー一覧

書名	発行年	判型・ページ	定価
●第1号・コンクリートの話—吉田徳次郎先生御遺稿より—	昭. 37. 5	B 5・48 p.	200
●第2号・第1回異形鉄筋シンポジウム	昭. 37. 12	B 5・98 p.	450
●第3号・異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート構造物の設計例	昭. 38. 2	B 5・41 p.	380
●第4号・ペーストによるフライアッシュの使用に関する研究	昭. 38. 3	B 5・22 p.	120
●第5号・小丸川 PC 鉄道橋の架替え工事ならびにこれに関して行なった実験研究の報告	昭. 38. 3	B 5・38 p.	200
●第6号・鉄道橋としてのプレストレストコンクリート桁の設計方法に関する研究	昭. 38. 3	B 5・62 p.	250
●第7号・コンクリートの水密性の研究	昭. 38. 6	B 5・36 p.	120
●第8号・鉱物質微粉末がコンクリートのウォーカビリティーおよび強度におよぼす効果に関する基礎研究	昭. 38. 7	B 5・56 p.	200
●第9号・添えばりを用いるアンダーピンニング工法の研究	昭. 38. 7	B 5・18 p.	120
●第10号・構造用軽量骨材シンポジウム	昭. 39. 5	B 5・96 p.	500
●第11号・微細な空げきてん充のためのセメント注入における混和材料に関する研究	昭. 39. 12	B 5・28 p.	120
●第12号・コンクリート舗装の構造設計に関する実験的研究	昭. 40. 1	B 5・34 p.	120
●第13号・プレバックドコンクリート施工例集	昭. 40. 3	B 5・330 p.	2000
●第14号・第2回異形鉄筋シンポジウム	昭. 40. 12	B 5・236 p.	1100
●第15号・デイビダーク工法設計施工指針(案)	昭. 41. 7	B 5・88 p.	900
●第16号・単純曲げをうける鉄筋コンクリート桁およびプレストレストコンクリート桁の極限強さ設計法に関する研究	昭. 42. 5	B 5・34 p.	150
●第17号・MDC 工法設計施工指針(案)	昭. 42. 7	B 5・94 p.	700
●第18号・現場コンクリートの品質管理と品質検査	昭. 43. 3	B 5・107 p.	200
●第19号・港湾工事におけるプレバックドコンクリートの施工管理に関する基礎研究	昭. 43. 3	B 5・38 p.	200
●第20号・フライアッシュを混和したコンクリートの中性化と鉄筋の発錆に関する長期研究	昭. 43. 10	B 5・55 p.	500
●第21号・パウル・レオンハルト工法設計施工指針(案)	昭. 43. 12	B 5・100 p.	700
●第22号・レオバ工法設計施工指針(案)	昭. 43. 12	B 5・85 p.	700
●第23号・BBRV 工法設計施工指針(案)	昭. 44. 9	B 5・134 p.	900
●第24号・第2回構造用軽量骨材シンポジウム	昭. 44. 10	B 5・132 p.	1100
●第25号・高炉セメントコンクリートの研究	昭. 45. 4	B 5・73 p.	550
●第26号・鉄道橋としての鉄筋コンクリート斜角げたの設計に関する研究	昭. 45. 5	B 5・28 p.	200
●第27号・高張力異形鉄筋の使用に関する基礎研究	昭. 45. 5	B 5・24 p.	200
●第28号・コンクリートの品質管理に関する基礎研究	昭. 45. 12	B 5・28 p.	200
●第29号・フレッシュ工法設計施工指針(案)	昭. 45. 12	B 5・123 p.	1300
●第30号・フープコーン工法設計施工指針(案)	昭. 46. 10	B 5・75 p.	1000
●第31号・OSPA 工法設計施工指針(案)	昭. 47. 5	B 5・107 p.	1100
●第32号・OBC 工法設計施工指針(案)	昭. 47. 5	B 5・93 p.	1100
●第33号・VSL 工法設計施工指針(案)	昭. 47. 5	B 5・88 p.	1000
●第34号・鉄筋コンクリート終局強度理論の参考	昭. 47. 8	B 5・158 p.	1600
●第35号・アルミナセメントコンクリートに関するシンポジウム	昭. 47. 12	B 5・123 p.	1300
●第36号・SEEE 工法設計施工指針(案)	昭. 49. 3	B 5・100 p.	1300
●第37号・コンクリート標準示方書(昭和49年版)改訂資料	昭. 49. 9	B 5・117 p.	1500
●第38号・コンクリートの品質管理	昭. 49. 9	B 5・96 p.	1500
●第39号・膨張性セメント混合材を用いたコンクリートに関するシンポジウム	昭. 49. 10	B 5・143 p.	1500
●第40号・太径鉄筋 D 51 を用いた鉄筋コンクリート構造物の設計指針(案)	昭. 50. 6	B 5・156 p.	1650
●第41号・鉄筋コンクリート設計法の最近の動向	昭. 50. 11	B 5・186 p.	2500
●第42号・海洋コンクリート構造物設計施工指針(案)	昭. 51. 12	B 5・118 p.	1600
●第43号・太径鉄筋 D 51 を用いる鉄筋コンクリート構造物の設計指針	昭. 52. 8	B 5・182 p.	2000

書名	発行年	判型・ページ	定価
●第44号・プレストレストコンクリート標準示方書解説資料	昭. 54. 7	B 5・84 p.	2000
●第45号・膨張コンクリート設計施工指針(案)	昭. 54. 12	B 5・113 p.	2200
●第46号・無筋および鉄筋コンクリート標準示方書(昭和55年制定)改訂資料【付・最近におけるコンクリート工学の諸問題に関する講習会テキスト】	昭. 55. 4	B 5・83 p.	1800
●第47号・高強度コンクリート設計施工指針(案)	昭. 55. 4	B 5・56 p.	1100
●第48号・コンクリート構造の限界状態設計法試案	昭. 56. 4	B 5・136 p.	2800
●第49号・鉄筋継手指針	昭. 57. 2	B 5・208 p.	3800
●第50号・鋼繊維補強コンクリート設計施工指針(案)	昭. 58. 3	B 5・183 p.	3300
●第51号・流動化コンクリート施工指針(案)	昭. 58. 10	B 5・218 p.	3000
●第52号・コンクリート構造の限界状態設計法指針(案)	昭. 58. 11	B 5・369 p.	5000
●第53号・フライアッシュを混和したコンクリートの中性化と鉄筋の発錆に関する長期研究(第二次)	昭. 59. 3	B 5・68 p.	2200
●第54号・鉄筋コンクリート構造物の設計例	昭. 59. 4	B 5・118 p.	3000

●マイクロフィッシュ出版物一覧

書名	備考
●海岸工学講演会論文集	1~20回(昭和29年~48年) 115枚
●土木学会論文報告集	1~244号(昭和19年~50年) 488枚
●土木学会誌	1~60巻(大正4年~昭和50年) 1842枚

書名	備考
●橋	昭和41年より毎年.
●土木計画学シンポジウム	昭和42年第1回より毎年.
●土木計画学講習会テキスト	昭和43年第1回より毎年.(途中一部不定期)
●Transaction of Japan Society of Civil Engineers	昭和44年第1巻より毎年.
●海洋開発シンポジウム講演集	昭和45年第1回より昭和53年第9回まで.
●高校土木教育研究会委員会報	昭和47年第1号より毎年.
●環境問題シンポジウム講演論文集	昭和48年第1回より毎年. 昭和52年第5回まで環境問題シンポジウム講演集.
●電算機利用に関するシンポジウム講演概要	昭和51年第1回より毎年.
●日本土木史シンポジウム予稿集	昭和51年第1回より昭和55年第6回まで. 昭和56年からは日本土木史研究発表会論文集になる.
●土木計画学研究発表会講演集	昭和54年第1回より毎年. 昭和59年からは土木計画学研究(論文集・講演集)となる.
●日本土木史研究発表会論文集	昭和56年第1回より毎年. 昭和55年までは日本土木史シンポジウム予稿集.
●トンネルライブラリー	昭和57年第1号より不定期.
●Concrete Library International	昭和58年第1号より年2回.
●Journal of Hydroscience and Hydraulic Engineering	昭和58年第1巻より年2回.

●定期刊行物一覧

書名	備考
●年次学術講演会講演概要集	昭和12年第1回, 昭和24年第5回以後毎年.
●海岸工学講演会論文集	昭和29年第1回より毎年, 昭和44年第16回まで海岸工学講演会講演集.
●水理講演会論文集	昭和31年第1回より毎年, 昭和49年第18回まで水理講演会講演集.
●地震工学研究発表会講演概要	昭和32年第1回より毎年.
●Coastal Engineering in Japan	昭和33年第1巻より年1回.
●Civil Engineering in Japan	昭和36年第1巻より毎年.
●岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集	昭和37年第1回より毎年, 昭和54年第12回まで岩盤力学に関するシンポジウム講演概要
●トンネル工学シンポジウム(トンネル工学シリーズ)	昭和37年第1号より不定期で昭和48年第8号まで
●水工学に関する夏期研修会講義集(水工学シリーズ)	昭和39年第1回より毎年, 昭和44年は国際水理学会東京大会のため発行せず.
●衛生工学研究論文集	昭和39年第1回より毎年, 昭和57年第18回まで衛生工学研究討論会講演論文集

6.2 支部出版物

(1) 北海道支部

書名	発行年	判型・ページ
技術資料 第8号	昭. 27. 2	—
“ 第9号	昭. 28. 2	—
“ 第10号	昭. 29. 2	—
“ 第11号	昭. 30. 2	—
“ 第12号	昭. 31. 2	—
“ 第13号	昭. 32. 2	—
研究発表会論文集 第14号	昭. 33. 2	—
“ 第15号	昭. 34. 2	—
“ 第16号	昭. 35. 2	—
“ 第17号	昭. 36. 2	—
講習会テキスト —北海道の河川 における技術的諸問題	昭. 36. 2	—
研究発表会論文集 第18号	昭. 37. 2	—
講習会テキスト	昭. 37. 2	—
研究発表会論文集 第19号	昭. 38. 2	—
“ 第20号	昭. 39. 2	—
講習会テキスト	昭. 39. 2	—
水理学・河川工学における最近の 話題	昭. 39. 2	—
研究発表会論文集 第21号	昭. 40. 2	—
“ 第22号	昭. 41. 2	—
“ 第23号	昭. 42. 2	—
講習会テキスト	昭. 42. 3	—
研究発表会論文集 第24号	昭. 43. 2	—
講習会テキスト	昭. 43. 3	—
研究発表会論文集 第25号	昭. 44. 2	—
講習会テキスト	昭. 44. 3	—
揚水発電と原子力発電建設の展望 と問題点	昭. 44. 9	—
研究発表会論文集 第26号	昭. 45. 2	—
“ 第27号	昭. 46. 2	—
講習会テキスト —トンネル技術—	昭. 46. 10	—
“ —気象と土木技術—	昭. 46. 11	—
講習会テキスト —ダム—	昭. 46. 12	—
研究発表会論文集 第28号	昭. 47. 2	—
講習会テキスト —都市問題およ び広域水理—	昭. 47. 11	—
ネットワーク基礎演習	昭. 48. 1	—
論文報告集 第29号	昭. 48. 2	—
“ 第30号	昭. 49. 2	—
“ 第31号	昭. 50. 2	—
講習会テキスト —現場技術者の ための土木工事の積算と管理—	昭. 50. 2	—
講習会テキスト —下水道関係—	昭. 50. 10	—
“ —コンクリート 施工関係—	昭. 50. 12	—
論文報告集 第32号	昭. 51. 2	—
講習会テキスト —下水道関係—	昭. 51. 10	—
“ —コンクリート 施工関係—	昭. 51. 12	—
論文報告集 第33号	昭. 52. 2	—
“ 第34号	昭. 53. 2	—
“ 第35号	昭. 54. 2	—

書名	発行年	判型・ページ
“ 第36号	昭. 55. 2	—
“ 第37号	昭. 56. 2	—
講習会テキスト —土木工事に伴 う排水処理—	昭. 56. 2	—
論文報告集 第38号	昭. 56. 2	—
講習会テキスト —トンネル (N. A. T. M)—	昭. 57. 3	—
論文報告集 第39号	昭. 58. 2	—
講習会テキスト —現場技術者の ためのマイコンの利用—	昭. 58. 3	—
論文報告集 第40号	昭. 59. 2	—

(2) 東北支部

書名	発行年月	判型・ページ
設立20周年記念誌	昭. 32. 12	B 5・93 p.
昭和33年度技術研究発表会概要 集	昭. 33. 12	B 5・129 p.
昭和34年度技術研究発表会概要	昭. 34. 12	B 5・78 p.
昭和35年度技術研究発表会概要	昭. 35. 12	B 5・93 p.
技術者のための最近の水工学	昭. 36. 11	B 5・126 p.
昭和36年度東北支部技術研究発 表会講演概要	昭. 37. 3	B 5・105 p.
道路講習会講演概要	昭. 37. 7	B 5・179 p.
昭和37年度東北支部技術研究発 表会講演概要	昭. 38. 3	B 5・68 p.
技術講座テキスト(土質工学演習)	昭. 38. 2	B 5・79 p.
“ (空中写真測量 とその応用)	昭. 38. 7	B 5・43 p.
技術講座テキスト(最近の橋梁形 式について)	昭. 38. 10	B 5・27 p.
技術講座テキスト(水資源その他 について)	昭. 38. 11	B 5・70 p.
昭和38年度東北支部技術研究発 表会講演概要	昭. 39. 3	B 5・128 p.
技術講座テキスト(舗装の機械化 施工の計画と実施およびその問 題点)	昭. 39. 2	B 5・64 p.
技術講座テキスト(基礎工のため の土質力学)	昭. 39. 3	B 5・57 p.
技術講座テキスト(最近の基礎工 法)	昭. 39. 3	B 5・57 p.
昭和39年度東北支部技術研究発 表会講演概要	昭. 40. 3	B 5・141 p.
技術講座テキスト	昭. 40. 3	B 5・74 p.
“ (品質管理と統計解析)	昭. 40. 3	B 5・81 p.
昭和40年度東北支部技術研究発 表会講演概要	昭. 41. 2	B 5・60 p.
技術講座テキスト	昭. 41. 3	B 5・178 p.
“	昭. 41. 10	B 5・79 p.
昭和41年度東北支部技術研究発 表会講演概要	昭. 42. 2	B 5・113 p.
技術講座テキスト	昭. 42. 1	B 5・74 p.
“	昭. 42. 10	B 5・33 p.

書名	発行年月	判型・ページ
昭和42年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 43. 2	B 5・154 p.
技術講座テキスト	昭. 43. 10	B 5・ 90 p.
昭和43年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 44. 2	B 5・168 p.
東北の土木史	昭. 44. 6	A 5・475 p.
昭和44年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 45. 2	B 5・192 p.
技術講座テキスト	昭. 11. 12	B 5・130 p.
昭和45年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 46. 2	B 5・206 p.
昭和46年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 47. 2	B 5・212 p.
技術講座テキスト	昭. 47. 2	B 5・ 79 p.
昭和47年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 48. 2	B 5・250 p.
技術講座テキスト	昭. 48. 2	B 5・ 97 p.
〃	昭. 48. 11	B 5・ 82 p.
昭和48年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 49. 2	B 5・257 p.
技術講座テキスト	昭. 49. 9	B 5・ 66 p.
昭和49年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 50. 2	B 5・274 p.
技術講座テキスト	昭. 50. 10	B 5・ 69 p.
技術講座テキスト	昭. 50. 10	B 5・ 69 p.
新交通システム講演会講演集	昭. 50. 12	B 5・ 53 p.
昭和50年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 51. 2	B 5・304 p.
東北地方における昭和51年度公共事業計画についての講演概要集	昭. 51. 5	B 5・ 47 p.
技術講座テキスト	昭. 51. 10	B 5・
土工と施工管理に関する講演集	昭. 52. 1	B 5・ 65 p.
昭和51年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 52. 3	B 5・248 p.
東北地方における昭和52年度公共事業計画についての講演概要集	昭. 52. 5	B 5・ 51 p.
技術講座テキスト	昭. 52. 11	B 5・ 75
設立40周年記念誌	昭. 52. 12	B 5・140
昭和52年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 53. 3	B 5・307
東北地方における昭和53年度公共事業計画についての講演概要集	昭. 53. 5	B 5・ 75 p.
技術講座テキスト	昭. 53. 12	B 5・ 64 p.
昭和53年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 54. 3	B 5・294 p.
東北地方における昭和54年度公共事業計画についての講演概要集	昭. 54. 4	B 5・ 93 p.
技術講座テキスト	昭. 54. 10	B 5・ 94 p.
昭和54年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 55. 3	B 5・337 p.
1978年宮城県沖地震調査報告書	昭. 55. 4	B 5・504 p.
東北地方における昭和55年度公共事業計画についての講演概要集	昭. 55. 4	B 5・105 p.
技術講座テキスト	昭. 55. 11	B 5・105 p.
昭和55年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 56. 3	B 5・348 p.

書名	発行年月	判型・ページ
東北地方における昭和56年度公共事業計画についての講演概要集	昭. 56. 4	B 5・119 p.
技術講座テキスト	昭. 56. 11	B 5・ 84 p.
昭和56年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 57. 3	B 5・318 p.
東北地方における昭和57年度公共事業計画についての講演概要集	昭. 57. 4	B 5・130 p.
技術講座テキスト	昭. 57. 11	B 5・ 78 p.
昭和57年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 58. 3	B 5・312 p.
青葉山公園天守台石垣修復調査委託報告書	昭. 58. 3	B 4・ 99 p.
東北地方における昭和58年度公共事業計画についての講演概要集	昭. 58. 4	B 5・125 p.
技術講座テキスト	昭. 58. 10	B 5・167 p.
日本海中部地震に関するシンポジウム資料集	昭. 58. 11	B 5・ 72 p.
昭和58年度東北支部技術研究発表会講演概要	昭. 59. 3	B 5・361 p.
東北地方における昭和59年度公共事業計画についての講演概要集	昭. 59. 4	B 5・120 p.

(3) 関東支部

書名	発行年月	判型・ページ
シールド工法の現状と問題点	昭. 40. 7	—
舗装	昭. 41. 11	—
新しい工程管理	昭. 41. 11	—
現場技術者のための測定技術	昭. 41. 12	—
構造物の基礎	昭. 42. 10	—
新しい測定技術 一写真測量を中心とした一	昭. 42. 10	—
近代的管理手法の活用	昭. 42. 11	—
新しい橋梁施工技術	昭. 43. 11	—
シールド工法と沈埋工法	昭. 43. 11	—
土留工法	昭. 44. 12	—
土木構造物の新しい設計法	昭. 45. 12	—
最近の杭の話題	昭. 47. 2	—
最近の鋼材の話題	昭. 47. 9	—
軟弱地盤の設計と施工の問題点	昭. 48. 2	—
最近の建設機械の話題	昭. 48. 12	—
土木構造物の最近の諸問題	昭. 49. 8	—
最近における材料と施工法の話	昭. 50. 3	—
最近の都市土木における諸問題	昭. 50. 11	—
最近の施工管理に関する諸問題	昭. 52. 3	—
失敗例と対策による基礎工事の諸問題	昭. 52. 7	—
薬液注入工法	昭. 53. 6	—
機械土工の施工計画と問題点	昭. 53. 10	—
第6回年次研究発表会	昭. 54. 1	—
最近における耐震設計の諸問題	昭. 54. 11	—
第7回年次研究発表会	昭. 55. 1	—
首都圏における土地利用と交通に関する現状と問題	昭. 55. 11	—

書名	発行年月	判型・ページ
第8回年次研究発表会	昭. 56. 1	—
関東地方の土質と土木技術	昭. 56. 4	—
第9回年次研究発表会	昭. 57. 1	—

(4) 中部支部

書名	発行年月	判型・ページ
「水工学」技術講座	昭. 43. 8	—
昭和43年度第2回講習会 —土木工事の計画と管理—	昭. 44. 2	—
「高速道路(東名)の計画と施工」 講演概要	昭. 44. 6	—
土木学会中部支部講演概要 —高 瀬川筋電源開発構想, 長野大橋 恵那山飯田側補助トンネルにお ける R. T. M 試験工事—	昭. 44. 11	—
昭和44年度研究発表会講演概要集	昭. 45. 2	—
昭和45年度橋梁工学講座	昭. 45. 8	—
昭和46年度技術講座—衣浦港連絡 道路, 富士山大沢崩れの調査と 工事計画, 長良川河口堰, 名古 屋港コンテナ埠頭整備—	昭. 46. 8	—
昭和46年度研究発表会講演概要集	昭. 46. 11	—
昭和46年度講習会 —土木構造物の耐震と地震防災, ロス地震における道路橋とダム の破壊, 地すべりの型と対策, のり面の実態調査—	昭. 47. 2	—
昭和47年度技術講座 —土質工学講座—	昭. 47. 8	—
昭和47年度研究発表会講演概要集	昭. 48. 2	—
昭和48年度講演会講演集 —衣浦港沈埋トンネル工事—	昭. 48. 7	—
昭和48年度研究発表会講演概要集	昭. 49. 2	—
昭和49年度技術講習会テキスト —恵那山トンネルの計画・施工・ 管理等について—	昭. 49. 7	—
昭和49年度技術講座テキスト —水問題を考える—	昭. 49. 8	—
昭和49年度研究発表会講演概要集	昭. 50. 1	—
昭和50年度研究発表会講演概要集	昭. 51. 1	—
昭和50年度講習会テキスト —都市土木における環境対策—	昭. 51. 2	—
木曾三川治水水利の歴史	昭. 51. 3	—
昭和51年度技術講座テキスト —土木製図の書き方—	昭. 51. 8	—
昭和51年度講習会テキスト —環境予測と対策—	昭. 51. 11	—
昭和51年度研究発表会講演概要集	昭. 52. 1	—
昭和52年度研究発表会講演概要集	昭. 53. 1	—
土木学会中部支部四十年誌	昭. 53. 4	—
昭和53年度技術講座テキスト —機械土工の計画—	昭. 53. 11	—
昭和53年度研究発表会講演概要集	昭. 54. 2	—

書名	発行年月	判型・ページ
土木学会中部支部四十年誌続編	昭. 54. 3	—
中部における土木教育について	昭. 54. 4	—
昭和54年度研究発表会講演概要集	昭. 55. 1	—
昭和55年度技術講座テキスト —現場技術者のための総合測量—	昭. 55. 11	—
昭和55年度研究発表会講演概要集	昭. 56. 1	—
昭和56年度研究発表会講演概要集	昭. 57. 1	—
昭和57年度講習会テキスト —交通計画における最近の諸問 題—	昭. 57. 7	—
昭和57年度研究発表会講演概要集	昭. 58. 1	—
昭和58年度講習会テキスト —水工学における最近の知見—	昭. 58. 7	—
昭和58年度第1回技術講座テキ スト —廃棄物処理処分に関する 技術講座—	昭. 58. 12	—
昭和58年度研究発表会講演概要集	昭. 59. 1	—

(5) 関西支部

書名	発行年月	判型・ページ
土地収用法	昭. 6. 6	—
基礎工事	昭. 6. 6	—
土木用材総覧	昭. 10. 2	—
京阪神地方綜合水道計画	昭. 15. 10	—
講習会パンフレット I 土質工学	昭. 26. 11	—
〃 II 土質工学	昭. 26. 11	—
橋梁工学の最近の動向	昭. 29. 3	—
海岸工学研究発表会論文集	昭. 29. 11	—
道路舗装工学 附録第10回国際道 路会議 日本提出報告書(案)	昭. 30. 3	—
基礎工学	昭. 31. 3	—
衛生工学	昭. 32. 3	—
最近の海外土木技術	昭. 33. 3	—
創立三十周年記念 座談会記事	昭. 33. 9	—
最近の建設機械	昭. 33. 10	—
最近の交通問題とその対策	昭. 34. 3	—
オペレーションズリサーチの土木 工学への応用	昭. 34. 8	—
新しい衛生工学	昭. 34. 9	—
技術講座(施工法第2講)ダム工 事の施工計画について	昭. 34. 10	—
昭和34年度関西支部年次学術講 演会講演概要	昭. 34. 11	—
技術講座(構造工学第6講)塑性 設計法	昭. 34. 11	—
昭和34年度第2回講習会テキスト 橋梁工学の最近の諸問題	昭. 34. 11	—
技術講座(水工学第4講)	昭. 34. 12	—
日本水害史	昭. 35. 3	—
技術講座(水工学第5講) 浸透および透水に関する問題点	昭. 35. 3	—
昭和34年度講習会テキスト 道路工学	昭. 35. 3	—

書名	発行年月	判型・ページ
昭和35年度関西支部年次学術講演会講演概要	昭. 35. 11	—
技術講座(水工学第6講) 上下水の処理	昭. 35. 11	—
技術講座(水工学第6講) 上下水の処理(補)散水ろ過	昭. 35. 11	—
技術講座(土木計画学) 土木工事の経済的効果	昭. 36. 1	—
昭和35年度講習テキスト 高速 計算機の土木工学への応用	昭. 36. 2	—
昭和35年度講習テキスト 海岸工学の最近の進歩	昭. 36. 3	—
技術講座(構造工学) 薄肉土木構造物の理論と設計	昭. 36. 10	—
昭和36年度関西支部年次学術講演会講演概要	昭. 36. 11	—
昭和36年度講習会テキスト セメントコンクリート	昭. 36. 11	—
技術講座(防災工学)土木耐震設計	昭. 36. 12	—
技術講座3号粘土の力学	昭. 37. 1	—
昭和36年度講習会テキスト 溶接構造	昭. 37. 3	—
技術講座1号(測量学) 航空写真測量	昭. 37. 9	—
昭和37年度関西支部年次学術講演会講演概要	昭. 37. 11	—
昭和37年度講習会テキスト 都市環境衛生	昭. 37. 12	—
技術講座2号(水理学) 水面形計算法	昭. 38. 1	—
昭和37年度講習会テキスト 水資源	昭. 38. 2	—
第18回年次学術講演会概講演概要 I~IV(各1冊)	昭. 38. 5	—
技術講座1号(橋梁工学) 曲線橋の理論と設計	昭. 38. 9	—
昭和38年度関西支部年次学術講演会講演概要	昭. 38. 11	—
昭和38年度講習会テキスト 構造工学	昭. 38. 11	—
昭和38年度講習会テキスト 建設工事と高分子材料	昭. 39. 2	—
昭和38年度講習会テキスト 水理公式集の解説と例題	昭. 39. 3	—
昭和39年度関西支部年次学術講演会講演概要	昭. 39. 11	—
昭和39年度講習会テキスト 土質改良工法	昭. 40. 3	—
ニュータウン建設と市街地再開発 に関する講演会	昭. 40. 10	—
昭和40年度関西支部年次学術講演会講演概要	昭. 40. 11	—
シールド工法	昭. 41. 1	—
土木構造物の振動と安全性	昭. 41. 5	—

書名	発行年月	判型・ページ
昭和41年度関西支部年次学術講演会講演概要	昭. 41. 11	—
昭和41年度講習会テキスト プレストレストコンクリート 最近の進歩	昭. 41. 11	—
昭和41年度講習会テキスト 道路・交通工学における最近の 諸問題	昭. 41. 12	—
水理学・水文学における最近の進歩	昭. 42. 3	—
昭和42年度講習会テキスト 土木工学における動的現象の計 測とデータ処理	昭. 42. 6	—
昭和42年度関西支部年次学術講演会講演概要	昭. 42. 11	—
昭和42年度講習会テキスト 写真測量とその応用	昭. 42. 12	—
シールド法研究会資料 地下鉄シールドの問題点 シールド工事施工上の問題点	昭. 42. 2	—
騒音・振動公害	昭. 43. 3	—
昭和43年度関西支部年次学術講演会講演概要	昭. 43. 5	—
関西の土木100年 公害振動測定法(案)	昭. 43. 5 昭. 43. 9	— —
昭和43年度講習会テキスト 近畿開発と大型土木プロジェクト	昭. 43. 11	—
昭和43年度講習会テキスト 工事の安全対策	昭. 44. 2	—
昭和43年度講習会テキスト 工程管理(これからの工程管理 の考え方・ネットワーク手法の 計算および演習・工事事例)	昭. 44. 3	—
建設工事に伴う騒音、振動の調 査報告書	昭. 44. 3	—
昭和44年度関西支部年次学術講演会講演概要	昭. 44. 5	—
昭和44年度講習会テキスト 土木工事における土中水の扱い 方	昭. 44. 11	—
昭和44年度講習会テキスト 都市廃棄物の処理と処分	昭. 45. 3	—
昭和45年度講習会テキスト 物理探査の土木工事への応用	昭. 45. 4	—
昭和45年度関西支部年次学術講演会	昭. 45. 5	—
昭和45年度講習会テキスト 構造 物設計法の最近の進歩と問題点	昭. 46. 3	—
昭和46年度関西支部年次学術講演会講演概要	昭. 46. 5	—
講習会テキスト 最近の機械化施 工の趨勢と問題点	昭. 46. 12	—
昭和46年度講習会テキスト 騒 音・振動公害一測定と評価の問 題点とその動向一	昭. 47. 3	—
関西支部規定ならびに規程・規則	昭. 47. 5	—

書名	発行年月	判型・ページ	書名	発行年月	判型・ページ
等一昭和47年5月版一			支部だより No.8	昭.51.4	—
昭和47年度関西支部年次学術講演会 講演概要	昭.47.6	—	昭和51年度関西支部年次学術講演会 講演概要	昭.51.5	—
昭和47年度講習会テキスト	昭.47.6	—	昭和51年度講習会テキスト	昭.51.7	—
水工学におけるランダム事象と最適化に関する諸問題			総合交通システム計画のあり方—総合交通システム研究委員会報告—		
支部だより 創刊号	昭.47.12	—	昭和51年度講習会テキスト	昭.51.9	—
昭和47年度講習会テキスト	昭.48.3	—	騒音・振動に関する環境問題		
構造工学—長大橋梁の諸問題—			支部だより No.9	昭.51.10	—
関西支部規定ならびに規程・規則	昭.48.5	—	関西土木工事の概要(1976年度版)	昭.51.10	—
等一昭和48年5月版一			昭和51年度研修会テキスト 海岸	昭.51.11	—
支部だより No.2	昭.48.5	—	昭和51年度講習会テキスト	昭.52.1	—
昭和48年度関西支部年次学術講演会 講演概要	昭.48.6	—	構造物の基礎		
支部だより No.3	昭.48.11	—	昭和51年度施工技術報告会 講演概要	昭.52.2	—
昭和48年度講習会テキスト	昭.48.12	—	昭和52年度関西支部年次学術講演会 講演概要	昭.52.4	—
建設技術者のための有限要素法の基礎と応用			土木学会関西支部創立五十周年記念誌 一関西の土木最近10年の歩み—	昭.52.5	—
講習会テキスト 土と基礎の事故防止に関する諸問題	昭.49.3	—	支部だより No.10/11	昭.52.6	—
橋りょう,特に下部構造の健全度診断報告書	昭.49.3	—	支部創立50周年特集		
支部だより No.4	昭.49.4	—	昭和52年度講習会テキスト	昭.52.7	—
昭和49年度関西支部年次学術講演会 講演概要	昭.49.5	—	鉄筋コンクリート床版の損傷と疲労設計へのアプローチ—鉄筋コンクリート床版疲労設計委員会報告—		
昭和49年度講習会テキスト	昭.49.6	—	昭和52年度研修会テキスト	昭.52.8	—
騒音・振動公害—予測と対策の現状—			環境問題と住民参加—その実際と課題—		
昭和49年度講習会テキスト	昭.49.8	—	関西の土木工事の概要(1977年度版)	昭.52.10	—
橋りょう下部構造の健全度			土木学会昭和52年度全国大会部門別講演及び研究討論会資料(一般,第1.2.3.5部門)	昭.52.10	—
関西支部規定ならびに規程・規則等	昭.49.10	—	昭和52年度講習会テキスト	昭.52.12	—
支部だより No.5	昭.49.11	—	動態観測の活用—情報と施工—		
関西の土木工事(1974年版)	昭.49.11	—	昭和52年度施工技術報告会講演概要 主題「建設工事における公害防止技術」	昭.53.1	—
—主要工事の概要—			昭和52年度講習会テキスト	昭.53.2	—
昭和49年度研修会テキスト	昭.50.1	—	土木工事の事故・失敗例とその対策—橋梁上部工を中心として—		
河川の水理			支部だより No.12	昭.53.4	—
昭和49年度講習会テキスト	昭.50.3	—	昭和53年度関西支部年次学術講演会 講演概要	昭.53.5	—
防災—自然災害と防止対策の展望—			昭和53年度講習会テキスト	昭.53.7	—
支部だより No.6	昭.50.4	—	臨海埋立地盤の土質工学的諸問題—臨海埋立地盤の土質工学的諸問題に関する研究委員会研究報告—		
昭和50年度関西支部年次学術講演会	昭.50.4	—	支部だより No.13	昭.53.10	—
昭和50年度講習会テキスト	昭.50.7	—	昭年53年度講習会テキスト	昭.53.11	—
騒音・振動に関する環境問題入門					
関西の土木工事の概要(1975年度版)	昭.50.9	—			
支部だより No.7	昭.50.10	—			
昭和50年度講習会テキスト	昭.50.11	—			
都市域における水環境および都市水文に関する技術的問題—都市水文委員会研究報告—					
昭和50年度研修会資料	昭.51.1	—			
構造物の耐震設計					

書名	発行年月	判型・ページ
汚泥の処理と処分の最近の諸問題		
昭和53年度研修会テキスト	昭. 53. 11	—
構造物の自動設計		
昭和53年度講演会資料	昭. 53. 11	—
廃棄物問題—廃棄物問題調査研究委員会報告抜粋資料—		
昭和53年度講習会テキスト	昭. 53. 11	—
沿岸の開発・保全と環境アセスメント—特に環境影響の予測法について—		
関西の土木工事の概要（1978年度版）	昭. 53. 12	—
昭和53年度施工技術報告会講演概要 主題「建設工事における機械化施工の新技術」	昭. 54. 1	—
昭和53年度講習会テキスト	昭. 54. 2	—
舗装に関する最近の問題と新しい技術		
支部だより No. 14	昭. 54. 4	—
昭和54年度関西支部年次学術講演会 講演概要	昭. 54. 6	—
昭和54年度講習会テキスト	昭. 54. 7	—
都市施設計画の総合評価と住民参加		
—都市施設計画の総合評価研究委員会研究報告—		
昭和54年度講習会テキスト	昭. 54. 9	—
鋼構造の補剛設計法の理論と実際		
支部だより No. 15	昭. 54. 10	—
支部会員名簿（昭和54年度版）	昭. 54. 10	—
関西の土木工事の概要（1979年度版）	昭. 54. 12	—
昭和54年度研修会テキスト	昭. 55. 1	—
土構造物における安定解析の事例研究		
昭和54年度施工技術報告会講演概要 主題「建設工事における掘削技術」	昭. 55. 1	—
支部だより No. 16	昭. 55. 4	—
昭和55年度講習会テキスト	昭. 55. 5	—
関西における大規模交通実態調査		
昭和55年度関西支部年次学術講演会 講演概要	昭. 55. 6	—
昭和55年度講習会テキスト	昭. 55. 7	—
都市の耐震防災		
支部会員名簿（昭和55年度版）	昭. 55. 9	—
支部だより No. 17	昭. 55. 10	—
昭和55年度講習会テキスト	昭. 55. 10	—
橋梁工学—都市沿岸地帯における大規模橋梁の諸問題—		
昭和55年度研修会テキスト	昭. 55. 11	—
マイクロコンピュータの土木技		

書名	発行年月	判型・ページ
術への応用		
関西の土木工事の概要（1980年度版）	昭. 55. 12	—
昭和55年度施工技術報告会講演概要 主題「最近における新しい掘削技術」特に環境保全、安全対策など新しいニーズに対応して—	昭. 56. 1	—
支部だより No. 18	昭. 56. 4	—
昭和56年度講習会テキスト	昭. 56. 5	—
廃棄物の処理と再利用		
昭和56年度関西支部年次学術講演会 講演概要	昭. 56. 6	—
昭和56年度講習会テキスト	昭. 56. 7	—
水工学—水災害の予測と対策—		

(6) 中国四国支部

書名	発行年月	判型・ページ
昭和56年度講習会テキスト	昭. 56. 8	—
都市景観の事例研究		
支部会員名簿—昭和56年度版—	昭. 56. 9	—
昭和56年度講習会テキスト	昭. 56. 9	—
大阪湾沿岸における海洋環境変化の調査手法と問題点		
支部だより No. 19	昭. 56. 10	—
昭和56年度シンポジウム資料	昭. 56. 11	—
道路の維持管理		
昭和56年度施工技術報告会講演概要	昭. 57. 1	—
主題「建設工事における最近の環境保全、安全施工および公害防止の技術」		
支部だより No. 20	昭. 57. 4	—
関西支部規程ならびに規定・規則等	昭. 57. 5	—
昭和57年度関西支部年次学術講演会 講演概要	昭. 57. 6	—
土木技術者のためのデータ処理と確率統計マニュアル	昭. 57. 8	—
支部会員名簿—昭和57年度版—	昭. 57. 9	—
支部だより No. 21	昭. 57. 10	—
昭和57年度施工技術報告会講演概要	昭. 58. 1	—
主題「建設工事における近接施工の技術」		
既設の橋梁構造物およびその構成部材の健全度、耐久性の判定に関するシンポジウム論文集		
支部だより No. 22	昭. 58. 4	—
昭和58年度関西支部年次学術講演会 講演概要	昭. 58. 5	—
昭和58年度講習会テキスト	昭. 58. 7	—

書名	発行年月	判型・ページ
水資源システムの分析・計画・管理および保全に関する最近の技術		
支部だより No.23	昭. 58. 10	—
昭和58年度講習会テキスト	昭. 58. 10	—
建設事業等と埋蔵文化財		
昭和58年度講習会テキスト	昭. 58. 10	—
埋蔵文化財の取扱いに関するガイドブック(案)		
昭和58年度講習会テキスト	昭. 58. 10	—
埋蔵文化財の取扱いに関するガイドブック(案)資料編		
昭和58年度施工技術報告会講演概要	昭 59. 1	—
主題「最近における基礎の施工技術」		
最近の土木構造物の設計法		
1回目 最適構造設計の基礎と応用	昭. 53. 10	—
2回目 鋼構造物		
3回目 コンクリート構造物		
4回目 土構造物		
5回目 道路線形と交通事故		
トンネル(NATM工法)	昭. 58. 1	—
有限要素法の地盤・基礎工学, 耐震工学への応用	昭. 59. 2	—
山岳トンネルの施工技術	昭. 59. 3	—

(7) 西部支部

書名	発行年月	判型・ページ
昭和28年西日本水害調査報告書	昭. 32. 2	B5・589 p.
実用土質工学(土質工学実用講習会テキスト)	昭. 32. 2	B5・255 p.
新材料新工法発表会講演集(第2回)	昭. 38. 7	B5・88 p.
昭和56年度 衛生工学講習会テキスト	昭. 56. 8	B5 [1冊]
昭和57年度 衛生工学講習会テキスト	昭. 57. 8	B5 [1冊]
昭和58年度 衛生工学講習会テキスト	昭. 58. 8	B5・113 p.

7. 各種の行事一覧

7.1 全国大会および年次学術講演会

(1) 年次学術講演会

回	開催期日	場 所	一般講演数	参加数	その他の講演	回	開催期日	場 所	一般講演数	参加数	その他の講演
1	昭. 12. 4. 10~11	京 都 大 学	93	860		24	昭. 44. 9. 26~30	日本都市センターほか(東京)	598	2445	特別 3 題 部門 4 題
2	13. 7. 16~17	北海道大学	86	600		25	45. 11. 6~9	日本生命ほか(大阪)	785	3191	特別 3 題 合同部門 3 題
3	16. 10. 31~11. 1	九州大学	91	500		26	46. 10. 1~3	東北工業大学	849	3575	特別 3 題 各部門別 10 題
4	17. 10. 10~11	東北大学	49	500		27	47. 10. 20~22	九州大学	1026	3800	特別 3 題 各部門別 8 題
5	24. 5. 21~22	名古屋工業大学	107	500		28	48. 10. 1~3	北海道大学	1029	4100	特別 3 題 各部門別 7 題
6	25. 5. 27~28	東京大学	111	300		29	49. 10. 8~10	広島工業大学	1165	5350	特別 3 題 各部門別 8 題
7	26. 5. 26~27	大阪大学	147	600		30	50. 10. 16~18	名古屋工業大学	1253	5880	特別 3 題 各部門別 7 題
8	27. 5. 24~25	早稲田大学	111	250		31	51. 10. 8~10	東京工業大学	1286	6319	特別 3 題 各部門別 7 題
9	28. 5. 23~24	東北大学	143	420		32	52. 10. 14~16	神戸大学	1448	7127	特別 3 題 各部門別 10 題
10	29. 5. 29~30	早稲田大学	143	500		33	53. 9. 19~21	東北学院大学	1532	8354	特別 2 題 各部門別 7 題
11	30. 5. 28~29	福岡市電気ホール, 九州大学	183	600		34	54. 10. 16~18	九州大学	1386	6094	特別 3 題 各部門別 6 題
12	32. 6. 1~2	北海道大学	195	1500		35	55. 9. 13~15	北海道大学	1499	6760	特別 2 題 各部門別 7 題
13	33. 5. 24~25	早稲田大学	195	1500		36	56. 10. 6~8	広島大学	1667	7709	特別 2 題 各部門別 6 題
14	34. 6. 13~14	広島大学	235	1300		37	57. 10. 12~15	名古屋大学	1641	7707	特別 2 題 各部門別 7 題
15	35. 5. 28~29	早稲田大学	221	1500	総合 6 題	38	58. 9. 28~30	関東学院大学	1651	9633	特別 3 題 部門別 7 題
16	36. 5. 27~28	名古屋工業大学	172	1690	" 9 題						
17	37. 5. 27~28	早稲田大学	288	2200	" 7 題						
18	38. 5. 25~26	京都大学	347	1600	" 6 題						
19	39. 5. 30~31	東北大学	393	3500	" 5 題						
20	40. 5. 29~30	九州大学	452	2700	" 5 題						
21	41. 5. 28~29	北海道大学	606	2740	" 3 題						
22	42. 5. 27~28	広島大学	728	3230	" 3 題						
23	43. 10. 11~15	名古屋大学	779	3575	特別 3 題 部門 4 題						

(2) 年次学術講演会講演数

回	開催期日	講 演 数				
		I 部門	II 部門	III 部門	IV 部門	V 部門
30	昭. 50. 10. 16~18 (名工大)	309	322	244	186	192
31	51. 10. 8~10 (東工大)	321	325	259	196	185
32	52. 10. 14~16 (神戸大)	331	375	299	219	224
33	53. 9. 19~21 (東北学院大)	338	432	298	234	230
34	54. 10. 16~18 (九州大)	312	386	289	197	202
35	55. 9. 13~15 (北大)	352	418	293	211	225
36	56. 10. 6~8 (広島大)	371	438	382	205	271
37	57. 10. 12~15 (名工大)	393	441	325	199	283
38	58. 9. 28~30 (関東学院大)	433	429	321	192	271

(3) 全国大会特別講演

回	講演題目	講演者
30 (昭和50年)	公共事業の最近の諸問題について サルとヒトのあいだ	土木学会会長 尾之内由紀夫 京都大学 長瀬 類 研究所長 近藤 四郎
	正倉院三彩とガラスの話	名古屋大学 名誉教授 山崎 一郎
31 (51年)	学校における土木技術教育 お雇い外国人と日本の土木技術	土木学会会長 最上 武雄 東京大学 教授 松村 貞次郎 生産技術研究所
32 (52年)	電力の現状と土木技術の課題 言語と脳	土木学会会長 水越 達雄 神戸大学 学長 須田 勇
33 (53年)	鉄道の使命と運営について 東北の古代文化	土木学会会長 仁杉 巖 東北学院大学 教授 伊東 信雄
	最近の地震学から見た入力地震波の予測	東北大学 教授 鈴木 次郎
34 (54年)	コンクリート技術における省エネルギーおよび省資源 考古学上よりみた九州の古代文化	土木学会会長 國分 正胤 九州大学 教授 岡崎 敬
35 (55年)	高速道路と地域開発 流水のはなし	土木学会会長 高橋 国一郎 北海道大学 教授 田畑 忠司

回	講演題目	講演者
36 (56年)	日本の総合交通体系 古代シュメール文明のはなし	土木学会会長 八十島義之助 広島大学教授 吉川 守
37 (57年)	水力発電と海外技術協力 これからの日本経済	土木学会会長 野瀬 正 儀 名古屋大学教授 飯田 経夫

	講演題目	講演者
38 (58年)	鉄道高速化のゆくえ アメリカ合衆国における土木工事の失敗例と対策 歴史の中の自然	土木学会会長 高橋 浩二 ASCE 会長 ジョン・ウィードマン 作家 司馬 遼太郎

(4) 全国大会部門別講演および研究討論会

回	題 目	座長および話題提供者(司会者および講演者)
30 (昭和 50年)	鋼構造に関する展望(中部支部、鋼構造委員会) 写真情報の土木工学への利用(中部支部) 高炉スラグのコンクリート材料としての利用について (中部支部、コンクリート委員会) 自然環境の変化と土砂収支 (中部支部・水理委員会、海岸工学委員会) 土の変形問題の意義と解明への考察(中部支部) 新交通システムへの期待(中部支部) 会誌のあり方と明日の学会誌(会誌編集委員会)	司会者: 吉田 俊 弥(信州大教授) 講演者: 小西 一郎(京大名誉教授・中部工大教授) 奥村 敏 恵(東大名誉教授・埼玉大教授) 司会者: 佐々波 清 夫(国土地理院・中部地方測量部長) 講演者: 大嶋 太 市(法政大教授) 渡辺 貫太郎(東海大教授) 座長: 國分 正 胤(東大名誉教授・武蔵工大教授) 話題提供者: 小林 一 輔(東大助教授) 山崎 寛 司(日本セメント大阪工場長) 吉田 弥 智(名工大助教授) 座長: 足立 昭 平(名大教授) 話題提供者: 細井 正 延(名工大教授) 河村 三 郎(岐阜大助教授) 司会者: 西田 義 親(金沢大教授) 講演者: 村山 朔 郎(京大名誉教授・摂南大教授) 座長: 渡辺 新 三(名工大教授) 話題提供者: 佐佐木 綱(京大教授) 加藤 晃(岐阜大教授) 座長: 八十島 義之助(東大教授) 話題提供者: 長尾 義 三(京大教授) 横山 義 雄(大林組海外土木部工事課長) 高橋 裕(東大教授・会誌編集委員会)
31 (51年)	第10回国際構造工学会議での話題 確率統計水文学の展望(理論と適用例) フィルダムの堤体設計上の諸問題 土木事業と緑の創造 これからの土木教育を考える—カリキュラムを中心として—(大学土木教育委員会) 橋梁と景観	司会者: 前田 幸 雄(阪大教授) 講演者: 平井 敦(東大名誉教授) 國分 正 胤(東大名誉教授・武蔵工大教授) 伊藤 学(東大教授) 座長: 岸 力(北大教授) 話題提供者: 高橋 裕(東大教授) 室田 明(阪大教授) 日野 幹 雄(東工大教授) 高 棹 琢 馬(京大教授) 司会者: 浅川 美 利(日大教授) 講演者: 河上 房 義(東北大名誉教授・宮城高専校長) 座長: 鈴木 忠 義(東工大教授) 話題提供者: 新田 伸 三(九州芸工大教授) 齋木 三 郎(道路公団技術第二課長) 座長: 丹羽 義 次(京大教授・大学土木教育委員会委員長) 話題提供者: 田中 茂(神戸大教授) 森田 定 市(東海大教授) 菅原 操(国鉄外務部調査役) 座長: 田原 保 二(日大教授) 話題提供者: 柳 宗 理(柳工業デザイン研究所所長) 中村 良 夫(東工大助教授) 関 淳(首都高速道路公団)

回	題 目	座長および話題提供者 (司会者および講演者)
31 (51年)	コンクリート工学の現在と将来	司会者: 岩崎訓明 (東洋大教授) 水野高明 (九大名誉教授・間組顧問)
32 (52年)	都市の公共構造物の防災—地震対策—	座長: 小西一郎 (京大名譽教授・中部工大教授) 話題提供者: 佐藤俊一 (東京都再開発部長) 上野正樹 (大阪市防災計画課長) 加藤隆夫 (大阪市橋梁課長)
	豪雨に起因する大規模崩壊災害について—宮町の崩壊を中心として—	討論者: 栗林栄一 (建設省土研室長) 伯野元彦 (東大地震研助教授) 山田善一 (京大教授)
	第9回国際土質基礎工学会議報告	司会者: 松梨順三郎 (神戸大教授) 講演者: 田中茂 (神戸大教授)
	大阪湾上の新都市への期待—ポートアイランドと大阪南港計画—	司会者: 久野悟郎 (中央大教授) 講演者: 福岡正巳 (実行委員会委員長) 星埜和 (中央大教授) 村山朔郎 (京大名譽教授・摂南大教授)
	コンクリート船の将来	司会者: 天野光三 (京大教授) 講演者: 桜井与平 (大阪市港湾局南港開発部長) 中北保次 (神戸市開発局次長)
	本四架橋の現況について	司会者: 樋口芳朗 (東大教授) 講演者: 竹下三雄 (東大教授・船舶工学科)
	埋立計画にともなう海岸自然性状の事前調査手法について	司会者: 西村昭 (神戸大教授) 講演者: 下川浩資 (本四公団第一建設局長)
	埋立地盤の土質工学的諸問題	座長: 榎木亨 (大阪大教授) 話題提供者: 山口正隆 (愛媛大助教授) 堀江毅 (運輸省港湾技研室長) 野田英明 (鳥取大教授) 本浩司 (運輸省第三港建神戸調査設計次長)
	都市づくりと文化開発	座長: 柴田徹 (京大教授) 話題提供者: 三笠正人 (阪市大教授) 谷本喜一 (神戸大教授) 中瀬明男 (東工大教授) 佐々木信 (大阪市港湾局課長)
	コンクリート構造の設計指針—今後のあり方—	座長: 三輪利英 (大阪市総合計画局都市計画部長) 話題提供者: 里井達三良 (大阪空港ビル社長) 末次撰子 (評論家・読売テレビ参与) 山崎正和 (阪大教授・文学部)
33 (53年)	地震をめぐる最近の話題 1. 地震の前兆現象 2. 構造物の震害 3. 宮城県沖地震における都市型震災の特徴 4. シアン流出事故の経過とその影響 (東北支部、耐震工学委員会)	座長: 岡田清 (京大教授) 話題提供者: 河野通之 (小委員会副委員長) 岡村甫 (小委員会幹事長) 尾坂芳夫 (東北大教授)
	膨張コンクリートの現況と問題点—設計施工指針の作成に関して— (コンクリート委員会)	司会者: 伯野元彦 (東大助教授・地震研究所) 講演者: 平沢朋郎 (東北大教授・地震予知観測センター) 田村重四郎 (東大教授・生産技術研究所) 片山恒雄 (東大助教授・生産技術研究所) 兼子博吉 (静岡県・生活環境部)
	石油・液化ガス備蓄に関する土質工学上の問題 (土構造物および基礎委員会)	座長: 樋口芳朗 (東大教授) 話題提供者: 長瀧重義 (東工大助教授・分科会主査) 三宅信雄 (電気化学工業(株)・分科会委員)
	セメントモルタルのレオロジー (東北支部)	司会者: 稲田倍穂 (東海大教授) 講演者: 山口柏樹 (東工大教授) 榎戸源則 (東京瓦斯(株)技術企画室) 司会者: 後藤幸正 (東北大教授) 講演者: 梅屋薫 (東北大教授・工学部応用化学科)

回	題 目	座長および話題提供者(司会者および講演者)
33 (53年)	<p>橋梁の現場溶接(鋼構造委員会, 構造工学委員会)</p> <p>都市河川の管理(衛生工学委員会, 土木計画学研究委員会)</p> <p>近代土木技術の黎明期と土木技術(日本土木史研究委員会)</p>	<p>座 長: 倉 西 茂(東北大教授)</p> <p>話題 提供者: 田 島 二郎(本四公団)</p> <p>座 長: 松 本 順一郎(東北大教授)</p> <p>話題提供者: 狩 谷 貞二(東北大助教授)</p> <p>山 口 高 志(建設省土木研究所, 都市河川研究室長)</p> <p>加 藤 三 郎(環境庁)</p> <p>座 長: 高 橋 裕(東大教授)</p> <p>話題提供者: 村 松 貞次郎(東大教授・生産技術研究所)</p> <p>金 関 義 則(科学史家)</p>
34 (54年)	<p>土木と風</p> <p>1. 風工学の現状</p> <p>2. 風と環境</p> <p>3. 横風と交通</p> <p>4. 風と橋梁</p> <p>(構造工学委員会, 耐風設計研究小委員会)</p> <p>福岡渇水と水資源開発</p> <p>1. システム論的にみた水資源開発と渇水コントロール</p> <p>2. 全国水需給の見直しから見た北九州の事情</p> <p>3. 福岡渇水の概観と対応策(水資源問題懇談会)</p> <p>浮上鉄道について(西部支部)</p> <p>シラス地盤のトンネル工法</p> <p>1. シラス台地における導水トンネル工法</p> <p>2. シラス台地における国鉄トンネル工法</p> <p>3. 沖積シラス地盤における洞道工法(西部支部)</p> <p>九州自治州の構想</p> <p>1. 九州自治州の構想</p> <p>2. 定住構想の課題</p> <p>3. 九州における基幹施設の将来計画(土木計画学研究委員会)</p> <p>高性能減水剤の活用</p> <p>1. 高強度コンクリート設計施工指針</p> <p>2. コンクリートの高強度化</p> <p>3. 高性能減水剤の適用性(コンクリート委員会)</p>	<p>司 会 者: 白 石 成 人(京大教授)</p> <p>講 演 者: 伊 藤 学(東大教授)</p> <p>東 原 紘 道(埼玉大教授)</p> <p>市 原 薫(セントラルコンサルタント)</p> <p>成 田 信 之(建設省土木研究所)</p> <p>司 会 者: 高 橋 裕(東大教授)</p> <p>話題提供者: 池 淵 周一(京大防災研究所)</p> <p>和 気 三 郎(国土庁水資源局)</p> <p>若 松 基 夫(建設省九州地方建設局)</p> <p>司 会 者: 沼 田 実(九州大教授)</p> <p>講 演 者: 諸 岡 薫(国鉄下関工事局)</p> <p>座 長: 山 内 豊 聡(九州大教授)</p> <p>話題提供者: 歳 田 正 夫(建設省九州地方建設局)</p> <p>長 野 実(国鉄下関工事局)</p> <p>高 森 彬 文(電々公社九州電気通信局)</p> <p>座 長: 内 田 一 郎(九州大教授)</p> <p>話題提供者: 手 島 孝(九州大教授・法学部)</p> <p>兼 尾 雅 人(九州経済調査協会)</p> <p>佐 藤 幸 甫(建設省九州地方建設局)</p> <p>座 長: 徳 光 善 治(九州大教授)</p> <p>話題提供者: 小 林 一 輔(東大教授)</p> <p>渡 辺 明(九州工大教授)</p> <p>近 藤 時 夫(日本鉄道建設公団)</p>
35 (55年)	<p>溶接構造と疲労(鋼構造委員会)</p> <p>栽培漁場としての沿岸湖沼開発(北海道支部, 海岸工学委員会)</p> <p>土木計画における評価基準(土木計画学研究委員会)</p> <p>泥炭性地盤の地盤改良効果一予測と実際一(土構造物および基礎委員会, 北海道支部)</p>	<p>座 長: 田 島 二郎(埼玉大教授)</p> <p>話題提供者: 阿 部 英 彦(国鉄鉄道技術研究所)</p> <p>佐 伯 彰 一(建設省土木研究所)</p> <p>石 黒 隆 義(新日本製鉄製品技術研究所)</p> <p>三 木 千 寿(東大教授)</p> <p>座 長: 柏 村 正 和(北海道大教授)</p> <p>話題提供者: 菊 地 健 三(北海道栽培漁業振興公社)</p> <p>近 藤 椒 郎(室蘭工大教授)</p> <p>戸 卷 昭 三(苫小牧港管理組合)</p> <p>座 長: 長 尾 義 三(京大教授)</p> <p>話題提供者: 五十嵐 日出夫(北海道大教授)</p> <p>天 野 光 三(京大教授)</p> <p>八 十 島 義 之助(埼玉大教授)</p> <p>座 長: 河 野 文 弘(室蘭工大教授)</p> <p>話題提供者: 持 永 龍 一(日本道路公団)</p> <p>佐 々 木 晴 美(北海道開発局土木試験所)</p> <p>鎌 田 英 男(不動建設)</p>

回	題 目	座長および話題提供者(司会者および講演者)
35 (55年)	歴史的土木施設の再利用 (日本土木史研究委員会) コンクリート構造物の耐久性 (コンクリート委員会)	座 長:高 橋 裕 (東大教授) 話題提供者:三 浦 修 (小樽市) 大 熊 孝 (新潟大助教授) 遠 藤 明 久 (北海道工大教授) 座 長:小 林 正 几 (法政大教授) 話題提供者:太 田 利 隆 (北海道開発局土木試験所) 渡 辺 明 (九州工大教授) 柳 田 力 (セメント協会研究所)
36 (56年)	構造設計示方書における安全性照査の方法 (構造工学委員会) 河川環境の管理 (水理委員会・中国四国支部) 高性能減水剤によるコンクリートのワーカビリティの 向上(コンクリート委員会・中国四国支部) 軟弱地盤におけるサンドコンパクション工法および深 層混合工法の問題点(中国四国支部) 都市美と土木景観(土木計画学研究委員会) 年次学術講演会のあり方(行事企画委員会)	座 長:野 口 功 (国鉄) 話題提供者:伊 藤 学 (東大教授) 座 長:吉 川 秀 夫 (早稲田大教授) 中 西 弘 (山口大教授) 話題提供者:山 口 克 彦 (建設省中国地方建設局) 米 倉 二 郎 (広島大名誉教授) 座 長:船 越 稔 (広島大教授) 話題提供者:石 橋 忠 良 (国鉄構造物設計事務所) 河 野 清 (徳島大教授) 長 瀧 重 義 (東工大教授) 西 林 新 蔵 (鳥取大教授) 座 長:網 干 寿 夫 (広島大教授) 話題提供者:一 本 英 三 郎 (不動建設) 奥 村 樹 郎 (運輸省港湾技術研究所) 曾我部 隆 久 (運輸省第三港湾建設局) 中 村 龍 二 (運輸省港湾局) 座 長:天 野 光 三 (京大教授) 話題提供者:大 田 晋 (広島市) 中 村 良 夫 (東工大教授) 樋 口 忠 彦 (山梨大教授) 丸 茂 弘 幸 (広島大教授) 座 長:西 野 文 雄 (東大教授) 副 座 長:長 瀧 重 義 (東工大教授) 話題提供者:星 谷 勝 (武蔵工大教授)
37 (57年)	耐震設計とその背景—信頼性・確率性を含めて— (耐震工学委員会) 比較河川学(水理委員会) これからの土木教育を考える(大学土木教育委員会) 広域地盤沈下と地下水問題 (土構造物および基礎委員会・中部支部)	座 長:野 口 功 (国鉄) 話題提供者:栗 林 栄 一 (豊橋技術科学大教授) 伯 野 元 彦 (東大教授) 林 聰 (日建設計) 山 田 善 一 (京大教授) 座 長:室 田 明 (大阪大教授) 話題提供者:岸 力 (北海道大教授) 堀 博 (パシフィック・コンサルタント・ インターナショナル) 岩 佐 義 朗 (京大教授) 上 森 千 秋 (高知大教授) 村 上 直 人 (建設省) 座 長:堺 毅 (日大教授) 話題提供者:石 川 六 郎 (鹿島建設) 小 坂 忠 (建設省) 成 岡 昌 夫 (摂南大教授) 座 長:植 下 協 (名大教授) 話題提供者:桑 原 徹 (名城大教授)* 佐 藤 邦 明 (埼玉大教授)** 山 内 豊 聡 (九州大教授)*** * [濃尾平野の地盤沈下とその対策] ** [地盤沈下地域における地下水問題把握の仕方] *** [筑後・佐賀平野地域における広域地盤沈下]

回	題 目	座長および話題提供者(司会者および講演者)
37 (57年)	<p>コンクリート標準示方書の問題点 (コンクリート委員会)</p> <p>21世紀の伊勢湾地域 (土木計画学研究委員会・中部支部)</p> <p>論文報告集を中心とした定期刊行物のあり方 (定期刊行物に関する検討委員会)</p>	<p>座長:樋口芳朗(東大教授) 話題提供者:吉田弥智(工工大教授) 小柳 洽(岐阜大教授)</p> <p>座長:毛利正光(大阪大教授) 副座長:河上省吾(工工大教授) 話題提供者:岩本利彦(建設省) 川崎芳一(前国土庁・国際臨海開発センター)</p> <p>田上光大(愛知県) 座長:吉川和広(京大教授) 話題提供者:伊藤学(東大教授)</p>
38 (58年)	<p>土木学会の活動のあり方 —地方会員の視点をふまえて— (行事企画委員会)</p> <p>土木史と土木事業—横浜市の事例を中心として— (日本土木史研究委員会)</p> <p>コンクリート構造物の早期劣化をめぐる諸問題 (コンクリート委員会)</p> <p>土質工学における予測 (土質構造物および基礎委員会)</p> <p>21世紀の国土と国民生活 (土木計画学研究委員会)</p> <p>構造工学におけるパソコンの利用 (構造工学委員会)</p> <p>東京湾の利用と保全(海岸工学委員会)</p>	<p>座長:田辺忠顕(名大教授) 話題提供者:玉井信行(東大教授) 中川博次(京大教授)</p> <p>座長:新谷洋二(東大教授) 話題提供者:鶴見俊一(横浜市) 岡 並木(朝日新聞社) 宮村 忠(関東学院大助教授)</p> <p>座長:小林 一輔(東大教授) 話題提供者:小林明夫(国鉄) 蒔田 実(建設省) 中村修吾(日本道路公団)</p> <p>座長:宇野尚雄(岐阜大教授) 話題提供者:稲田倍穂(東海大教授)* 黒田勝彦(京大助教授)** 栗原則夫(日本道路公団)*** 渡辺 進(中央開発・元国鉄)***</p> <p>座長:毛利正光(大阪大教授) 話題提供者:佐藤昌之(横浜市) 長瀬要石(国土庁) 半田真理子(経済企画庁)</p> <p>座長:阿部英彦(国鉄) 話題提供者:太田 順(大林組) 川原陸人(中央大教授) 武田 洋(武田技術開発) 花村 義久(横河橋梁製作所)</p> <p>座長:堀口孝男(東京都立大教授) 話題提供者:金沢 寛(運輸省) 柴 鉄也(横浜市) 奥山育英(港湾技術研究所)</p>

(5) 全国大会における見学会

回	開催期日	コ ー ス	参加数
30	昭. 50.10.19	日本ライン下り, 明治村等	27
31	51.10.11	東京港海底トンネル, 川崎港海底トンネル等	80
32	52.10.17	A: 港コース B: 神戸市内六甲コース	37 37
33	53. 9.22 53. 9.22~23	Aコース 東北自動車道舗装工事 Bコース 青函トンネル工事	31 51
34	54.10.17,18 54.10.19~20	Aコース 海の中道海浜公園工事, 金印公園, 九州自動車道等 Bコース 福岡市地下鉄工事	121 79
35	55. 9.15 55. 9.16~17	Aコース 札幌新道, 北海道開拓記念館, 札幌地下鉄東西線延長工事等 Bコース 層雲峡, 大雪ダム, 石北峠, 美幌峠, 砂湯, 摩周湖, 阿寒湖等	40 41

回	開催期日	コース	参加数
36	昭. 56. 10. 9	Aコース 音戸大橋, 大三島橋, 因島大橋工事現場, 尾道大橋	60
		Bコース 太田川流域下水道西部浄化センター, 廿日市ニュータウン	28
37	57. 10. 15	Aコース トヨタ自動車工場, 長大斜張橋工事(名港西大橋)	45
		Bコース 新交通システム, 高速道路工事	33
38	58. 10. 1	Aコース 日本鋼管京浜製鉄所, 鶴見川大規模浚渫現場, 伊勢佐木モール	35
		Bコース ベイブリッジ(長大斜長橋), 横浜市営地下鉄等, 伊勢崎モール	46
		Cコース 横浜市下水処理場, 海上交通センター, 運輸省港湾技術研究所	38

(6) 全国大会における懇親会

回	開催期日	会場	参加数	回	開催期日	会場	参加数
30	昭. 50. 10. 16	名古屋市公会堂	350	35	昭. 55. 9. 13	サッポロビール園	410
31	51. 10. 8	東京工業大学	350	36	56. 10. 6	新八丁堀会館	430
32	52. 10. 14	神戸市東明閣	340	37	57. 10. 12	名古屋郵便貯金会館	500
33	53. 9. 19	仙台ホテル	410	38	58. 9. 28	ホテルホリデイ・イン横浜	460
34	54. 10. 16	西鉄グランドホテル	420				

7.2 講習会, 講演会, シンポジウム, 見学会等一覧

(1) 夏期講習会

回	開催期日	場所	題 目	講演数	参加数
1	昭. 23. 8. 16~21	東京大学	土木における災害と対策	不明	不明
2	24. 7. 25~27	〃	コンクリート標準仕方書	〃	400
3	24. 12. 19~21	〃	水 理 公 式 集	〃	300
4	25. 4. 16	〃	測 量	〃	400
5	25. 8. 24~26	〃	土 質 工 学	11	470
6	26. 8. 23~25	〃	コンクリートとダム, 橋梁	11	495
7	27. 8. 20~22	〃	建 設 機 械 化	6	516
8	28. 8. 26~28	〃	プレストレストコンクリートと構造力学	12	573
9	29. 8. 25~27	〃	新 材 料 と 新 工 法	6	575
10	30. 8. 17~19	〃	鋼橋仕方書とPC指針	11	586
11	31. 8. 22~24	〃	災 害 と そ の 対 策	14	401
12	32. 8. 28~29	早稲田大学	改訂水埋公式集, 海岸保全施設設計便覧, ダム基準	14	512
13	33. 8. 27~28	〃	新 し い 建 設 工 法	11	729
14	34. 8. 27~28	〃	トンネルと掘削工法	12	755
15	35. 8. 25~27	日本大学	最近の道路問題と高速道路	12	569
16	36. 8. 23~24	共済会館	昭和36年度改訂土木学会プレストレストコンクリート設計 施工指針・最近におけるプレストレストコンクリート	12	1064
17	37. 8. 30~31	厚生年金会館	最近の基礎工法	10	930
18	38. 8. 22~23	豊島公会堂	最近の水工学について一改訂水理公式集を中心にして一	14	626
19	39. 8. 27~28	〃	トンネル標準仕方書の制定と最近のトンネル工学	6	1600
20	40. 8. 26~27	〃	構造工学における最近の諸問題	12	870
21	41. 8. 25~26	杉並公会堂	土木工学における振動と耐震の諸問題	12	602
22	42. 8. 3~4	厚生年金会館ホール	コンクリート標準仕方書の改訂	12	1052
23	43. 8. 8~9	朝日生命ホール	建設技術者のための測定法	11	351
24	44. 8. 7~8	杉並公会堂	海岸保全施設と設計	8	453
25	45. 8. 20~21	〃	土木工事の積算	9	754
26	46. 9. 16~17	〃	土木技術者のための法律講座	13	375
27	47. 8. 30~31	厚生年金会館小ホール	市街地土木工事の仮設と安全対策	12	551
28	48. 9. 6~7	〃	基礎と地盤	10	598
29	49. 9. 12~13	九段会館ホール	コンクリート標準仕方書の改訂	16	1209
30	50. 8. 28~29	第一生命ホール	実務者のための工事管理	9	280
31	51. 9. 1~2	〃	地下構造物の設計と施工	11	329
32	52. 8. 23~24	〃	最近の河川・砂防計画	9	337

*32回(52年度)で夏期講習会は打ち切りとなったが, 行事企画委員会では, 他の行事を企画, 施行している。

(2) 土木計画学講習会

回	開催期日	場 所	題 目	講演数	参加人員
1	昭. 43. 8. 26~27	大阪科学技術センター(大阪)	土木計画学の手法について	6	141
	8. 29~30	土木図書館講堂(東京)	"	6	168
2	44. 8. 28~29	"	調査計画と計画手法	5	115
	9. 4~5	大阪科学技術センター(大阪)	"	5	106
3	45. 7. 24~25	土木図書館講堂(東京)	計画と管理の手法	6	204
	7. 31~8. 1	北海道建設会館(札幌)	"	6	162
4	46. 8. 19~20	土木図書館講堂(東京)	最適化手法とその土木計画への具体的な応用例	5	155
	8. 26~27	九州大学(福岡)	"	5	80
5	47. 9. 4~5	土木図書館講堂(東京)	費用便益分析の手法	6	141
	9. 11~12	大阪科学技術センター(大阪)	"	6	133
6	48. 8. 21~22	土木図書館講堂(東京)	施行の計画・管理に対する科学的接近	6	157
	8. 29~30	中区役所ホール(名古屋)	"	6	312
7	8. 30~31	中国電力総会場(広島)	"	6	203
	49. 9. 3~4	土木図書館講堂(東京)	土木計画における情報処理	8	114
8	9. 4~5	大阪科学技術センター(大阪)	"	8	83
	50. 9. 8~9	発明会館ホール(東京)	環境アセスメントと土木計画	8	304
9	51. 9. 9~10	"	土木事業における新しい分野の調査法	7	150
10	52. 9. 1~2	"	土木計画における人間・社会調査法の応用	8	130
11	53. 8. 31~9. 1	土木図書館講堂(東京)	環境対策と環境アセスメント	8	183
12	54. 8. 30~31	"	開発と生態系	9	174
13	56. 11. 4~6	"	交通需要予測とその手法	15	169
	56. 11. 9~11	好文クラブ(大阪)	"	15	125
14	58. 11. 17~18	土木図書館講堂(東京)	地方都市の計画	10	112

(3) 土木計画学シンポジウム

回	開催期日	場 所	題 目	講演数	参加数
1	昭. 42. 1. 31	土木図書館講堂	総論, 各論(土木計画手法, 総合計画, 産業開発と社会開発, 交通計画等)	19	230
2	42. 11. 21~22	銀座ガスホール	需要予測と計画目標設定の問題, ほか	11	250
3	44. 1. 28~29	土木図書館講堂	土木計画の考え方, ほか	10	150
4	45. 2. 7	"	システムフローとしての土木計画	1	157
5	46. 1. 29	"	土木計画の評価システム	1	156
6	47. 1. 25~26	"	同上(その2), 評価のための分析モデル	1	130
7	48. 1. 24~25	"	環境問題と土木計画学(土木計画における環境調査の方法)	1	213
8	49. 1. 24~25	"	" (環境ととらえ方と評価)	1	176
9	50. 1. 24~25	"	代替案評価の理論と実際	1	233
10	51. 1. 26~27	"	誕生10周年を迎えた"土木計画学"—土木計画原論を中心として—	9	166
11	52. 1. 27~28	"	意識反応と土木計画—環境のとらえ方と土木計画への組み込み—	12	169
12	53. 1. 24~25	"	土木施設のライフサイクル	16	146
13	54. 6. 6~7	"	土木計画学教育のあり方	8	70
14	55. 6. 12~13	"	土木計画・設計・施工に関する不確実問題	11	93
15	56. 7. 23~24	"	土木計画と情報	8	84
16	57. 7. 8~9	"	土木計画の実務と土木計画学	12	121
17	58. 6. 22~23	"	土木施設の維持・管理	12	128

(4) 高校土木科教職員を対象とする夏期講習会

回	開催期日	場 所	題 目	参加数
1	昭. 42. 8. 2~4	東京都	光弾性実験の原理と実際	87
2	43. 8. 2~4	京都市	光弾性実験の原理と実際	85
3	44. 8. 3~5	東京都	コンクリートの品質管理	102
4	45. 7. 28~30	広島市	最近の施工管理の傾向について	99

回	開催期日	場 所	題 目	参加数
5	昭. 46. 8. 2~ 4	東 京 都	工事計画と施工管理	124
6	47. 8. 2~ 4	大 阪 市	土木工事の積算について	83
7	48. 7. 30~8. 1	仙 台 市	土木工事の積算について	146
8	49. 8. 5~ 7	大 阪 市	最近の土質工学について	127
9	50. 8. 4~ 6	東 京 都	最近の土質調査とその適用について	80
10	51. 8. 3~ 5	岡 山 市	土木技術者のための工事管理	130
11	52. 8. 2~ 4	名 古 屋 市	新しい製図の書き方—これから必要とされる新しい視覚表現—	71
12	53. 8. 21~23	東 京 都	電磁波測距機を用いた測量および写真測量	60
13	54. 7. 31~8. 2	神 戸 市	写真測量およびモートセンシング	83
14	55. 7. 31~8. 2	神 戸 市	仮設構造物の計画と施工	42
15	56. 8. 3~ 5	東 京 都	土 質 試 験 法	67
16	57. 8. 17~18	神 戸 市	橋 梁 の 施 工	65
17	58. 8. 3~ 5	東 京 都	これからの土木技術—技術開発の展望—	68

●同上に伴う見学会

回	開催期日	コ ー ス	参加数
9	昭. 50. 8. 6	地下鉄谷町線延長工事地すべり対策	80
10	51. 8. 5	日本道路公団中国縦貫自動車道新見工事現場	45
11	52. 8. 4	名古屋大学計算センター、中日新聞社	35
12	53. 8. 23	国土地理院、パンフィック航業、アジア航測等	40
13	54. 7. 31~8. 2	京都大学大型計算センター等	40
14	55. 8. 2	神戸ポートアイランド博覧会等	30
16	56. 8. 5	国鉄上野地下駅工事現場等	30
17	57. 8. 18	本州四国連絡橋工事「大鳴門橋」	62
18	58. 8. 5	建設省、土木研究所、建築研究所、国立防災センター	50

(5) その他の講習会

開催期日	場 所	題 目	講演数	参加人員
昭. 40. 10. 18~19	発明会館ホール(東京)	耐震設計講習会	10	350
41. 6. 28	大和証券ホール(東京)	長径間吊橋の耐風設計に関する講習会	8	253
41. 11. 17~18	虎ノ門共済会館(東京)	土木技術者のための岩盤力学講習会	11	250
43. 7. 16	大和証券ホール(東京)	応答を考慮した長大橋の耐震設計に関する講習会	9	320
45. 12. 5	土木図書館講堂(東京)	鋼鉄道橋設計示方書改訂に伴う講習会	5	173
47. 2. 9~10	千代田公会堂(東京)	水理公式集改訂に伴う講習会	18	345
47. 2. 21~22	京都産業会館シルクホール(京都)	〃	18	341
47. 6. 27	発明会館ホール(東京)	ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針講習会	6	319
47. 11. 15	ヤマハホール(東京)	太径 PC 杭設計施工指針講習会	7	530
48. 2. 6~7	第一生命ホール(東京)	地震応答解析と実例講習会	15	439
48. 9. 13	ニッショーホール(東京)	海洋鋼構造物設計指針(案)解説講習会	8	324
49. 2. 18	土木図書館講堂(東京)	土木技術者のための下水道講習会	8	154
50. 3. 22	〃 〃	沿岸海洋開発の国際協力と交流の講習会	6	61
50. 5. 26~30	〃 〃	土木技術者のための数値解析法講習会	14	776
50. 7. 29~30	ニッショーホール(東京)	土木技術者のための岩盤力学	12	304
50. 9. 22~23	土木図書館講堂(東京)	構造力学公式集発刊記念講習会	9	117
50. 9. 25~26	日本生命中之島研修所(大阪)	〃	9	152
51. 2. 13	大阪科学技術センター(大阪)	講習会「海外建設工事成功の鍵をさぐる」	5	80
51. 3. 12	土木図書館講堂(東京)	〃	5	172
51. 6. 4	発明会館ホール(東京)	海洋構造物の設計(海上作業足場を例として)講習会	7	159
51. 7. 16	〃 〃	講習会「鉄筋コンクリート設計法の最近の動向	9	251
51. 10. 22	土木図書館講堂(東京)	「構造物の安全性・信頼性」講習会	9	160
51. 11. 8~9	大阪科学技術センター(大阪)	講習会「海外建設プロジェクトの進め方と成功へのポイント」	6	88
51. 11. 29~30	発明会館ホール(東京)	〃	6	147
52. 9. 20	〃 〃	土木技術者のためのダムの地質調査	5	348

開催期日	場 所	題 目	講演数	参加人員
昭. 53. 5. 16	土木図書館講堂(東京)	講習会「高炉スラブ砕石コンクリート設計施工指針案」	3	186
53. 5. 22	岡山ロイヤルホテルホール(岡山)	〃	3	130
53. 5. 23	神戸農業会館ホール(神戸)	〃	3	124
53. 5. 24	名古屋ターミナルホテルホール(名古屋)	〃	3	104
53. 5. 25	北九州小倉ビルホール(小倉)	〃	3	98
53. 6. 9	ニッショーホール(東京)	「鋼構造架設設計指針」講習会	8	476
54. 6. 26~29	土木図書館講堂(東京)	講習会「現場土木技術者のための仮設構造物の設計と施工」	15	109
54. 7. 10~13	大阪科学技術センター(大阪)	〃	15	111
54. 7. 20	第一生命ホール(東京)	プレストレストコンクリート標準示方書講習会	7	485
55. 5. 1~2	大阪科学技術センター(大阪)	最近におけるコンクリート工学の諸問題に関する講習会	8	303
55. 5. 8~9	日本生命札幌ビル(札幌)	〃	8	139
55. 5. 19~20	第一生命ホール(東京)	〃	8	560
55. 5. 23~24	福岡商工会議所(福岡)	〃	8	223
55. 6. 3	発明会館ホール(東京)	「地下貯油施設技術指針(案)」講習会	8	258
55. 6. 10	大阪科学技術センター(大阪)	〃	8	82
55. 6. 17~20	土木図書館講堂(東京)	講習会「現場土木技術者のための仮設構造物の計画と施工」	16	108
55. 10. 2~3	〃	講習会「建設プロジェクトの分析と評価」	6	79
56. 5. 8~9	〃	「環境データ収集とその解析」講習会	5	105
56. 5. 15~16	大阪科学技術センター(大阪)	〃	5	68
56. 8. 21~22	愛知県産業貿易館(名古屋)	「航空写真のみかた・利用のしかた」講習会	7	84
56. 8. 24~25	日本生命中之島研修所(大阪)	〃	7	120
56. 8. 26~27	全 共 連 ビル(東京)	〃	7	132
57. 3. 11~12	北海道建設会館(札幌)	〃	7	154
56. 9. 8~9	久 保 講 堂(東京)	講習会「土木工事の積算と実際」	11	290
56. 10. 16	第一生命ホール(東京)	講習会「コンクリート構造の限界状態設計法試案」	10	434
56. 11. 11	土木図書館講堂(東京)	自動作画の基礎技術」講習会	6	107
56. 11. 18	大阪科学技術センター(大阪)	〃	6	103
57. 7. 6	発明会館ホール(東京)	「美しい橋のデザインマニュアル」講習会	4	188
57. 7. 9	大阪科学技術センター(大阪)	〃	4	153
57. 11. 25	発明会館ホール(東京)	鉄筋継手の設計施工に関する講習会	7	176
57. 12. 15	大阪科学技術センター(大阪)	〃	7	133
58. 2. 22	発明会館ホール(東京)	鋼構造架設施工指針講習会	11	278
58. 4. 5	道 新 ホール(札幌)	鋼繊維補強コンクリート設計施工指針に関する講習会	7	78
58. 4. 11	発明会館ホール(東京)	〃	7	290
58. 4. 12	名古屋 AT ビル(名古屋)	〃	7	125
58. 4. 13	大阪科学技術センター(大阪)	〃	7	164
58. 4. 15	電 気 ビル(福岡)	〃	7	77
58. 4. 19	農業共済ビル(仙台)	〃	7	88
58. 10. 4	広島労働会館(広島)	〃	6	134
58. 10. 5	徳島郷土文化会館(徳島)	〃	6	170
58. 10. 7	金沢大学秀峰会館(金沢)	〃	6	43
58. 4. 27~28	土木図書館講堂(東京)	建設用ロボットに関する技術講習会	5	129
58. 7. 5	第一生命ホール(東京)	高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計施工指針(案)講習会	5	237
58. 7. 7	大阪科学技術センター(大阪)	〃	5	265
58. 7. 8	発明会館ホール(東京)	トンネルの地質調査と岩盤計測講習会	7	324
58. 10. 14	第一生命ホール(東京)	流動化コンクリート施工指針制定に伴う講習会	5	241
58. 10. 21	九 電 ビル(福岡)	〃	—	55
58. 10. 28	北海道経済センター(札幌)	〃	5	218
58. 11. 1	大阪科学技術センター(大阪)	〃	5	102
58. 12. 2~3	久 保 講 堂(東京)	コンクリート構造物の限界状態設計指針(案)講習会	7	412
58. 12. 13~14	大阪科学技術センター(大阪)	〃	7	128
58. 12. 16	発明会館ホール(東京)	原位置岩盤の変形およびせん断試験の指針—解説と設計への適用—講習会	11	275

(6) 海岸工学講演会

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	昭. 29. 11. 20~21	神戸市真珠会館	16	290
2	30. 11. 21~22	運輸省大講堂	19	200
3	31. 11. 21~22	神戸商工会議所	26	400
4	32. 11. 25~26	名古屋市名交会館	23	300
5	33. 11. 21~22	横浜市海員会館	25	291
6	34. 11. 6~7	新潟市大和デパート	22	240
7	35. 11. 10~12	大阪商工会館	34	300
8	36. 9. 14~15	札幌商工会館	35	200
9	37. 10. 16~17	都民ホール	31	150
10	38. 10. 22~23	大阪科学技術センター	32	400
11	39. 11. 25~26	大分農業会館	42	340
12	40. 11. 18~19	愛知県中小企業センター	39	230
13	41. 12. 5~6	宮城県民会館	32	280
14	42. 10. 19~20	神奈川県農業会館	51	320
15	43. 12. 5~6	福岡市民会館	57	240
16	44. 12. 11~12	大阪科学技術センター	55	230
17	45. 11. 26~28	新潟県民会館・新潟県建設会館	65	300
18	46. 10. 28~29	札幌自治会館	73	260
19	47. 11. 13~14	ニッショーホール・発明会館ホール	73	300
20	48. 11. 14~16	愛知県産業貿易会館 愛知県婦人文化会館	93	350
21	49. 11. 14~16	仙台市民会館	83	287
22	50. 11. 12~14	鳥取市福祉文化会館	97	350
23	51. 11. 10~12	福岡市民会館・消防会館	113	280
24	52. 11. 15~17	徳島県郷土文化会館	132	350
25	53. 11. 16~18	神奈川県立勤労会館	130	290
26	54. 11. 20~22	鹿児島県立産業会館	145	330
27	55. 11. 18~20	兵庫県民会館	116	350
28	56. 11. 17~19	高知商工会館	126	300
29	57. 10. 27~29	仙台市戦災復興記念館	130	340
30	58. 11. 9~11	室蘭プリンスホテル	133	300

●海岸工学シンポジウム

講演会	回	開催期日	場 所	テ ー マ	参加数
第18回	1	昭. 46. 10. 30	札幌自治会館	漂 砂	120
	19	2 47. 11. 15	土木図書館講堂	波と構造物	150
	20	3 48. 11. 16	愛知県産業貿易会館	海域汚染の調査と予測	180
	21	4 49. 11. 16	仙台市民会館	海岸侵食	100
	22	5 50. 11. 14	鳥取市福祉文化会館	河口閉塞	90
	23	6 51. 11. 12	福岡市民会館	波のランダム特性とその予測・応用	100
	24	7 52. 11. 17	徳島県郷土文化会館	海岸堤防防波機能の見直し	70
	25	8 53. 11. 18	神奈川県立勤労会館	海浜変形予測	290
	26	9 54. 11. 22	鹿児島県産業会館	海岸における現地観測と解析	100
	27	10 55. 11. 20	兵庫県民会館	長大棧橋を用いた海岸の現地観測の現状と将来	80
	28	11 56. 11. 19	高知商工会館	海岸工学の水産へのアプローチ	80
	29	12 57. 10. 29	仙台市戦災復興記念館	津波防災	60
	30	13 58. 11. 11	室蘭プリンスホテル	沿岸域における海洋エネルギー開発	120

●同上に伴う見学会

回	開催期日	コ ー ス	参加数
22	昭. 50. 11. 15	鳥取県海岸めぐり	26
23	—	なし	
24	52. 11. 17	本州四国連絡橋工事現場視察	35
25	53. 11. 18	山下本牧埠頭, 大黒-12 m 岸壁 川崎港海底トンネル千島町換気所	40
26	54. 11. 22	日石喜入基地	20
27	55. 11. 20	神戸港, 六甲アイランド, 東神戸フェリー埠頭	75
28	56. 11. 19	桂浜(海岸侵食防止工) 種崎(高知外洋港建設予定地)	60
29	57. 10. 30	東北電力(株)女川原子力発電所建設現場 港湾めぐり(宮浦港, 登別漁港, 苫小牧東港)	18
30	58. 11. 12		33

(7) 水理講演会

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	昭. 31. 5. 14~15	建設省土木研究所	22	不明
2	32. 5. 13	〃	14	90
3	33. 5. 22	国鉄本社	20	150
4	34. 6. 12	広島県庁講堂	20	130
5	35. 5. 27	早稲田大学	18	160
6	36. 5. 26	名古屋市名交会館	16	130
7	37. 10. 15	都民ホール	10	130
8	38. 10. 21	大阪科学技術センター	15	150
9	40. 2. 12~13	土木図書館講堂	15	150
10	41. 2. 18~19	〃	22	170
11	42. 2. 3~4	〃	15	200
12	43. 2. 9~10	発明会館	23	300
13	44. 2. 7~8	〃	21	250
14	45. 2. 13~14	〃	16	220
15	46. 2. 12~13	〃	9	220
16	47. 2. 18~19	〃	25	250
17	48. 2. 16~17	〃	19	240
18	49. 2. 15~16	〃	40	200
19	50. 2. 7~8	〃	33	230
20	51. 2. 6~7	〃	31	250
21	52. 2. 4~5	〃	37	300
22	53. 2. 8~9	〃	44	300
23	54. 2. 15~17	〃	60	300
24	55. 2. 7~9	〃	69	300
25	56. 2. 24~25	麴町会館	特 1 一般94	350
26	57. 2. 16~17	日本都市センター	102	350
27	58. 2. 8~9	中央大学理工学部講義室	124	350
28	59. 2. 9~10	〃	132	310

(8) 海外活動委員会講演会

回	期 日	会 場・講演題目	講演数	参加数
1	昭. 57. 6. 15	主婦会館 ザイール川のつり橋工事に参加して (村上 温)	1	28
2	57. 10. 1	土木図書館講堂 マレーシアの Bintul 港建設工事に 参加して (高力健二郎・上原泰正)	1	31
3	58. 2. 22	土木図書館講堂 経済協力による海外建設事情 (笹沼充弘)	1	53
4	58. 7. 6	土木図書館講堂 海外における建設技術者 (高田邦彦)	1	37

(9) 水工学夏期研修会

回	開催期日	場 所	コ ー ス 名	講演数	参加数
1	昭. 39. 7. 20~25	京都大学	Aコース ダム・河川	5	72
	39. 7. 27~8. 1		Bコース 海岸・港湾	3	42
2	40. 8. 2~ 7	北海道大学	Aコース ダム・河川	10	99
	40. 8. 9~14		Bコース 海岸・港湾	10	79
3	41. 8. 1~ 6	土木図書館講堂	Aコース ダム・河川	13	110
	41. 8. 8~13		Bコース 海岸・港湾	13	68
4	42. 7. 26~29	愛知県建設業会館	Aコース ダム・河川	6	125
	42. 7. 31~8. 3		Bコース 海岸・港湾	7	115
5	43. 7. 31~8. 3	九州大学	Aコース ダム・河川	8	86
	43. 8. 5~ 8		Bコース 海岸・港湾	7	143
6	45. 7. 29~8. 1	東北大学	Aコース ダム・河川	9	141
	45. 8. 3~ 6		Bコース 海岸・港湾	10	116
7	46. 7. 21~24	中国電力 総会室	Aコース ダム・河川	10	126
	46. 7. 26~29		Bコース 海岸・港湾	10	123
8	47. 7. 26~29	土木図書館講堂	Aコース ダム・河川	12	166
	47. 7. 31~8. 3		Bコース 海岸・港湾	10	161
9	48. 7. 25~28	大阪大学	Aコース ダム・河川	8	122
	48. 7. 30~8. 2		Bコース 海岸・港湾	10	117
10	49. 7. 31~8. 3	徳島大学	Aコース ダム・河川	11	152
	49. 8. 5~ 8		Bコース 海岸・港湾	11	112
11	50. 8. 20~23	北海道大学	Aコース ダム・河川	9	131
	"		Bコース 海岸・港湾	9	105
12	51. 7. 26~28	九州大学	Aコース ダム・河川	9	112

回	開催期日	場 所	コ ー ス 名	講演数	参加数
12	昭. 51. 7. 28~30	九州大学	Bコース 海岸・港湾	9	90
13	52. 7. 18~20	信州大学	Aコース ダム・河川	9	113
	52. 7. 21~23		Bコース 海岸・港湾	9	93
14	53. 7. 17~19	土木図書館講堂	Aコース ダム・河川	9	153
	53. 7. 20~22		Bコース 海岸・港湾	9	127
15	54. 7. 16~18	東北大学	Aコース ダム・河川	9	122
	54. 7. 19~21		Bコース 海岸・港湾	9	105
16	55. 7. 28~30	京都大学 会館	Aコース ダム・河川	9	120
	55. 7. 31~8. 2		Bコース 海岸・港湾	9	138
17	56. 7. 22~24	北海道大学	Aコース ダム・河川	10	124
	"		Bコース 海岸・港湾	9	103
18	57. 7. 26~28	岡山大学	Aコース ダム・河川	9	127
	57. 7. 29~31		Bコース 海岸・港湾	9	120
19	58. 7. 27~29	九州大学	Aコース ダム・河川	10	109
	"		Bコース 海岸・港湾	9	109

(10) 地震工学研究発表会

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	昭. 32. 9. 10~11	土木学会会議室	24	168
2	33. 9. 9~10	"	21	143
3	34. 9. 17~18	"	29	148
4	35. 11. 7~ 8	"	10	80
5	36. 10. 16~17	"	22	70
6	38. 10. 21~22	"	19	160
7	39. 10. 5~ 6	"	19	210
8	40. 10. 20~21	土木図書館講堂	23	210
9	42. 10. 25~26	"	28	110
10	44. 7. 15~16	"	32	200
11	46. 7. 20~21	"	36	240
12	47. 7. 18~19	"	33	210
13	49. 7. 16~17	"	40	210
14	51. 7. 13~14	"	54	178
15	54. 7. 19~20	"	68	270
16	56. 7. 15~17	"	87	358

注：講演数には特別講演数を含む。

(11) 土木計画学研究発表会

回	期 日	会 場	講演数	参加数
1	昭. 54. 1. 26~27	大 阪 大 学	34	108
2	55. 1. 31~2. 1	金沢大学秀峯会館	37	180
3	56. 1. 30~31	徳島県郷土文化会館	58	200
4	57. 1. 30~31	山 梨 大 学	70	423
5	58. 1. 28~29	岡山商工会議所	105	250
6	59. 1. 27~29	岐 阜 大 学	96	495

(12) トンネル工学に関するシンポジウム

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	昭.37. 6. 21	私学会館	6	515
*2	39. 8. 27~28	豊島公会堂	6	1600
3	41. 11. 29~30	私学会館	12	542
4	43. 6. 17~18	〃	15	502
5	44. 11. 26~27	社会文化会館	16	656
**6	45. 9. 14~16	東京文化会館	14 (内日本8) パネル討論1	日本人 605 外国人 48
7	48. 11. 29~30	ニッショーホ ール	12	400
8	52. 1. 17~18	〃	4	504

* 夏期講習会として開催

** 国際シンポジウムとして開催

(13) 岩盤力学に関するシンポジウム

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	昭. 37. 11. 29~30	電力中央研究所	12	不明
2	38. 11. 21~22	〃	13	250
3	40. 11. 15~16	土木図書館講堂	14	200
4	41. 11. 16	〃	12	130
5	44. 2. 27~28	〃	18	130
6	45. 2. 5~6	〃	18	180
7	47. 2. 24~25	〃	21	190
8	48. 2. 21~22	〃	19	140
9	50. 2. 19~20	〃	27	240
10	51. 2. 25~26	〃	24	180
11	53. 2. 23~24	〃	25	207
12	54. 2. 22~23	〃	26	230
13	55. 1. 14~15	〃	27	307
14	57. 2. 25~26	〃	39	250
15	58. 2. 17~18	〃	48	341
16	59. 2. 16~17	発明会館ホール	65	295

注：講演数には特別講演数を含む。

(14) 衛生工学研究討論会

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	昭. 39. 12. 5	日本都市センター	8	120
2	40. 11. 7	京都大学電気総合会館ホ ール	11	200
3	41. 11. 22	土木図書館講堂	13	150
4	42. 9. 2~3	北海道大学	21	130
5	44. 1. 31~2. 1	土木図書館講堂	19	200
6	45. 1. 30~31	〃	16	200
7	46. 1. 30~31	九州大学	16	100
8	47. 1. 28~29	土木図書館講堂	13	180
9	48. 1. 29~30	東北大学	25	200
10	49. 1. 28~29	土木図書館講堂	19	250
11	50. 1. 27~28	大阪科学技術センター	17	200
12	51. 1. 30~31	発明会館ホール	24	275
13	52. 1. 28~29	北海道大学クラーク記念 会館講堂	29	221

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
14	昭. 53. 1. 28~29	発明会館ホール	20	225
15	54. 1. 26~27	宮崎県立図書館ホール	29	154
16	55. 1. 25~26	発明会館ホール	25	262
17	56. 1. 30~31	山梨大学工学部講義室	24	205
18	57. 1. 29~30	北海道大学クラーク記念 会館講堂	35	170
19	58. 1. 28~29	土木図書館講堂	24	222
20	59. 1. 27~28	東北学院大学記念館	23	196

注：講演数には特別講演数も含まれている。

(15) 海洋開発シンポジウム

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	昭. 45. 4. 18	土木図書館講堂	5	200
2	46. 4. 17	〃	5	150
3	47. 5. 20	〃	7	220
4	48. 5. 12	〃	10	150
5	49. 6. 15	〃	9	150
6	50. 9. 12	〃	9	100
7	51. 9. 18	〃	11	120
8	52. 9. 9	〃	11	90
9	53. 9. 30	〃	6	60

(16) 環境問題シンポジウム

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	昭. 48. 12. 3~4	土木図書館講堂	12	130
2	49. 8. 29~30	〃	9	130
3	50. 8. 22~23	〃	19	180
4	51. 8. 30~31	〃	19	260
5	52. 8. 30~31	〃	16	285
6	53. 8. 28~29	〃	17	233
7	54. 8. 24~25	〃	22	198
8	55. 8. 22~23	〃	22	200
9	56. 8. 25~26	〃	22	174
10	57. 8. 24~25	〃	21	94
11	58. 8. 23~24	〃	24	176

●環境問題ワークショップ

回	開催期日	場 所	講演数	参加数
1	昭. 55. 8. 21	土木図書館講堂	6	50
2	56. 8. 24	〃	4	75
3	57. 8. 23	〃	5	70
4	58. 8. 22	〃	5	67

(17) 日本土木史シンポジウム・研究発表会

回	期 日	会 場	題 目	講 演 数	参 加 数
(シンポジウム)					
1	昭. 51. 11. 30	土 木 図 書 館 講 堂	近代土木技術の黎明期を探る その1, 古市公威	4	60
2	52. 4. 22~23	京 都 大 学	近代土木技術の黎明期を探る その2, 田辺翔郎 (琵琶湖疏水等の見学会を含む)	6	120
3	52. 11. 15~16	大阪科学技術センター	近代土木技術の開花期と沖野忠雄 (淀川等の見学会を含む)	4	93
4	53. 5. 22~23	日本生命会議室(札幌)	北海道開拓の歩みと土木技術—その源流・広井勇— (小樽港等の見学会を含む)	4	90
5	54. 5. 25	土 木 図 書 館 講 堂	明治の鉄道—その役割と発展過程を探る—	4	111
6	55. 1. 29	”	土木史学の成立を目指して	6	70
(研究発表会)					
1	56. 6. 26~27	土 木 図 書 館 講 堂	—	23	180
2	57. 6. 25~26	”	—	24	80
3	58. 6. 24~25	”	—	24 ワークショップ 2	82

(18) 電算機利用に関するシンポジウム

回	期 日	会 場	講 演 数	参 加 数
1	昭. 51. 11. 4~5	土木図書館講堂	44	271
2	52. 11. 1~2	発明会館ホール	33	263
3	53. 11. 9~10	土木図書館講堂	31	253
4	54. 11. 6~7	”	29	225
5	55. 10. 30~31	”	28	247
6	56. 10. 29~30	”	26	248
7	57. 10. 28~29	”	32	248
8	58. 10. 27~28	”	26	289

注：講演数には特別講演数を含む。

(19) その他の行事

開催期日	会 場	行 事 名	参加数
昭. 51. 11. 13	ヤマハホール	第7回土木学会映画コンクール入賞作品発表会	250
53. 11. 18	”	第8回土木学会映画コンクール入賞作品発表会	420
55. 11. 22	発明会館	第9回土木学会映画コンクール入賞作品発表会	250
56. 6. 25 ~27	土木図書館	戦前土木名著100選展示会	140
56. 10. 6 ~8	広島大学	”	240
57. 10. 30	発明会館	第10回土木学会映画コンクール入賞作品発表会	100
58. 3. 18	土木図書館 講堂	フレッシュコンクリートの 物性値の測定ならびに挙動 に関するシンポジウム	13題 (144)
58. 8. 8	”	日本海中部地震に関する報告会	5題 (276)

(20) その他の見学会

開催期日	行 事 名	見 学 場 所	参加数
昭. 53. 5. 16	講習会「高炉スラグ砕 石コンクリート設計施 工指針案」	日本鋼管(株) 京浜製鉄所	112
53. 5. 22	”	川崎製鉄(株) 水島製鉄所	74
53. 5. 23	”	(株)神戸製鋼所 神戸製鉄所	76
53. 5. 24	”	新日本製鉄(株) 名古屋製鉄所	64
53. 5. 25	”	新日本製鉄(株) 八幡製鉄所	53
56. 5. 9	「環境データ収集とそ の解析」講習会	埼玉県下水道公 社荒川左岸	50
56. 5. 16	「環境データ収集とそ の解析」講習会	大阪府水道部村 野浄水場	27
56. 8. 28	「航空写真のみかた・ 利用のしかた」講習会	宇宙開発事業団 地球観測センタ ー気象庁気象衛 星センター	86

* 委員会主催の委員による見学会は除く。

(21) 土木技術者のための海外研修旅行一覧表

回数	期 日	団 長	参加人数	費 用	視 察 先 (主な視察)
1	昭和49年 10月6日(日)～ 10月20日(日) (15日間)	森 茂 (ヨーロッパ)	29名 (内女性 2名)	520 000 (会 員) 550 000 (非会員)	ライン川の橋梁、ゾイデル海干拓計画およびデルタ計画、ユーロポート計画、イギリス国立水理研究所、イギリス土木学会、ラングドック・ルシヨンおよび海洋レクリエーション計画、ほか
2	昭和50年 5月26日(月)～ 6月8日(日) (14日間)	渡 辺 新 三 (北アメリカ)	27名 (内女性 2名)	500 000 (会 員) 530 000 (非会員)	ライオンズ・ゲート橋、タコマ橋、マントレーニア国立公園、ボンネビルダム、パークレイ耐震研究所、BART、サンフランシスコの橋梁群、ヨセミテ国立公園、サンオノフレ原子力発電所、ハワイ大学ルック研究所、ほか
3	昭和50年 10月5日(日)～ 10月17日(金) (13日間)	岩 佐 義 朗 (ソビエト連邦)	25名	350 000 (会 員) 380 000 (非会員)	モスクワ建設大学、ソ連知識人同盟事務局、モスクワ都市計画および地下鉄、連邦水工学研究所、ノボシビルスク学園都市、プラーツク水力発電所、バイカル湖沼研究所、ほか
4	昭和51年 3月14日(日)～ 3月20日(土) (7日間)	安 芸 峻 一 (東南アジア)	21名 (内女性 1名)	200 000 (会 員) 215 000 (非会員)	ジュロン工業団地、ジョホール水道の橋梁およびクイーンズタウン団地、アジア工科大学、プロババ貯水池および九竜～香港島間のトンネル、ほか
5	昭和51年 11月5日(月)～ 11月18日(金) (14日間)	千 秋 信 一 (ヨーロッパ)	26名	600 000 (会 員) 630 000 (非会員)	ケーブル橋、シュプロイヤー橋、登山電車、グランドディクサン・ダムおよびモーボワサン・ダム、シャルル・トゴール空港、ランス潮力発電所、モンサンミッシェル、フランス電力庁およびシャトウ研究所、ラルデロ地熱発電所およびENELイタリア電力公社、ほか
6	昭和52年 6月7日(火)～ 6月20日(月) (14日間)	川 越 達 雄 (中 近 東)	22名	620 000 (会 員) 650 000 (非会員)	バクダット・ノースブリッジおよびノースゲートブリッジ、バスラ運河道路・鉄道橋、バビロニア遺跡、ピラミッドおよびスエズ運河工事、バンケン浄水場建設、ケッペルドッグ工事、香港地下鉄、ほか
7	昭和53年 8月20日(日)～ 9月2日(土) (14日間)	八十島 義之助 (アメリカ)	35名	600 000 (会 員) 630 000 (非会員)	BART、サンフランシスコ橋梁群、ニューリバー・コージ橋、ブループレインズ下水処理場および地下鉄、コロンビアニュータウンおよびチェサピーク湾橋、アメリカ土木学会および地下鉄、インディアンポイント原子力発電所、ほか
8	昭和54年 6月23日(土)～ 7月7日(土) (15日間)	天 野 光 三 (ヨーロッパ)	28名	600 000 (会 員) 630 000 (非会員)	ボンビドー文化センター、レ・アール都市開発およびパリの地下鉄、アザンソン市都市計画、パリ～リヨン間新幹線工事、マルセイユ港湾計画、リスボン土木研究所、サラザール橋、ハンパー橋工事、ほか
9	昭和55年 8月20日(水)～ 9月2日(火) (14日間)	浅 川 美 利 (アメリカ)	29名	720 000 (会 員) 770 000 (非会員)	サンフランシスコの橋梁群、BART、アーバン・ダム、アイゼンハワー・メモリアル・トンネル工事、ニューヨークの橋梁群および再都市開発、MARTA新交通システム、ミシシッピー・リバー橋、Central Arizona Project、グランドキャニオンおよびフーバーダム、ほか
10	昭和56年 10月5日(月)～ 10月18日(日) (14日間)	田 島 二 郎 (オーストラリア)	22名 (内女性 1名)	770 000 (会 員) 800 000 (非会員)	スノウィー・マウンテン総合開発計画、キャンベラ都市計画、CSIRO研究所およびメルボルンの橋梁群、タスマニア島の橋梁群、ホバートの橋梁群、シドニーの橋梁群、ワイラケイ地熱発電所、Huntly火力発電所、オーストラリアの橋梁群、ほか
11	昭和57年 8月23日(月)～ 9月5日(日) (14日間)	中 川 博 次 (アメリカ)	18名	800 000 (会 員) 850 000 (非会員)	ニューヨークの橋梁群およびアメリカ土木学会、ボストン都市再開発計画およびマサチューセッツ工科大学、ウッズ海洋研究所およびケーアコード・カナル、フーバーダムおよびサザン・ネヴァダ・ウォータープロジェクト、サンフランシスコ下水道整備工事、ほか
12	昭和58年 10月22日(土)～ 11月5日(土) (15日間)	高 橋 裕 (ヨーロッパ)	21名	570 000 (会 員) 620 000 (非会員)	ルードウィヒヒス・ハーフェンの水処理場、ライン川の橋梁、ライン川国際委員会および連邦水質保全研究所、ラ・デファンヌ新都市計画、ローヌ川開発公社、イギリス土木学会、チームズ川管理庁、チームズ川視察、ほか

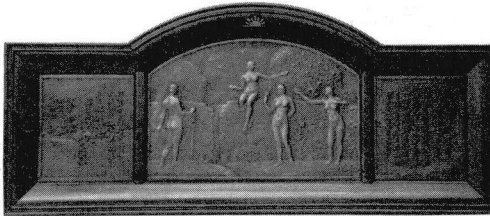
回数	期 日	団 長	参加人数	費 用	視 察 先 (主な視察)
13	昭和59年 10月7日(日)～ 10月21日(日) (計画中)	服 部 昌太郎 (ア メ リ カ)		760 000 (会 員) 790 000 (非会員)	上・下水道処理場, 国際河川博覧会およびミシシッピー・リバー橋, NASAおよび off-shore Platform Fabbication Yard, スクリップス海洋研究所およびミッションベイマリーナ, ヒロ市都市計画, ほかを計画中

7.3 その他の参考資料

(1) 朝日賞受賞者

昭和16年度	関門鉄道隧道の貫通工事	釘 宮 磐 有 馬 宏 加 納 俣 二 久保田 豊 佐 藤 時 彦 玉 置 正 治
同	水豊堰堤の建設	田 淵 寿 郎 野 瀬 正 儀*
36年	名古屋市の都市計画を実施した功績	島 秀 雄*
37年	黒部川第四発電所の建設	金 井 清
39年	国鉄新幹線を開発した技術グループ	
51年	地震動特性の耐震設計への応用に関する研究	

* 代表受賞者



(関門隧道の貫通に対するもの, 国鉄下関工事事務局蔵)
写真 5.1 朝日賞賞牌

(2) 東レ科学技術賞受賞者

昭和47年度	写真測量の応用開発に関する研究	丸 安 隆 和
--------	-----------------	---------

(3) 藤原賞受賞者

昭和57年度	土木耐震学の研究	岡 本 舜 三
--------	----------	---------

注*: 賞金のうち500万円を土木学会耐震工学委員会に寄附

(4) 毎日出版文化賞受賞者

昭和27年度	日本の資源問題(古今書院)	安 芸 皎 一
昭和49年度	日本の衛星写真(朝倉書店)	丸 安 隆 和 土 屋 清 中 島 巖 渡 辺 貫太郎

(5) 最近10年間の叙勲者

●勲一等瑞宝章

昭和49年春	久 保 田 豊・鈴木 雅 次・原 口 忠次郎*
49年秋	藤 井 松太郎
51年春	富 樫 凱 一
52年春	江 藤 智*
55年秋	岩 本 常 次
59年春	山 内 一 郎・山 本 三 郎
59年6月	米 田 正 文*

●勲二等旭日重光章

昭和53年秋	石 原 藤次郎*
55年春	瀧 山 養
56年春	水 野 高 明
58年春	山 田 伴次郎
58年秋	村 山 朔 郎・山 田 正 男
59年春	岡 本 舜 三・河 上 房 義・谷 藤 正 三

●勲二等瑞宝章

昭和50年秋	西 畑 正 倫
51年春	結 城 朝 恭
52年秋	佐 藤 寛 政
54年春	猪 瀬 寧 雄*・今 岡 鶴 吉
54年秋	高 野 務*
55年春	四野宮 哲 郎
55年秋	板 倉 忠 三・近 藤 繁 人
56年秋	野 瀬 正 儀
57年春	最 上 武 雄・横 道 英 雄
57年秋	篠 原 謹 爾・平 井 敦
58年秋	中 安 米 蔵・寺 島 重 雄・彦 坂 良 次
	比 田 正・森 島 宗太郎
59年春	佐 藤 肇・畑 谷 正 実

* 故人 出典: 土木学会誌ニュース欄

(6) 大臣、公社公団総裁、理事長等経験者

松本 莊一郎	明治 26 年	逓信省鉄道庁長官
	明治 30 年	〃 鉄道作業局長官
古市 公威	明治 36 年	〃 〃
平井 晴二郎	明治 37 年	〃 〃
	明治 40 年	〃 帝国鉄道庁総裁
仙石 貢	大正 3 年	鉄道院総裁
	大正 13 年	鉄道大臣
	昭和 4 年	南満洲鉄道(株) 総裁
野村 龍太郎	大正 2 年	〃
国沢 新兵衛	大正 6 年	〃 理事長
八田 嘉明	昭和 13 年	拓務大臣
	昭和 14 年	商工兼拓務大臣
	昭和 16 年	鉄道大臣
	昭和 18 年	運輸通信大臣
大西 英一	昭和 22 ~ 26 年	日本発送電(株) 総裁
内海 清温	昭和 31 ~ 33 年	電源開発(株) 総裁
小沢 久太郎	昭和 38 年	郵政大臣
富樫 凱一	昭和 41 ~ 45 年	日本道路公団総裁
堀 威夫	昭和 42 ~ 50 年	阪神外貨埠頭公団理事長
富樫 凱一	昭和 45 ~ 51 年	本州四国連絡橋公団総裁
篠原 武司	昭和 45 ~ 54 年	日本鉄道建設公団総裁
藤井 松太郎	昭和 48 ~ 50 年	日本国有鉄道総裁
江藤 智	昭和 49 年	運輸大臣
山本 三郎	昭和 49 ~ 57 年	水資源開発公団総裁
尾之内 由紀夫	昭和 51 ~ 57 年	本州四国連絡橋公団総裁
山田 正男	昭和 52 ~ 56 年	首都高速道路公団理事長
高橋 国一郎	昭和 53 年 ~	日本道路公団総裁
仁杉 巖	昭和 54 ~ 58 年	日本鉄道建設公団総裁
山内 一郎	昭和 55 年	郵政大臣
久保 赳	昭和 55 ~ 59 年	日本下水道事業団理事長
菊池 三男	昭和 56 ~ 59 年	首都高速道路公団理事長
梶木 又三	昭和 57 年	環境庁長官
望月 邦夫	昭和 57 年	水資源開発公団総裁
上田 稔	昭和 58 年	環境庁長官
吉田 登	昭和 58 年 ~	動力炉・核燃料開発事業団理事長
仁杉 巖	昭和 58 年 ~	日本国有鉄道総裁
内田 隆滋	昭和 58 年 ~	日本鉄道建設公団総裁
浅井 新一郎	昭和 59 年 ~	首都高速道路公団理事長

(7) 知事、政令指定都市首長

長野県知事	杉山 宗次郎	昭和 21 ~ 26 年
秋田県知事	池田 徳治	26 ~ 30 年
北海道知事	常垣内 尚弘	46 ~ 58 年
名古屋市長	杉戸 清	36 ~ 48 年
神戸市長	原口 忠次郎	24 ~ 44 年
川崎市長	伊藤 三郎	46 ~

(8) 土木系現職国会議員

●衆議院議員

* 本会会員

今井 勇*	愛媛 3 区・当 5
梶木 静六	茨城 2 区・当 5
近藤 元治	新潟 1 区・当 3
桜井 新	新潟 3 区・当 2
田原 隆	大分 2 区・3 当
宮崎 茂一	鹿児島 1 区・当 5

●参議院議員

井上 孝*	全国 B・当 1
岩本 政光*	北海道 B・当 1
上田 稔*	京都 B・当 4 環境庁長官
江島 淳*	山口 B・当 1
岡部 三郎	全国 B・当 1
梶木 又三*	全国 A・当 2 環境庁長官
古賀 雷四郎*	全国 A・当 3
坂野 重信*	全国 B・当 2
増岡 康治*	比例 A・当 2
山内 一郎*	福井 A・当 4 郵政大臣
吉村 真事*	比例 A・当 1

注：A の任意は 1989 年 7 月 9 日 B の任意は 1986 年 7 月 7 日

(9) 国立大学学長

学校名	氏名	任期
室蘭工大	井口 鹿蔵	昭和 24 ~ 31 年
	大坪 喜久太郎	35 ~ 42 年
九大	水野 高明	42 ~ 44 年
	森島 宗太郎	45 ~ 47 年
宇都宮大	山田 伴次郎	49 ~ 53 年
	岡本 舜三	49 ~ 55 年
埼玉大	黒木 剛四郎	57 ~
北見工大	林 正道	59 ~

(10) 旧高工、工専校長

熊本高工	川口 虎雄	明治 44 ~ 大正 9 年
	三浦 鍋太郎	大正 9 ~ 昭和 7 年
	遠藤 金市	昭和 7 ~ 昭和 13 年
徳島高工	小溝 茂橋	大正 11 ~ 昭和 7 年
	松本 岩太郎	昭和 7 ~ 昭和 16 年
	北沢 忠男	昭和 16 ~ 昭和 18 年
金沢高工	青戸 信賢	大正 9 ~ 昭和 16 年
	森 慶三郎	昭和 16 ~ 昭和 18 年
仙台高工	鶴見 一之	昭和 9 ~ 昭和 20 年
	内田 泰郎	昭和 24 ~ 昭和 26 年
室蘭高工	吉町 太郎一	昭和 14 ~ 昭和 18 年
	井口 鹿蔵	昭和 23 ~ 昭和 24 年
都島工専	平野 正雄	昭和 18 ~ 昭和 26 年

(11) 高専校長

神戸市立高専	近藤 泰夫	昭和 38 ~ 昭和 46 年
	山崎 博	昭和 46 ~ 昭和 51 年
大分高専	松尾 春雄	昭和 38 ~ 昭和 49 年
	真井 耕象	昭和 39 ~ 昭和 46 年
苫小牧高専	沢井 八洲男	昭和 39 ~ 昭和 47 年
	近藤 繁人	昭和 47 ~ 昭和 55 年
和歌山高専	市原 松平	昭和 55 ~
	永井 時一	昭和 40 ~ 昭和 48 年
石川高専	喜内 敏	昭和 54 ~
	福井 武敏	昭和 46 ~ 昭和 55 年
熊本電波高専	篠原 謹爾	昭和 49 ~ 昭和 55 年
大分高専	河上 房義	昭和 51 ~ 昭和 58 年
宮城高専	荒木 謙一	昭和 53 ~
明石高専	吉村 虎蔵	昭和 55 ~
有明高専		